昭和24年12月27日第3種郵便物認可

日刊産業新聞ホームページ
http://www.japanmetal.com/
E-mail sangyo@sangyo.co.jp
携帯サイト　QRコード
http://www.japanmetal.com/m/

発行所　産業新聞社
東京本社 東京都中央区新川1−16−14
TEL 03(5566)8770㈹　FAX 03(5566)8185
大阪本社 大阪市西区靭本町1−5−15
TEL 06(6443)8551㈹　FAX 06(6443)3828
アジア総局 上海市楼山関路85号 東方国際大厦C座1604室
上海支局 TEL 86-21-6278-7750　FAX 86-21-6278-7751

日刊 産業新聞
Japan Metal Bulletin

2013年(平成25年)
5月17日(金)
第18254号
Since 1936

日刊(土・日・祝日除く)　©産業新聞社2013年

品質で選べば
朝日フェンス
朝日スチール工業株式会社
本　社　高松市花園町1丁目2番29号　TEL 087-833-5151
支　社　東京3239-4815／支店　大阪6244-1910・福岡471-7621
事務所　仙台355-2521

きょうの紙面

電炉ダストから高純度亜鉛
キノテック・ソーラーエナジーは普通鋼の電炉ダストから品位99・99%の電気亜鉛の製造に成功した。（11面）

日本冶金、世界で高機能材拡販 3（2面）
中国4月粗鋼6565万トンと過去2番目水準（2面）
三鋼販、「即蔵鉄」普及へ取り組み強化（4面）
森定興商広島 売上高・加工量2割増へ（5面）

6面　鉄鋼商況
7面　鉄鋼市中相場
8面　LME・NYC相場
9面　非鉄市中相場

外為TTS（三菱東京UFJ銀行）（15日10時）

米ドル	103.17	↓
ユーロ	133.06	↑
ウォン（参考値）	9.39	↑
元（参考値）	16.94	↓

LME相場（現地15日セツル、㌦）

銅	7095.5	↓
アルミ	1800.5	↓
ニッケル	14830.0	↓
亜鉛	1792.5	↓
錫	20600.0	↓

鉄スクラップ総合価格（円、10日調べ）

H2	22,100
新断プレス	25,300

主要品種相場（東京、ベースサイズ、円）

異形棒鋼	60,000
H形鋼	70,000
黒ガス管	135,000
熱延鋼板	58,000
厚板	72,000

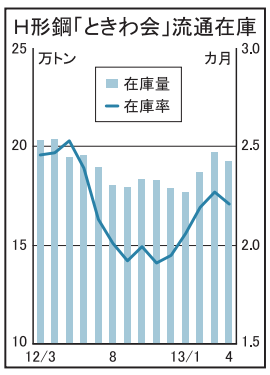
バルチック海運指数

現地15日	861	↓

WTI原油先物(中心限月)

現地15日	94.30	↑

ときわ会 H形在庫
3カ月ぶり減も「過剰」
4月末19.2万トン なお地域に差



新日鉄住金によると、形鋼扱い流通で構成する「ときわ会」の4月末のH形鋼流通在庫は、19万2300トンと前月末比2・2%減少した。3カ月ぶりに減少したが、在庫率は2・21カ月と「過剰水準」（建材営業部）。地域間で差があり「特に大阪地区での在庫過剰状態」（同）という。入庫量の減少の要因が大きく、流通は発注量を抑制していることから、今後も在庫の減少が続きそうだ。

一部メーカーのトラブルによる生産減少もあり、入庫量は8万2700トンと前月比14・3%減少した。出庫量は8万7100トンと0・5%増となり、「全国的な荷動きは堅調な水準」（同）が継続している。

鉄骨需要について、超高層案件などの物件の大型化により、12年度の実際の需要レベルは460万トンと10万トン上方修正したうえ、13年度は480万トンと想定する。需要を見極めたうえで、「地区ごとに出庫水準を定量的、かつ冷静に判断すること」（同）をマーケットに求めた。

東京、大阪、名古屋3地区の4月末在庫量は11万9400トンと3・7%減。東京は5・1%減、名古屋は7・7%減だったが、大阪は0・7%減にとどまった。3地区合計の入庫量は4万8400トンと前月比20・1%減、出庫量は5万3000トンと1・3%減。在庫率は2・25カ月と0・06ポイント下がった。

札幌、東北、新潟、富山、静岡、四国、中国、九州8地区の4月末在庫量は7万2900トンと0・3%増。入庫量は3万4300トンと4・5%減、出庫量は3万4100トンと3・3%増。在庫率は2・14カ月と0・06ポイント下落した。

新日鉄住金
5月契も据え置き

新日鉄住金は、5月契約6月ロール分の販売価格を前月比で据え置く。3月契約分で5000円値上げしたが、想定している市況水準に到達していないとして、次月以降の価格改定実施を目指すため、マーケット環境整備に注力する。

メーカーは円安進行などによるコストアップで、値上げをしなければ「事業継続が難しい」（建材営業部）状況になっている。そのため、値上げ時期については「メーカーから動く可能性もある」（同）として、市況の上昇を待たずに、値上げを実施する可能性も示唆する。

引き受けも必要最小限にとどめる方針で、君津製鉄所の大形形鋼ラインのシフトダウンを継続するほか、堺製鉄所の大形形鋼ラインでは定期修理を予定しており、需給を引き締める考え。

鋼材加工センター（型鋼、鋼管、非鉄）
3次元レーザー加工
試作から量産品まで短納期対応
12Mまで加工可能
麻布成形株式会社
ISO9001/14001 認証取得
TEL 047-354-8211
http://www.az-azabu.com

日鉄住金スチール
店売りH形鋼 5契据え置き

日鉄住金スチールは16日、5月契約（6月ロール）の店売りH形鋼価格を据え置くと発表した。本年度需要は昨年度を上回る方向にあり、足元の流通の出庫も好調ながら、在庫は依然として過剰ぎみ。市況も足踏み状態となっていることから、据え置きを決めた。

ただ、今年度は損益改善が必須課題となっているため、在庫調整を見極めたうえで、製品値上げ実施を検討する。5−6月生産については、4割程度の減産を継続する。

1−3月純利益94%減の1632万ルピー
伯CSN

伯鉄鋼大手のCSNが15日発表した1−3月決算によると、純利益は1632万ルピー（約7億5900万円）と昨年10−12月比94・8%減った。鉄鋼、鉱業ともに減益だったため、金利・税・償却前の利益（EBITDA）は9億2200万ルピーと26・2%減った。

鉄鋼事業の1−3月のEBITDAは5億2800万ルピーと、10−12月比6・4%減った。鋼材販売は155万トンと2・9%伸び、平均単価はトン1867ルピーと1・0%上がったが、コスト増が響いた。

鉱業の1−3月のEBITDAは3億2600万ルピーと、10−12月比43・0%減った。鉄鉱石販売が410万トンと36・2%減った。

自動車向け小径電縫管
中国浙江に製造合弁
JFES 月産能力2000トン

JFEスチールは16日、川崎鋼管、伊藤忠丸紅鉄鋼、萱華工業股份有限公司（本社＝台湾台南市、曹永文董事長）の3社と合弁で、中国浙江省に自動車向けの小径電縫溶接鋼管や、冷間引抜鋼管の製造・販売を手掛ける「嘉興JFE精密鋼管有限公司」を10月に設立すると発表した。小径電縫管では初の海外合弁会社となる。高品質製品を現地で生産・販売することで、自動車用部品メーカーの現地調達ニーズに応える。生産開始は2015年1月の予定で、生産能力は月間約2000トン。

新会社は浙江省嘉興経済技術開発区内に位置する。資本金は9600万元で、出資比率はJFE36%、川崎鋼管15%、伊藤忠丸紅鉄鋼10%、伊藤忠丸紅香港20%、萱華工業19%。投資規模は約32億円。従業員数は約100人の予定。代表者はJFEグループから派遣する。役員は5人を予定し、JFEグループから3人、伊藤忠丸紅から1人、萱華工業から1人。

日系自動車部品メーカー向けに、自動車部品用や建機用を中心とした小径電縫溶接鋼管や冷間引抜鋼管を製造・販売する。製造サイズは外径17・3−42・7ミリメートル。月産2000トンのうち50%が引抜加工される。

工場敷地面積は約2万5000平方メートル。着工時期は計画中で完工は14年9月の予定。主要設備は電縫溶接鋼管造管設備、冷間引抜設備、熱処理設備（光輝焼鈍炉など。母材となる鋼板は当面、JFEスチール製の熱延鋼板を使用する。伊藤忠丸紅鉄鋼のコイルセンター「嘉興紅忠鋼板加工有限公司」に隣接しており、同拠点で鋼板をスリットする。

合弁会社が設立される華東地区は自動車用部品メーカーが集中している。現地の自動車生産台数は、今後も堅調な伸びが期待され、自動車用鋼管の需要もますます増えていくことが見込まれている。JFEとグループである川崎鋼管の小径電縫溶接鋼管製造に関する技術力や、萱華工業の冷間引抜鋼管製造に関する技術力、伊藤忠丸紅鉄鋼の販売力を生かす。

なお、萱華工業股份は、鋼管の冷間引き抜き加工を手掛けている。資本金は約5億円、売上高は約50億円、社員数は約200人（3月末時点）。JFEの子会社であるリバースチールが5%出資している。

輸入材岸壁在庫
2カ月連続増12.7万トン
阪和興業4月末 円安で入着低水準

阪和興業は16日、4月末の輸入材岸壁在庫をまとめ発表した。それによると、全体で12万7000トンと前月比8000トン（6・7%）増で、増加は2カ月連続。ただ、前年同月比では2万1000トン（14・1%）減。入着は為替の円安で低水準だったが、引き取りもさえないことから、前月比で増加した。

地区別の状況は、大阪は7万8000トンと前月比5000トン（6・8%）増。品種別では厚板が2000トン（100%）増、熱延コイルが2万1000トンと1000トン（5%）増、冷延コイルが5万5000トンと3000トン（5・7%）増。

東京地区は全体で4万9000トンと3000トン（6・5%）増。品種別では厚板が8000トンと1000トン（14・2%）増、熱延コイルが2万トンと横ばい、冷延コイルが2万1000トンと2000トン（10・5%）増。

イノクサム統合 シナジー2億ユーロ
オウトクンプのグローバル戦略
パルベント氏（米国会社社長）に聞く

オウトクンプは、ティッセンクルップのステンレス部門、イノクサムを統合し、設備集約によるコスト競争力の強化、グローバル展開による市場開拓などのシナジー追求に取り組んでいる。米州においては、イノクサムのカルバート工場を傘下に収めて、一貫生産体制を構築し、その強みを引き出し、2割程度のシェアを3割に引き上げる考えだ。オウトクンプの経営リーダーの一人で、米国会社社長を務めるカリ・パルベント氏に話を聞いた。

一貫生産でシェア3割へ

――2013年のステンレス市場環境から。

「アジアの需要増加、米国の回復によって、グローバルマーケットは成長を続けている。ただし欧州は減少基調が続き、国際的な供給過剰による輸入圧力もあって、厳しい環境にある。価格も需給バランスや原料事情で下げ圧力を受けている」

――オウトクンプは欧州の能力削減を決めているが、計画の前倒しはあるのか。

「イノクサムの独クレフェルドの製鋼工場は、計画通り13年末までに閉鎖する。同じく独ボーフムの製鋼工場も、予定通り16年末に操業を停止する」

「設備休止による生産効率アップ、デリバリー、原料調達、管理コストなどの面でシナジーを見込んでおり、トータルで2億ユーロの効果を16−17年に引き出せると見込んでいる。そのうち5000万ユーロについては、本年中に効果が出てくる」

――市場認識と販売戦略は。

「米州のステンレス市場規模は約330万トン、うちコイル製品が約220万トン。年率3−4%の成長が続くとみている。これまで欧州からの輸出と、メヒノックスからの販売に限られていたが、一貫生産体制を整えたことで、新しいステージに入る。収益性を重視しながら、品質の高さ、米州唯一の最大72インチの広幅ミルの優位性を生かし、家電、自動車、化学、エネルギー、建築を含めて幅広く市場を開拓していく」

――販売ターゲットは。

「米国、カナダ、メキシコのNAFTAにおける12年の販売量は約36万トンで、販売シェアは22%程度だったと推定している。現地一貫生産の強みを引き出し、伸びる市場におけるシェアを、4年内に30%程度まで引き上げたいと考えている」

――日本市場について。

「ステンレス製品は重要な顧客を持ち、フェロクロムを販売している。フェロクロムは12年に23万6000トンだった生産量を、今年は40万トンに引き上げる。さらに15年には50万トンに増やす計画だ」（谷藤 真澄）

――イノクサムの統合効果は。

中国粗鋼6565万トンに増

4月 過去2番目の高水準

【上海支局】中国国家統計局によると、4月の粗鋼生産量は6565万トンと、前年同月比6・8%増加した。日当たり218万8000トンで、いずれも過去2番目の水準。春需を見込んだ鉄鋼メーカーが生産を増やした。実需が伸び悩み、鋼材市況が低下しているため、メーカーは採算が悪化しているものの、増産による増収とコスト低減効果を求め、なお高生産を続ける見通し。鋼材輸出の増加につながっており、海外市場への影響度もましそうだ。

前月比では1・0%増え、2カ月ぶりに減少したが、前月は過去最高だった。日当たりは2・3%増え、4カ月連続で200万トンを超えた。1―4月累計は2億5815万トンと、前年同期比8・4%増加した。

自動車生産は堅調だが、建設機械や造船など他の需要分野は低調。エコ家電補助金の駆け込み需要で、エアコン販売が増えていると言われるが、政府の不動産投資抑制から家電製品の販売は低調。中国鋼鉄工業協会（CISA）によると、4月19日時点の鋼材市中在庫（主要26都市・5品目）は2084万トンと前年4月末比24・2%増加。「宝山鋼鉄に、製品在庫が多く積み上がっている」（日系高炉幹部）など、メーカー在庫も増えている。

4月の鋼材輸出は555万トンと、前年同月比9カ月連続増え、海外市場の需給を緩めている。メーカーの増産傾向は、昨年秋ほどに鋼材価格が下落し、赤字が広がるまで続く見方もあり当面、日産200万トン以上が保たれ、鋼材市況を下押す構図が続きそうだ。

扶和メタル

南港の全面改修完了

工業雑品スクラップ 扱い月4000トン目指す

扶和メタル（本社＝大阪市、黒川友二社長）が、南港支店で進めていた全面改修工事が完了し、このほど本稼働を開始した。南港支店は昨年9月、大阪市住之江区の南港ヤード2カ所を集約・統合して開設。集荷ヤードから支店化したことや、全面改修などに伴って営業強化を図り、工業雑品スクラップに特化した専用ヤードとして、月間4000トンの取り扱いを目指す。

これまで、南港地区の集荷・出荷拠点について、大銑産業・南港倉庫内と南港G―8埠頭の2カ所で営業していたが、合理化へ向けてヤードを南港G―8埠頭に集約。さらに支店として展開することで「統合による業務の効率化だけではなく、営業力を強化する」（黒川社長）という。

敷地面積は約2300平方㍍で、主要設備は大型重機3基と50トントラックスケールなど。営業エリアは大阪を中心に関西一円に広がっており、船積み可能な専用岸壁を備え、工業雑品スクラップの集荷と輸出業務を中心に展開する。

支店化にあたり、これまで集荷ヤードだった南港支店では、事務所棟の全面改修を行ったほか、在庫能力と安全面の確保へ向けて、高さ10㍍の工場擁壁を建設。トラックスケールや油水分離槽も新設した。

さらに南港エリアでは港湾荷役などを行う大都（本社＝大阪市、間口豪社長）が所有する最大吊り荷重80トン、最大作業半径48㍍の特殊作業船「ネプチューンZ」が控えており、「支店化で数量拡大を図り、毎週1船の輸出を行いたい」としている。

本稼働を開始した南港支店

ボンデ鋼板・亜鉛鉄板
西山鋼業株式会社
本社／東京都荒川区荒川5-18-4
☎(03)3892―1111(代表)
営業所／横浜 工場／浦安・鷲宮・横浜・福島
出張所／足立・取手 配送所／足立・鶴見

JFE建材

3期連続で経常減益

前3月期、土木振るわず

JFE建材の2013年3月期連結業績は、売上高が前期比3・9%減、営業利益が5・1%減、経常利益が5・5%減の減収減益だった。ただ、純利益は14・7%増で、3期ぶりに増加に転じた。建築需要が大都市圏で回復したことで、デッキプレートを中心とした建築用建材商品が増収増益となったものの、道路関連の大型物件が端境期ということもあって、土木用建材商品や地下土木商品が落ち込みを余儀なくされた。グループ会社も7社のうち6社が黒字となったものの、JFE建材フェンスなどが販売競争の激化により減益となり、連結業績でも経常利益ベースで3期連続の減益となった。

単独業績は回復基調にあるデッキプレートで収益重視の選択受注を進めたことなどが奏功し、売上高こそ前期比2・2%減の386億8700万円と落ち込んだが、営業利益は1・3%増の18億9400万円、経常利益が10・4%増の21億7300万円、純利益が19・2%増の10億7300万円で、3期ぶりの増益だった。

部門別売上高は建築用建材商品が9・2%増の135億6100万円、土木用建材商品が5・3%減の162億2900万円、地下土木商品が11・2%減の88億9600万円。

14年3月期については、補正予算やアベノミクスでの公共工事効果、原燃料価格の上昇に伴う母材価格の上昇と、その転嫁など不透明要素が多いものの、「前期以上の水準」（大出直文社長）を目指す方針。

新日鉄住金・藤原常務

J―サミットで講演

新日鉄住金の藤原真一常務執行役員は16日、J―サミットで講演し、モザンビークでの原料炭開発の必要性について強調した。新興国の成長に伴い、原料炭の獲得競争が始まるなか、特に優良な強粘結炭の新たなソース確保が課題と指摘。先月採掘権を取得したレブボー炭鉱を、近く固まる見込みの新たな合弁事業パートナーとともに早期に開発し、2016年の生産開始を目指す考えを示した。

講演する藤原常務

原料炭

レブボー開発に意欲

次世代ソース モザンビーク重視

藤原常務執行役員は開始3年後の年産500万トンのフル生産体制移行時に、グループで33%の出資見合いで引き取ることで、現状20%程度の新日鉄住金の自前の原料炭調達比率は7%程度上昇する。

藤原常務執行役員は強粘炭の次世代のソースには、モンゴルのタバントルゴイ、ロシアのエリガの巨大炭鉱にも期待があるが、新日鉄住金としてはモザンビークを重視する考えを示した。理由として豪州にほぼ匹敵する品位に加えて、港まで900キロメートルと、3000キロメートル以上の輸送が必要なロシア、モンゴルの炭鉱と比べて輸送距離が短い点を挙げた。

レブボー開発にあたっては、モザンビーク政府に対して、必要なインフラ整備を時宜を得た形で支援するほか、外資企業に対して公正でオープンな扱いを求めた。日本政府には相手国政府の人材育成など従来の支援に加えて、インフラ整備などへの公的金融支援にも期待を表明。モザンビーク政府、日本政府と三位一体で開発を成功させたいと述べた。

藤原常務執行役員は、足元は世界的に景気の減速感が広がっているが、長期的には鉄鋼需要拡大が続くと見ており、東南アジア、アフリカの経済開発が成長の原動力になると指摘。鉄鋼業は世界的に低収益に苦しんでいるが、新日鉄住金は3年間で2000億円の粘結炭の比率を増やすとともに、鉄鉄生産に必要なコークスの原単位を引き下げており、合併後はさらに配合構成を改善していると述べた。また、長期安定確保のために供給者とも関係を強化し、安定調達に努めていると説明した。

藤原常務執行役員は、足元は世界的に景気の減速感が広がっているが、長期的には鉄鋼需要拡大が続くと見ており、東南アジア、アフリカの経済開発が成長の原動力になると指摘。鉄鋼業は世界的に低収益に苦しんでいるが、新日鉄住金は3年間で2000億円の統合効果を引き出し、世界トップクラスに競争力を強化する取り組みを説明した。

新会長登場

楽しく親睦深める

東京鋼板シヤー組合 鈴木 正通氏

「当会は一般的な地区団体と異なり、同じ品種を扱う同業者の集まりなので、一番の目的は『親睦』を深めること。諸先輩方からもそう伝え聞いている。その流れをしっかりと継承し、楽しくて、ためになる会にしていきたい」。今まで以上に盛り上げてくれると、遠藤重康前会長もその手腕に期待を託す。

同会は東京鉄鋼販売業連合会傘下の団体で、1955年発足。もともとはシャーリング業者が集まって結成した会であり、一時には商売敵ともなり得る相手同士だからこそ、商売以外では仲良くし、気持ちよく仕事をしよう」との設立趣旨に基づき、会員間の交流に重点を置く。焼肉の有名店でざっくばらんに語り合う暑気払いや、家族ぐるみで参加できるイベントなどもその一環だ。

鈴木鋼材（東京都八王子市）が加入したのは00年と、加入歴は比較的浅いが、それ以前に全鉄連・流通情報網研究会（DDN）の旗揚げ時から、中心メンバーとして活躍していたこともあり、その周囲を引きつける快活なキャラクターは誰もが知るところ。だが、仕事に話が及ぶと「モノづくりの基礎料である鉄鋼に関わる世界に身を置き、それが社会に役立っていると実感できることに喜びを感じる」と熱く語るなど、まじめな一面も見せる。

「仕事は『ハート』でするもの。だからこそ、楽しくないと身が入らない。まずは会員が身を乗り出して参加したくなるような企画を考えていきたい。若手組織の鋼板J―CLUBとも協力し、若い世代や新たなメンバーを積極的に取り込んでいく」。品種や地域を問わず、新規加入は大歓迎という。ユーモアと真剣さを兼ね備えた新リーダーが業界に新風を巻き起こす。

（音成 泰文）

▽鈴木正通（すずき・まさみち）氏＝73年東海大政経卒、77年日立印刷入社。81年鈴木鋼材入社、94年社長就任。07年東京鋼板シヤー組合幹事、13年5月現職。趣味はバイク、楽器演奏、鉄道（乗り鉄）。休日には夫人とツーリングに出掛けることも。54年4月28日生まれ、東京都出身。

日刊産業新聞 13.5.17

新会長に鈴木氏

東京鋼板シヤー組合 定時総会

東京鋼板シヤー組合は15日、定時総会を開催し、新会長に鈴木正通氏（鈴木鋼材社長）を選任した。遠藤重康会長（和信産業社長）は相談役に就き、藤澤鐵雄相談役（藤澤鋼板社長）は退任。新たに保坂英司氏（保坂鋼材社長）が監事に就任した。

鈴木新会長は「親睦第一の精神を継承し、若手の皆さんとの交流も一層深めて、次への世代への橋渡しができればと思っている」と抱負を語った。

遠藤前会長は「総会の書面決議や焼肉店での食べ放題での暑気払い、会員の改訂など、自由にやらせていただいた。鈴木新会長は声が大きく、にこやかで、行動力もあるので、みんなで盛り立てていってもらいたい」と謝辞を述べた。

乾杯の音頭をとった藤澤前相談役は「アットホームですてきな会で、この先も継続していただければ、ますます発展していくだろう」と話した。

会員数は月星金属加工が退会し、34社となった。本年度の事業計画では、6月15日に鋼板昭和会ゴルフコンペをはじめ、暑気払いや新年初顔合わせ会などを開催することが決定している。

新会長に宇佐美氏 J―CLUB

東京鋼板シヤー組合の若手組織である鋼板J―CLUBは1日、定時総会を開き、新会長に宇佐美貴史氏（東京鉄製専務）を選任した。金子泰介会長（清宮製作所専務）は副会長に就いた。

連協 全日板 板連

北海道で全国大会

「自信と誇りを持とう」

【旭川】全日本板金工業組合連合会（理事長＝石本惣治・ライムイシモト会長）、日本建築板金協会（会長＝同）は16日、北海道旭川市で「第65回全国建築板金業者北海道大会」を開催した。

石本理事長は「政権交代から半年で、株価の高騰、円安など景気が良くなった気配があるが、われわれはまだその実感がない。昔の公共工事はゼネコンのためのものだったが、今の公共工事は職人などの専門業者に光が当たるものになっている。自信と誇りを持って、技術を若い人に継承してもらいたい。鉄板はリサイクルができて環境にやさしいものなので、誇りを持ってほしい」とあいさつした。

続いて、建築板金業振興議員連盟会長で衆議院議員の石破茂氏、高橋はるみ・北海道知事、西川政人・旭川市長が来賓としてあいさつした。

テープカットする石本理事長（中央）

組合賦課金

6割減額継続

愛知鉄構協

【名古屋】愛知県鉄構工業協同組合は16日、名古屋市内のホテルに80余人が出席し、第39回通常総会を開催した。組合賦課金を前年度に引き続き正規の6割に減額し、組合員の負担軽減を図ることなどを承認した。

石原義幸理事長は、「モノづくりの永遠の課題は、品質確保の製品づくりであり、その基盤は経営の安定にあるる。そのための取り組みには、全国組織でしかできないことなどさまざまあるが、その中でも本年度は、組合員の団結でしかできない事業に焦点を絞って実行し、経営安定のための一歩としていく」とあいさつした。

石原理事長

日刊産業新聞
http://www.japanmetal.com
購読の申し込み
0120-300391
http://www.japanmetal.com/koudoku.html.html
日刊産業新聞ネット版 http://www.japanmetal.com

九山 製油所保全業務

マレーシアで受注

山九は16日、マレーシアの現地法人・山九マレーシア（本社＝ペタリン・ジャヤ市、松村淳一社長）が、シェルグループのマレーシアの製油所から、日常保全業務を受注したと発表した。昨年のサウジアラビア・ジュベール製油所に続く、非日系企業からの大型案件の受注となる。契約期間は2013年4月から16年3月までの3年間（3年延長オプションあり）で、受注額は3年間で10億円規模となるようだ。

対象製油所はポートディクソン製油所。首都クアラルンプールから約70キロメートル南下したところに位置し、石油精製能力は日産12万5000バレル。山九マレーシアは約140人の要員で、設備などの日常保全業務を行う。5月1日から作業を開始した。

調印式のもよう

入札にはマレーシア国内外から約20社が参加したが、山九のSDM（定修工事）などの施工能力をベースにした提案が品質、内容ともに高い評価を得て、受注につながった。山九グループは中期経営計画で海外売上高の増加を目指しており、日系企業と同時に非日系企業に対しても、積極的な取り組みを推進している。

役員人事

東洋製缶グループホールディングス

（6月26日付）

▽取締役会長（代表取締役会長）三木啓史

▽代表取締役副社長（取締役副社長）山本晴男

■新任取締役候補

▽取締役副社長社長補佐（専務執行役員海外マーケティング・調達管掌）中井隆夫

▽取締役専務執行役員経営戦略統轄IR担当（〃経営戦略統轄IR担当）山縣富士雄

▽〃開発機能統轄（〃開発機能統轄）丸橋吉次

▽〃経営管理統轄最高財務責任者（〃経営管理統轄最高財務責任者）藤井厚雄

■退任予定取締役

▽退任・専務執行役員事業プロジェクト統轄（取締役専務執行役員事業プロジェクト統轄）有田恒夫

▽〃・執行役員（東洋製缶代表取締役社長）（取締役（東洋製缶代表取締役社長）中山伊知郎

▽〃（東洋鋼鈑代表取締役社長）（〃（東洋鋼鈑代表取締役社長））田中厚夫

▽〃東缶興業代表取締役社長（〃（東缶興業代表取締役社長））筒井栄二

▽〃（日本クローシャー代表取締役社長）（〃（日本クローシャー代表取締役社長））辻広康雄

▽〃（東洋ガラス代表取締役社長）（〃（東洋ガラス代表取締役社長））清水泰行

▽退任・常任顧問（〃社長付）黒田由雄

組織と人事

日本冶金工業

（T―チーム、TL―チームリーダー）

（6月1日付）

【組織改正】

一、営業本部内に「高機能材営業推進部」を設立し、「海外事業企画部」を廃止

一、大江山製造所製造部「技術研究チーム」と「品質管理チーム」を統合し、「品質・技術チーム」とし既存のチームを廃止

【人事異動】

▽経営企画部勤務（経理部会計TL）内田良治

▽〃（川崎製造所生産管理室生産管理TL）赤坂昌幸

▽経理部会計TL（経理部〔会計T〕）志田英人

▽川崎製造所技術開発室〔製造技術T〕勤務）川崎製造所製造部厚板工場長）加藤肇

▽〃製造部厚板工場長（〃薄板工場冷延第一係長）小椋浩史

▽〃生産管理室生産管理TL（〃購買部）丸山康治

▽大江山製造所製造部品質・技術TL（大江山製造所製造部品質管理TL兼技術研究TL）安田智弘

きょう輸出入札

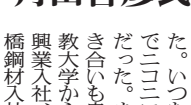
関西鉄源連合会

関西鉄源連合会（会長＝黒川友二・扶和メタル社長）はきょう17日、第36回鉄スクラップ共同輸出入札を実施する。契約数量は5000トン（FAS・H2グレード中心）、船積み期間は6月1日から28日までを予定。前回（3月25日）の成約価格はFASトン当たり3万4000円で、落札商社はプラエ商会。

2013年3月期					
（単位:100万円、配当は円、中段は前期、下段は次期予想）					
売上高	営業利益	経常利益	純利益	配当	
JFE建材					
53,475	2,541	2,502	1,524	—	
55,633	2,678	2,647	1,329	—	
—	—	—	—	—	

角田善彦氏（三ノ橋鋼材社長）を悼む

穏やかな“ゾウさん”



大きな体で人柄も良く、皆から「ゾウさん」の愛称で呼ばれていた三ノ橋鋼材の角田善彦社長が急逝した。肝臓ガンだった。年初の新年会では元気だったが「腰が痛くて」と言っていたのが、今となっては兆候だったのだろう。1952年生まれの60歳。まだまだ早すぎる。若いだけに、病魔の進行が早かったのかもしれない。

敵のいない人だった。いつも穏やかな顔でニコニコしている人だった。まじめで人付き合いも良かった。立教大学から75年に阪和興業入社、80年に三ノ橋鋼材入社、97年から社長。三ノ橋鋼材は厚板が主力で、小粒だがしっかりした商売をしている。東京鉄鋼販売業連合会傘下の本所鉄交会メンバーであり、浦安鉄鋼団地に本社を構えている。

社長業のかたわら、自ら現場にも出て、時には配送も担当する八面六臂の仕事ぶりだった。業界の会合にも欠かさず出席し、本所鉄交会会長などを歴任、現在でも本所鉄交会館社長、東鉄連厚板部会長だった。

大学時代はスキー部。記者も以前、一緒にゲレンデを滑ったことがある。大柄な体格だが、滑る姿は華麗だった。ゴルフ、スキューバダイビングもこなすスポーツマン。そのゾウさんが死んでしまった。早すぎますよ。本当に淋しくなってしまいました。（岡）

日本冶金

世界で高機能材拡販

今期4.5万トンへ 来月に専門部署

日本冶金工業は、注力している高ニッケル合金である高機能材をグローバルで拡販し、2014年3月期に4万5000トンと、過去最高水準の販売量を見込む。これに合わせて、専門の高機能材営業推進部を6月1日付で設立する。営業本部の下に同部のほか、販売企画部、ソリューション営業部の3部を並べ「高機能材営業の司令塔」（橋之口真常務執行役員営業本部副本部長）として機能させたい考え。

新しい高機能材営業推進部の部長には、現在海外事業企画部長である木内康裕氏が就任し、4人体制でスタートする。「これから見込まれる高機能材の需要を予測し、スピード感を持ってアグレッシブに受注を拡大していく」と、次期営業本部長に就任予定の橋之口氏。水処理、環境設備向けの案件などを中心に、上海、ロンドン、バンコク、シカゴの世界4地域に展開する現地法人などと連携を密にしながら、一般材と高機能材の両輪で黒字化を目指す（同）。

日本冶金の高機能材は、ボーイング787向けや羽田空港のD滑走路などの大型案件に代表されるように、販売量を毎年確実に伸ばしてきた。しかし13年3月期は、最大輸出国である中国の景気減速の影響で、4万トンと前期比3000トンほど落ち込んだ。

直近では足元の円高修正により、供給先の国内重工メーカーなどに、海外プロジェクト案件の需要捕捉の好機が広がっており、今期は前期比10%アップの4万5000トンを見込む。営業利益でも、高機能材のグローバル拡販で6億円の押し上げを目指す方針。

ステンレス世界粗鋼 12年過去最高3536万トン 中国、14%アップ1609万トン

【米ニューオーリンズ】国際ステンレスフォーラム（ISSF）は16日、2012年の世界ステンレス粗鋼生産（速報）が前年比5・2%増の3536万トンとなり、最高記録を更新したと発表した。

ほとんどの国・地域の生産が減少する中、中国は14・2%増の1609万トンと大幅に増加した。中国の粗鋼シェアは11年の42%から45%に上昇した。

西欧・アフリカは0・7%減の783万トン、中東欧は8・2%減の36万トン、米州が4・7%減の237万トン、中国を除くアジアは0・6%減の872万トンだった。

アジアのうち、日本は2・5%減の317万トン、台湾も7・8%減の111万トンと減ったが、韓国は0・5%増の217万トン、インドも5・3%増の228万トンと増えた。

グレード別の生産は、300系が53%、400系が25%、200系が20%。02年は300系が71%、400系が22%、200系は6%で、10年間で200系のシェアが大幅に上昇した。

ISSFパネルセッション 新たな業界構造を模索

国際ステンレスフォーラム（ISSF）ニューオーリンズ大会は16日、オープンパネルセッション「量から価値へ」において、数量を追い求める価格競争から脱却し、機能材料としての付加価値を持続的成長に結びつけていく、新たな業界構造への第一歩を模索する議論を重ねた。

17日には新設備を立ち上げたところで、業界内外の注目を集めるオウトクンプ・カルバート工場の見学ツアーに向かう。【米ニューオーリンズ】

ティッセン米州鉄鋼事業

売却方針に変更なし

独鉄鋼大手のティッセンクルップのハインリッヒ・ヒーシンガーCEOは15日の決算会見で、米州鉄鋼事業の売却について、適切な時期に契約する方針に変わりないとする考えを示した。クイド・ケルクホフCFOは、特にブラジルはヴァーレとの合弁事業で、売却相手以外にも交渉が必要なため、時間がかかると説明した。

ケルクホフCFOは、ステンレス事業売却時のように米州鉄鋼事業の一部を保有し続ける場合も排除しないものの、「キャッシュが望ましい」として、全て売却したい考えを示した。売却相手候補については守秘義務があるとして明かさなかった。

ティッセンクルップの米州鉄鋼事業は、ブラジルの年産500万トンのスラブ一貫製鉄所と、米国の年産500万トンの熱延以下の工場からなる。ブラジル、米国ともに2010年に稼働した。

ただ、リーマン・ショック後の景気低迷期にあたり、全社の業績が悪化。11年には事業再構築に着手し、ステンレス事業を昨年売却。続いて12年に米州事業の売却方針を示した。やはり売却を表明している電磁鋼板事業は準備に入ったばかりだが、テーラードブランク事業は、7―9月中に売却手続きを完了する見通し。

Ni系ステンレス冷薄 30万円乗せに照準

関西流通

関西地区のニッケル系ステンレス冷延薄板市況は、実需が迫力不足の状況下で、仕入価格上昇分の価格転嫁が遅れている。流通各社は6月をめどにトン当たり30万円台乗せを目指し、一層売り腰を強めている。

ステンレスメーカーは昨秋以降、原料価格上昇を背景に相次いで製品価格を引き上げ、陥没価格状態となっていた店売り価格の立て直しを推進。これらを受けて、流通筋でも4月から本格的な再販価格の値上げを実施。メーカーの動きからタイムラグはあるものの、地区内の市中相場はSUS304ベースサイズ（2ミリ）でトン当たり28万5000円どころと、底値圏から同3万―4万円程度上伸しており、依然安値も散見されるものの「極端な安値価格は解消されている」（関係筋）ようだ。

肝要の需要環境は今ひとつといったところで、それら側面からの後押しはまだ弱いが、扱い筋では「アベノミクス効果なども相まって、実需の手応えは確実に増加してきている」（大手流通筋）との声も聞かれる状況にある。LMEニッケル価格やステンレススクラップなどの原料価格が続落するなどの懸念材料もあるが、流通段階でも価格転嫁を進ちょくさせないと、利益確保が難しくなる可能性も出てくることで、来月中のトン当たり30万円台乗せに向け、流通各社による価格転嫁は、正念場を迎えている。

ニューオーリンズの風 ♪New Orleans♬

生誕100年越え転換期

三喜俊典・日新製鋼社長は、「先週の土曜日に米国に入って、シカゴ事務所、ウィーリング・ニッシン、ニッシン・オートモーティブ・チュービングなどを訪問し、火曜日にニューオーリンズに来た」。

WNは、ZAMの米国生産の1次ホットランを終え、秋には後処理の設備を立ち上げる。「NATは第2ラインが来週から試運転に入り、材料の現地調達面でのアセリノックスとの連携も軌道に乗ってきた」とうれしそう。

ISSFの総会を終えて、「ステンレス業界は厳しい環境にさらされているが、200系が世界粗鋼の2割を超えてきた。生誕100年を越えて、転換期を迎えているようだ。これまで延長線上ではない、新たな道を模索する時期が始まっているかもしれない」と指摘していた。

課題明確、建設的な会議

木下洋・新日鉄住金ステンレス取締役相談役は「世界のステンレス業界は収益が悪化し、需給、原料などの課題がクリアになってきた。ISSF総会は用途・市場開拓に知恵を出し合おうというムードが高まるなど、建設的な会議となった」と評価。ステンレスは「競合素材が多く、境界線が移動する商品であるが、努力と比例して需要は広がっていく」と展望を示した。

ティムケンと新事業模索

嶋尾正・大同特殊鋼社長は「日曜に米国に来て、提携先のティムケンを訪問してからニューオーリンズ入り」。

ティムケンとは「新しいビジネステーマを探そうと話をしてきた」。ティムケンが中国市場で、ハイエンドの構造用鋼ビジネスを展開。ここに大同が素材を供給する契約を結んでいたが、「為替の円高修正などで追い風が吹き、ようやくアクセルを踏める」。一方、大同が追加投資を行うオハイオ・スター・フォージに、ティムケンから材料を調達しようという話もしてきたそうだ。

一方、ステンレスは「国内の需給バランスが悪く、我慢の時期」とし、国内需要回復を確実なものとする民間企業の設備投資意欲を高める安倍政権の「第3の矢」に期待を寄せていた。

新たな需要の創出を

西馬孝文・JFEスチール常務は、ISSF総会を終えて「世界のステンレス業界は、一様に供給過剰に苦しんでいる。用途開拓によって新たな需要を発掘していこうとする、ISSFの活動の意義は大きい」と強調。そのうえで「生き抜いていくため、われわれも知恵を絞って、新たな需要の創出に注力していかなければならない」とし、新担当役員としての決意を新たにしていた。

供給過剰・再編の波にどう対応

アセリノックスの施策

世界のステンレスメーカーは、深刻な供給過剰問題と、それによる業界再編のうねりの中で、まずは生き残り、そして長期的に成長するための戦略を求められている。世界最大手の1社であるアセリノックスのベルナルド・ベラスケスCEOに、市場環境認識と対応策などを聞いた。

品質追求

日新と戦略共有

ベラスケスCEOに聞く

――オウトクンプがイノクサムを統合し、米国ではアラバマ州のカルバート工場を稼働させた。アセリノックスの米国事業、ノースアメリカンステンレス（NAS）にも影響を与えそうだが。

「世界の大手2社の統合によって、パワフルなグループが誕生することは確かだが、米国市場においてNASは4割のシェアを握り、100%に近い設備稼働状況にある。新規参入者はコストや納期を含め、信頼性の高い製品を供給するのに時間がかかる」

――影響は大きくないとみているようだが、販売戦略を変える必要はないのか。

「われわれは販売先と良好な信頼関係を築いており、見直す必要はない」

――とはいえカルバート工場は年産90万トン規模で、需給バランスに変化が生じる。オウトクンプは、イノクサム、メヒノックスを合わせて、北米で20%のシェアを持ち、これを引き上げていくといっているが。

「米国にはNAS、J&Lアレゲニー、AKスチール、輸入などの供給者があって、需要家は購入先を3―4社に分散している。（現地生産を開始したからといって）オウトクンプに集中するとは考えにくい」

――一方、アジアは厳しい市場環境が続いている。マレーシアのバル・ステンレスの事業戦略を見直す必要は。

「バルが立ち上がる前から、グループの製品を輸出していたので販売力はある。バルは、数量を追い求めて価格競争に巻き込まれないような販売姿勢で臨んでいる。もともとアジアは日本メーカーが強かった市場であり、バルはそれらを取り込むということではなく、どのように自分たちのポジションをつかんでいくかを考えている。日新製鋼という歴史的パートナーと一緒に、アジア市場を開拓していく戦略に変わりはない」

――第2期工事を終え、製鋼一貫が視野に入ってきた。しばらく先になるだろうが、成功させる自信はあるのか。

「100%の自信がある。バルをリローラーにとどめるつもりはない。100万トン規模の一貫メーカーとして、アジアに根をおろしていくつもりだ」

――欧州もやはり厳しい環境にある。

「オウトクンプとイノクサムが一緒になり、供給者が1社減る。結果として、われわれのシェアが増える可能性はある」

――具体化し始めているのか。

「いやまだだ。欧州は世界同時不況や債務危機などの影響が続いている。2社もまだ完全統合していない。今のタイミングでシェアを伸ばそうとすることは得策でない」

――日新製鋼との関係が、技術をベースとした提携から、戦略的な提携関係に発展してきたようだが。

「日新製鋼とは43年におよぶ長い、極めて特別な関係にある。日新はアセリノックスの株式15%を、バルの株式30%を保有している。戦略的パートナーとして、一緒に考え、行動する、ベストモーメントにきている」

――日新の持株比率を引き上げる考えは。

「1%程度の株式を保有しているが、良好な信頼関係も構築できており、（持ち株を）増やすべき理由は見当たらない」

――ステンレス業界の先行きについて。

「非常にタフな状況が続いているが、こうしたことは初めてではない。今の状況の背景には、世界同時不況、ステンレスの供給過剰構造、中国の能力拡大の大きく3つの要因がある」

――中国要因は大きそう。

「2001年に3・8%だった中国の世界シェアが、12年に46%に達しており、明らかに作り過ぎ。市場は伸びているが、それを上回る供給能力拡大が続いている。国家としてステンレスの自給に動くのは当然だが、原料を輸入し、電力制限もある中で、政府はこの不毛な能力拡大に歯止めをかける必要があるだろう。誤解されないよう付け加えておくと、欧州や韓国、日本も、もともと供給過剰であっても、中国だけに責任を押し付けるつもりはないが、量のインパクトが大きすぎる」

――その中国の供給過剰はいつまで続くのか。

「経済環境が好転するまで、（改善に向かうのは）難しいのではないか」

――最後にステンレス業界の長期展望を。

「ステンレスは、需要が年率6%の成長を続ける期待の素材であり、だからこそアセリノックスは経営資源の100%をステンレスに集中している」（谷藤 真澄）

日刊産業新聞 13.5.17

AISI新会長 レーウィンケル氏選出

米国鉄鋼協会（AISI）は15日、新会長に露エブラツ・グループの北米会社のマイケル・レーウィンケルCEOを選出したと発表した。1年間の任期を務める。

日刊産業新聞ネット版 http://www.japanmetal.com

ホイール型最小級投入

コベルコクレーン

コベルコクレーン（塚本晃彦社長）は15日、シャティコンシャスクレーン「PANTHER―X250（型式RK250―8）」（最大吊上げ荷重25トン）＝写真＝を本年6月1日から発売すると発表した。コンパクトボディで高いクレーン能力を持ち、排出ガス2011年規制の適合エンジンを搭載するなど環境にも対処したホイールクレーン。クローラクレーンと合わせて、ホイールクレーンも強化するほか、カスタマーサポートの充実も図る。価格は4600万円で年間100台の販売を目指す。

PANTHER―X250は同機種の型式RK250―7をモデルチェンジした。搭載エンジンが排ガス規制に対応しているほか、低騒音型建設機械の基準もクリア（申請中し、グリーン購入法にも適合した。最適な回転数で作業ができるGモードも備え、燃費を向上させた。

左前方走行視界が広いスラントブームを採用、基本通行条件B条件にも適合し、走行性と作業性を高めた。クレーン遠隔稼働管理システムのKCROSSを標準装備し、稼働状況、安全運転、メンテナンスの管理を円滑化する。

高剛性で軽量なボディとスラントブームで、クラス最小級にコンパクト化し、安定したクレーン能力を確保した。

国内外に革新技術アピール

板金ソリューション

アマダ展示会

国内初披露となる最新技術が結集した新商品を多数展示

アマダは今月10日から、神奈川県伊勢原市の本社ソリューションセンターで「AMADA Innovation Fair 2013 Global」を開催している。業界最大級の単独展示会で、海外からも多数の来場者が訪れる同社最重要イベントの一つ。得意とするレーザー加工をはじめ、最新技術が詰まった新製品などを披露し、革新的な板金ソリューションをアピールする狙い。

メーン会場は、本社ソリューションセンター内にあるアマダ・マシンツールプラザ（AMTP）と実証加工プラザ。このうちAMTPは新製品を展示する「イノベーションゾーン」と、従来のレーザマシンやパンチ・レーザー複合マシンなどを展示する「ラインアップゾーン」に分かれる。会場内のマシンはいずれも常時稼働しており、展示機1基につき、必ず複数の担当者が待機し、来場した企業1社ごとに目の前で加工を実演するなど、見応えのある展示で来場者の関心を引きつける。

工程数削減の実例を紹介する神保執行役員（左）

最大の目玉は、イノベーションゾーン中央に展示された、国内初披露となる世界唯一の工程統合型オールインワンマシン「LASBEND―AJ」。レーザー加工、成型、タップ、曲げの4つの工程を1台に集約し、完全自動化したもので、連続無人運転による効率的な少量・多品種生産を実現する。小物精密部品や試作品製作などの小ロット・短納期対応に優れる。昨年秋にドイツで開催された欧州最大の板金加工見本市「ユーロブレッヒ2012」では、MM賞を独BVS社と共同で受賞。欧州ではBVS社のほか、複数のユーザーへの導入が決まっているという。

このほか、新製品として、自動2軸角度センサーの搭載により、試し曲げを不要とする高速・高精度サーボベンディングマシン「EG―6013」や、2キロワットのファイバーレーザー発振器を搭載した3軸リニアドライブファイバーレーザマシン「FLC―3015AJ+ASF―H―3015」など、十数機種を一挙に披露。新たな板金加工モデルを提案している。

ラインアップゾーンでは、同社が蓄積した加工データを活用することで、従来のマシンが持つ能力を最大限に引き出し、加工領域の拡大を実現する事例を紹介。建築や自動車、太陽光発電用架台などへの採用増により、レーザー加工ニーズが高まっている高耐食性めっき鋼板などの加工については、実際に日新製鋼の「ZAM」を用いた耐食性評価試験を実施。加工後に塩水を噴霧した結果、パンチング加工に比べ、CO_2レーザーやファイバーレーザーでも、100時間後の端面の耐食状態は変わらなかったとの測定結果を明らかにしている。

このほか、期間中は生産効率化や加工技術の向上につながる最新テクニカルセミナーを毎日開催。特定機種に興味のある来場者に対しては、事前の申し込みにより、個別対応でのプレゼンテーションも可能。各分野の専任担当者が、同社製品導入による具体的な効果を解説する。

Fri

鋼管・建材・線材・二三次製品

Steel pipe　Buillding materials　Wire rod　Secondally and tertially products

Thu：鋼板・二三次製品需要産業
Wed：海外情報 AMMリポート
Tue：電炉・スクラップ 技術・環境・エンジ
Mon：特殊鋼・ステンレス 鋳鍛鋼

三鋼販

「即蔵鉄」普及を強化

東北、関西で取引先開拓

三井物産鋼材販売は、鋼材のネット販売システム「即蔵鉄」の普及に向けた取り組みを強化する。比較的顧客が広がりを見せている関東、北海道地域のほか、販売網や物流の構築を進めながら、東北や関西へも取引先を広げていく考えだ。

昨年度は即蔵鉄での通算取引量が10万トンを突破。記念として10万トン目の取引先に対してプレゼントを贈呈した。年間トップ賞などの賞を設けているほか、実績のある取引先に対してiPadを送る企画などをすることで、即蔵鉄の普及を図る。

即蔵鉄はここ1－2年間で、改良を進めてきた。条鋼品、鋼管のほか、線材製品もラインアップに加え、加工品にも対応できるようになった。今後は請求などの事務手続きを簡略化することで、さらなる利便性向上を図る計画だ。

12年度は即蔵鉄の販売量が前年比10％増えており、取引先も拡大している。遠隔地の小口注文での取引が多いことから、販売網の拡大とともに、サービス向上のため、今後、物流網の拡大と効率化を進める方針だ。

即蔵鉄は24時間発注が可能で、1－2日以内で即納できることなどを特長としたネット販売システム。利用者は注文、納品データの確認や、三鋼販各拠点の在庫状況も簡単に把握できるため、取引の簡易化を図ることができる。

神鋼・溶接

技術営業で拡販加速

今期 国内市場防衛へ対策

神戸で開催された神溶会・全国総会

神戸製鋼所・溶接事業部門は、販売組織「神溶会」全国総会で、今期の国内営業方針や市場展望を発表した。業種別営業や溶接サポーター制度の推進、神溶会の組織改革と結束を柱とし、体質強化やユーザーからのさらなる信頼獲得を目指す。国内総需要は造船の減速で前年度を下回ると予想する中、国内市場の防衛にも取り組む。鉄骨、自動車、造船、建機と主要分野ごとの業種別営業では、技術優位性を武器に拡販を加速させていく。技術営業力の基盤となる溶接サポーター制度は、今年3月末で1400人以上の溶接サポーターをはじめ、シニア・エキスパート・シニアエキスパートの各サポーターが生まれている。本年度はさらに業種別マイスターの拡充や講習会、コンクールの企画実行を検討する。

販売価格の面では前年度、酸化チタン原料価格が急騰する中で限定的な価格改定を実施した一方で、輸入材を意識した対応を取っており、本年度も国内市場の防衛を念頭に置いた対策を取る。

神溶会の組織改革に関しては、指定商社と指定代理店・認定販売店の形で定期的な昇格登録を行っており、2014年度に次回資格審査を予定。神溶会は「日本のものづくりのさらなる進化」を目指し、「共に考え、共に活動し、共にユーザーの溶接課題を解決し、価値を評価され、発展する」との理念で、会の結束を図っていく方針。

本年度の国内溶接材料の市場環境は、造船向けが前年度以上のペースでダウンすると予想され、自動車も海外現地生産加速の可能性があり、鉄骨・橋梁では回復が見込まれるものの、前年度を下回る水準を見込んでいる。推定国内総需要は前年度が27万3000トン（11年度比6％減）に対し、本年度は前年度比3％減の26万5000トン規模を想定している。

14日に神戸市中央区で開催された神溶会全国総会では、神鋼の粕谷強専務取締役・溶接事業部門長、中村寿宏・同部門営業部長があいさつと事業方針、営業活動などの報告を行った。

ファブ9社

7社が前期経常黒字

今期、4社が減益見込む

鉄骨・橋梁ファブリケーター9社（連結8社、単独1社）の2013年3月期決算が出そろい、7社が経常利益を確保する一方、2社が損失を計上しており、企業の状況によって収益に差が出ている。通期では、4社が減益を見込んでおり、ファブを取り巻く厳しい状況が続きそうだ。

経常利益を確保したのは、川田テクノロジーズ、横河ブリッジHD、日本橋梁、那須電機鉄工、宮地エンジニアリンググループ、瀧上工業、高田機工の7社。そのうち、川田、横河、宮地の3社が増益で、瀧上は黒字化した。一方で、赤字転落したのが、駒井ハルテック、巴コーポレーションの2社。

受注高は4社で増加しているが、受注競争が続いている中で、手持ち契約では不採算工事なども残っている。政府の経済対策などにより、受注増に向けて機運は高まっているものの、民間工事などの受注につながっていないようだ。

鉄骨需要量は、12年度は476万トンと前年比で10％超増加し、今年度も回復傾向は続く見通し。東日本大震災の復旧・復興需要や民間設備投資も増加傾向にあるが、計画が遅れるケースも出ており、需要は緩やかな回復にとどまるとの見方が多い。

今後、鋼材価格や労務費などが上昇する一方、受注単価の引き上げは遅れており、収益が圧迫される懸念も現実味を増しており、厳しい事業環境が続きそうだ。

ファブリケーター決算まとめ
（上段：12年3月期、中段：11年3月期、下段：14年3月期予想、単位：100万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
横河ブリッジHD	88,785	3,608	1,966
	72,725	2,027	262
	90,000	3,300	2,000
川田テクノロジーズ	87,624	1,709	1,121
	79,769	111	127
	90,000	700	500
日本橋梁	39,638	927	442
	—	—	—
	40,000	900	500
駒井ハルテック	30,793	▼2,184	▼4,453
	36,158	497	523
	38,100	180	150
那須電機鉄工	21,281	231	73
	21,602	314	▼125
	20,800	200	100
宮地エンジニアリンググループ	19,429	592	474
	17,915	396	302
	23,000	600	500
巴コーポレーション	17,081	▼423	▼1,284
	20,698	773	564
	20,000	250	150
瀧上工業	9,662	6	▼141
	8,314	▼340	▼323
	9,500	80	50
高田機工（非連結）	12,020	27	38
	15,274	585	619
	14,000	140	100

（注）日本橋梁は11年3月期は個別のため記載なし

東鉄連

形鋼販売4月14％減

4.2万トン H・溝形2割ダウン

東京鉄鋼販売業連合会の形鋼部会（部会長＝出店文雄・出店鉄鋼専務）の4月度調査によると、形鋼9品種の販売量は4万1629トンと前月比で14・2％減少した。H形鋼、山形鋼、溝形鋼で前月を割り込んでいる。前年同月よりは上回っているものの、流通では荷動きが回復しているという実感に乏しいとの声が根強い。

東鉄連の形鋼調査はH形鋼、一般形鋼（山形鋼、不等辺山形鋼、溝形鋼、I形鋼）、軽量H形鋼、コラム、軽量形鋼（C形鋼、デッキプレート）について、形鋼16社、軽量形鋼10社を対象に調査した統計。

H形鋼の販売量は1万8779トンと前月比で19・5％減、山形鋼は9869トンと7・6％減、溝形鋼は6299トンと20・0％の大幅減になった。コラムは2062トンと9・9％増、軽量C形鋼は2501トンと1・1％増。

在庫量は入庫減少により、斬減傾向にあり、品種合計の月末在庫量は6万6689トンと前月比2・8％減。H形鋼は1万6348トンと3・7％減、山形鋼は1万6453トンと2・9％減、溝形鋼は1万5961トンと4・6％減、コラムは5425トンと2・0％減、軽量C形鋼は3386トンと8・4％増。

契約残も減少しており、品種計で1万8280トンと12・8％減。H形鋼は7646トンと14・2％減、山形鋼は4494トンと19・0％増、溝形鋼は2943トンと0・2％増、コラムは1972トンと7・1％減、軽量C形鋼は546トンと4・7％減。

「みらい市」を31、1日開催

橋本総業、300社出展

管工機材や環境関連設備などを取り扱う橋本総業は、5月31日と6月1日の2日間、東京・有明の東京ビッグサイトで『緑をつなぐみらい市』を開催する。鋼管や継手、バルブ、住宅設備など各業界から合計で約300社のメーカーが製品を出展・販売する。

今回のテーマは、『環境・エネルギー』『健康・快適』『安全・安心』『中古・リフォーム』『地域活性化』『IT活用』の6つ。会場内は管材、システム配管、給水システム産機、電化、ガス・温水、キッチン・バス、住設建材、工具など事業分野別に構成されている。

開催場所や時間などは以下の通り。

▽場所＝東京ビッグサイト・東5ホール、東6ホール（東京都江東区有明3－11－1）

▽時間＝午前9時30分－午後5時

☎03－5530－1111）

プロロジス

茨城・古河に物流2施設

東北、関西への配送網視野

物流不動産の運営、開発大手、プロロジス（日本本社＝東京都千代田区、山田御酒社長）は15日、茨城県古河市で「プロロジスパーク古河1」「プロロジスパーク古河2」の2棟の物流施設の開発に着手すると発表した。圏央道の整備により、関東全域だけでなく東北、関西方面の消費地への配送網が広がることもあり、計画を進めている。

国道4号線で都心へのアクセスが可能な北利根工業団地内の隣接地に建設。2014年春以降に完成予定の五霞IC（仮）から約6キロの地点の好立地。五霞ICの完成により、東北自動車道への乗り入れができるようになる。15年4月以降は圏央道の整備により、東名自動車道、中央自動車道、関越自動車道、常磐自動車道、東関東自動車道のアクセスも可能となり、利便性が向上する。

「プロロジスパーク古河1」完成予想図

2棟は約10万6000平方㍍の敷地を2区画に分けて開発を進める。プロロジスでは再生可能エネルギーを積極活用する観点から、各施設の屋根面には太陽光パネル設置を検討。すでに全国8棟の施設で計10㍋㍗の発電開始に続くものとなる見込み。

「プロロジスパーク古河1」は敷地約5万4000平方㍍に延べ床面積6万2000平方㍍の地上2階建ての物流施設で、13年に着工し、14年に竣工する予定。「プロロジスパーク古河2」は敷地5万2000平方㍍、延べ床面積5万5000平方㍍の地上2階建てで14年着工、15年竣工予定。

購読の申し込み
0120－300391
http://www.japanmetal.com/koudoku.html

引抜鋼管 全国生産

2カ月ぶり減1.7万トン

3月 東日本は前月上回る

引抜鋼管メーカーで構成する全国鋼管製造協同組合連合会（会長＝西山利明・西山製作所社長）のまとめによると、2013年3月の引抜鋼管生産量は前月比で0・8％減の17万7096トンとなり、2カ月ぶりに減少した。地域別では東日本が前月実績を上回り、西日本は下回る結果となった。

地域別に見ると、中部以東にあるメーカーを中心に構成する東部鋼管製造協同組合の生産実績が、前月比で5％増の7854トン。一方、中部以西のメーカーを中心とする西部鋼管製造協同組合は、同5・3％減の9242トン。

品種別では、普通鋼鋼管が前月比で0・9％減の1万6598トン、特殊鋼鋼管が同1・6％増の498トンだった。

詳細は別表の通り。

全国鋼管製造協同組合連合会の生産動向
（3月分、単位：トン）

	普通鋼鋼管						特殊鋼鋼管				合計
	配管用	特殊配管用	缶用	構造用	その他	小計	機械構造用炭素鋼	構造用合金鋼	ステンレス鋼	小計	
継目無管	96	713	112	1,978	379	3,278	187	203	85	475	3,753
溶接管	3	169	0	12,936	212	13,320	22	1	0	23	13,343
合計	99	882	112	14,914	591	16,598	209	204	85	498	17,096

浦安ファイル

―未来につなげる団結と信頼―

佐藤鉄鋼

基幹支店の機能担う

利便性高め要望に対応

<28>

佐藤社長

「鉄と名のつくものなら何でもすぐ間に合わせすること」を創業以来のモットーとし、中でも浦安支店は、基幹支店として佐藤鉄鋼を支える。

従来の亀戸営業所と本社倉庫の機能を移転し、1981年に浦安鉄鋼団地に支店、倉庫を置いた。さまざまな品種を扱う鋼材流通が集まっている鉄鋼団地のメリットを生かすことで、取引の幅は広がった。

浦安倉庫では山形鋼、溝形鋼、厚板、熔協品、平鋼など幅広く取り扱っており、入出庫ともに月間2700－2800トン。関東エリアを中心に福島、甲信越などの顧客からのニーズに対応する。

「幅広いお客さまに対して、配送などの仕組みを構築することで、利便性を高めて要望にお応えしていく」と鉄鋼流通としての基本を徹底する。

佐藤社長は、浦安鉄鋼団地協同組合の理事を務めており、東京鉄鋼販売業連合会の地域組織の京橋鉄友会の理事にも就任している。業界の次世代の担い手として注目されており、若手経営者からの信望も篤い。老舗特約店の信頼と基本に忠実な商売を積み上げることで、着実な発展を目指す。（山本 章央）

浦安支店

▽事業内容＝鋼材の販売並びに加工・倉庫業

▽取り扱いメーカー＝新日鉄住金、神戸製鋼所、東京製鉄、中山製鋼所、大阪製鉄、JFE条鋼、東京鋼鉄、合同製鉄、東京鉄鋼、朝日工業、伊藤製鉄所、向山工場、関東スチール、三興製鋼、城南製鋼所、日鉄住金建材工業、中山三星建材など

▽仕入れ先＝日鉄商事、メタルワン建材、三井物産スチール、伊藤忠丸紅テクノスチール、中山通商、兼松トレーディングなど

▽販売先＝シオヤ産業、日弘商会、植木鋼材、田代鋼材、末永鋼材、橋爪商事、泉商店など

会社概要

本社	東京都中央区八丁堀1丁目3番2号 ☎03(3552)3111 FAX03(3552)3128
創業	1926年7月21日（設立1948年12月1日）
資本金	3億2500万円
従業員	65人
代表者	佐藤 元政社長
売上高	137億円（2012年11月期）

日刊産業新聞 13.5.17

全国公共工事

4月請負額29％増

東北などで大幅伸長

「公共工事前払金保証統計」（北海道建設業信用保証・東日本建設業保証・西日本建設業保証まとめ）によると、2013年4月の全国公共工事請負金額は、前年同月比28・6％増の1兆5991億1600万円、件数は同27％増の1万8854件だった。

4月の動向を地域別に見ると、請負金額ベースで前年同月比を上回った地域は、東北（3596億200万円、前年同月比61・6％増）、関東（3276億3000万円、同26・2％増）、北陸（1290億3500万円、同34・1％増）、中部（1858億9600万円、同12・1％増）、中国（1040億3300万円、同44・5％増）、四国（508億7700万円、同60・3％増）、九州（1716億6300万円、同53・6％増）。東北、四国の60％を超える、九州の50％を超える増加が目に付く。

一方、北海道（1073億3700万円、同9・9％減）、近畿（1553億6200万円、同0・7％減）は減少となった。

発注者別では、請負金額の多い順に市町村（5654億6400万円、同46・4％増）、都道府県（5181億3900万円、同27％増）、独立行政法人（2095億5000万円、同11・7％減）、国（1984億2700万円、同41・7％増）、その他公共的団体（1075億3300万円、同50・4％増）。その他公共的団体の50％を超える、市町村、国の40％を超える増加が目に付く。

中国支社 HIROSHIMA
〒732-0821
広島市南区大須賀町14番12号 第一ビル
TEL（082）263−5523 FAX（082）568−2927

西日本ネットワーク
中国・四国・九州・沖縄
JAPAN METAL BULLETIN Local Network

福岡支局 FUKUOKA
〒812-0011
福岡市博多区博多駅前4丁目14番1号 深見ビル
TEL（092）472−3887 FAX（092）472−3888

商興定森広島

売上げ・加工20%増へ

建築中心に需要補足

【東広島】森定興商広島営業所（広島県東広島市、長岡信行所長）は今期（2014年3月期）の売上高と年間加工量をそれぞれ前期比20%ずつ増やす。主力商品であるコラムの夏以降の受注増が見込めるため、近く営業所に併設している中国流通センターの加工担当者を1人増員して4人とし、受注対応力を高める。建築向けを中心とする構造用鋼管や形鋼類の加工需要を確実に捕捉する。

広島営業所の営業エリアは岡山県を除く中国地方4県。コラムの足元の荷動きは落ち着いているが、引き合いは4月以降増えている。今後、各県で病院や学校、給食センターなどの新築計画が控えており、同社では主な販売先である2次流通業者への営業を強化する考え。中国地方だけでなく関西や四国、九州の同業との競争は厳しいが、サービスを向上させることで従来の顧客から新しい注文を引き出す。需要地だけでなく、エリア内のほぼ全域をカバーできる物流を生かし、新規の顧客開拓に向けた商品提案を積極的に進めていく。

今期は瀬戸内地区の造船やプラント向けのパイプ類販売が底堅く推移している。また、同センターでは新日鉄住金エンジニアリングの回転圧の鋼管杭「NSエコパイル」の先端部に、らせん形状の羽根を取り付ける作業も手がけており、今後の仕事量増が見込めるとする。

「リーマン・ショック後は厳しい販売状況が続いていたが、今期は下期以降、建築向けを中心に受注増加が見込める」（長岡所長）とし、早急に営業と加工の体制を整えて、繁忙期に備えていく考えだ。

広島地区

建築鋼材市況横ばい

荷動き低迷 価格転嫁が難航

広島地区の建築鋼材市況は横ばい。連休明け以降も荷動きは悪く、大きな変化は見られない。メーカーの大幅な値上げを受けて特約店は価格転嫁に取り組んでいるが、これまでに転嫁できたのは50%にも満たない。

足元の市中実勢価格は異形棒鋼がベースサイズでトン当たり5万7000−5万8000円どころ、H形鋼は7万1000−7万2000円、等辺山形鋼は7万3000−7万4000円、溝形鋼は7万3000−7万4000円どころ。4月中旬から価格転嫁が進まなくなっている。販売数量の確保を優先させる特約店の安値折り合いも散見される。

メーカーの値上げ幅は1−4月で1万−1万3000円。この間の流通の価格転嫁は半分以下の計5000−6000円程度にとどまっている。メーカーは原材料の鉄スクラップの高止まりや4月からの電気料金の引き上げで生産コストが上昇しているため強硬姿勢を崩していない。一方で需要家側は、建築・土木物件などの受注金額が上がらず、販売不振が長引いている建・産機業界は、生産調整で在庫整理が長引くなど価格転嫁を受け入れる環境が整っていない。建築現場での鉄筋加工や型枠加工など専門分野での人手不足が続いており、工期がずれ込む案件も出ている。「荷動きの回復を鈍らせる」（特約店）と懸念する声もある。

安倍政権の経済政策「アベノミクス」に対する期待が大きく、特約店は仕入れを増やしたが、荷動きが停滞しているため特約店の在庫が増えている。市中には値上げ後の玉が入荷しており、4カ月連続で仕入れ価格が上昇している特約店は価格転嫁を急がねばならないが、「需要の盛り上がりに欠け、転嫁するための決め手がない」（同）状況にある。今後も価格転嫁について難航が予想される。

集音盤

今こそ人材育成に力

「造船不況の影響で鋼材の取扱量が減少しており足元は厳しい状況にあるが、人材育成など業務の質を高める努力を継続し、業況が好転する時を待ちたい」と話すのは堀口勝哉・堀口海運社長。

同社は国内高炉メーカーの指定河岸として広島県呉市内の3カ所で鋼材の荷役保管業務を行い、2012年9月期の鋼材取扱量は主力の造船用厚板の落ち込みが影響し、前期比5・2%減の約55万8000㌧だった。今期はこれまで月平均4万㌧弱で推移しており、年間では50万㌧の確保が微妙な状況となっている。

昨年7月末からは呉市の公共ふ頭「阿賀マリノポリス」で韓国POSCOの運営委託を受け、同社製の造船用厚板の荷役、保管業務を行っているが、同所での月間扱い量は現在3000㌧で推移しており、量に変化はないという。

「リーマン・ショック直後は造船所が仕事量を確保していたため、扱い量はほとんど影響を受けなかった」という。「これまでにも造船不況は経験したことがあり、皆で力を合わせて乗り切ってきた。しばらくは我慢の時期が続くが、こういう時だからこそ、忙しい時にはできない人材育成に注力していきたい。社員には業務に必要な資格の取得や物流関連のセミナーへの参加などを勧めている」という。（中）

鉄リ工業会中四国支部

「秋には環境好転」

総会開催、50人が参加

平林支部長

【広島】日本鉄リサイクル工業会中四国支部は13日、広島市内で通常総会を開催、約50人が参加した。

冒頭、平林久一支部長（平林金属社長）は「韓国へのスクラップ輸出は厳しい状況が続いている。日本国内は少しずつ鉄鋼生産が回復してきた。夏以降、東日本大震災の復興にも手がつき始め、秋には今よりも鉄スクラップを取り巻く環境は良くなるだろう。ただ、足元は相場が少し弱い状況で4月から5月第2週まで2500㌧ずつ値上がりし、値下がりに関係なく、われわれは常に安定した収益を上げていた。取扱量の回復や増加が見込めない中、採算を重視し、量よりも質を求めていかなくてはならないだろう。採算改善の方策については地域特性などあるが、細かいことに鋭意努力していくことが必要。一緒にがんばって苦況を乗り切っていこう」と話した。

金村・鉄リ工業会副会長

来賓の金村成健・日本鉄リサイクル工業会副会長（京阪メタル社長）は「2012年度は鉄スクラップ業界にとって厳しい1年だった。今から6、7年前は相場の値上がり、値下がりに関係なく、われわれは常に安定した収益を上げていた。取扱量の回復や増加が見込めない中、採算を重視し、量よりも質を求めていかなくてはならないだろう。採算改善の方策については地域特性などあるが、細かいことに鋭意努力していくことが必要。一緒にがんばって苦況を乗り切っていこう」と話した。

福岡県建築鉄骨協議会

今年度初会合に45人

【福岡】福岡県建築鉄骨協議会（会長＝河野昭彦・九州大学大学院教授）は13日、福岡市のホテルセントラーザ博多で今年度初めての会合を開き、メンバーなど45人が参加した＝写真。

最初の議題では、会員の入会および変更が発表された。内田和弘・九州産業大学工学部建築学科教授が入会。また、日本建築構造技術者協会（JSCA）九州支部の役員人事が行われたことで、尾宮洋一氏と山下正吾氏から宮田俊英氏と福井弘之氏へと交代した。

その後、設立10周年を迎え、過去の活動状況を踏まえた今年度の事業活動が示された。

JFE福山

恒例フェスタに16万人

好天下、地域盛り上がる

【福山】JFEスチール西日本製鉄所は12日、福山地区で恒例の「2013JFE西日本フェスタ・inふくやま」を開催、約16万人が来場した。「未来に向かっていきいきスマイル！」をテーマにさまざまな催しを行った。

開会宣言する渡邉所長

渡邉誠所長の開会宣言で開幕。4月の所長就任後、初めてのフェスタとなった渡邉所長は「今日は好天に恵まれ、朝からたくさんの方に来ていただいた。地域の盛り上がりに貢献できてうれしい」と喜んでいた。

会場には、同社やJFEスチールのグループ企業、町内会が飲食や生活用品の模擬店約100店を出店した。東北の特産品を販売するコーナーも設けられた。メーンステージでは歌や踊り、太鼓など多彩な発表があり、サブステージではダンスが披露された。地域対抗の綱引き大会やクイズラリー、フリーマーケットもにぎわいを見せていた。

熱延工場と形鋼工場の2コースで行われた工場見学会は親子連れなどで人気を集め、見学用バスの乗り場には長蛇の列が絶えなかった。工場では音や熱気に子供たちの歓声があがり、中には鉄について父親に熱心に問いかける子供の姿もあった。

親子連れでにぎわった工場見学

新聞記事の複製許諾は本社IT事業局へご相談を
新聞記事は著作権法で保護されています。著作権者の許諾を得ていないコピー、パソコンへのデータ取り込みなどは違法となります。業務上、コピーや記事のクリッピングが必要な場合は、大阪本社IT事業局☎06（6443）8550にご相談下さい。

綾目義一・三友社長

野鳥写真展に5作品出展

綾目社長

10日からの愛鳥週間に合わせて山口市阿知須の山口県立きらら浜自然観察公園で、野鳥写真展が開かれており、防府市内に本社を置く建設資材の販売施工大手、三友の綾目義一社長が猛禽類の「チョウゲンボウ」など5作品を出展している。

綾目社長は野鳥観察・撮影が趣味で、海外も含めて多くの野鳥を写真に収めている。先日も地元銀行の要請を受けて写真展を開いたが、今年で5回目となるきらら浜の写真展へも毎年出品し、その腕前を披露している。

作品「チョウゲンボウ」

綾目社長が野鳥の撮影に興味を持ったのは8年前、近所の小川でカワセミを撮ったのがきっかけ。「小さな野鳥のヒスイのごとき美しい姿にすっかり魅了され、以来、週末にはカメラを提げてフィールドを徘徊する羽目になった」という。野鳥は警戒心が強く、動きも俊敏で撮影には苦労するが、「捕食の一瞬、着水、飛び立つ一瞬の姿は、生命力、気高さ、可憐さ、健気さなど魅力に溢れる。今後も野鳥観察を通じて自然と人間の関わり、ひいては環境問題により関心を持ちたい」と話している。

「山口県立きらら浜自然観察公園・野鳥写真展」は22人・99作品の出展で、6月9日まで開催されている（月曜日休園）。

カラー鋼板は強横ばい推移

仕入れ高で先高観

広島地区のカラー鋼板市況は強横ばい。市中実勢価格はベースサイズがカラー大コイルでトン当たり22万7000−23万円どころ、小コイルで24万7000−25万円どころ。

メーカーは4月出荷分から、トン1万5000−2万円の大幅値上げの実施を表明した。段階的に引き上げる考えで、第1段階として5000円程度値上げし、浸透を待ってさらに上げるものとみられる。

市中では第一段階の値上げで先高観が醸成され、特約店の安値受注は姿を消した。2月は2・3次流通から先行手配や積み増しの仮需が発生したものの、3月と4月は「期待したほどの動きはなかった」（特約店）。今後、夏以降に動きが出てくるとみる向きが多い。

メーカーの値上げを受けて、特約店は唱えを上げ、需要家への説明に回っている。需要家からは「値上げはやむを得ない」との感触を得ている。特約店は値上げ後の玉の入荷が本格化する6月下旬以降に価格転嫁を進めたい考えだ。

九州・中国・四国ステンレス流通

売上げ「横ばい」過半数

1−3月調査 在庫は増加傾向

九州・中国・四国地区の各ステンレス流通協会は「経営実態アンケート調査（2013年1−3月）」を実施した。売上高は前回調査と比べ、3地区とも「横ばい」が半数を超えており、前回調査と比べて一服感が出ている。

アンケート調査の回収率は九州が58・3%（前回54・2%）、中国が72・0%（同60・0%）、四国が66・7%（同56・1%）。

収益・採算性を見ると、「黒字」は九州で9・9㌽減、中国で4・4㌽増、四国で32・9㌽減。中国地区は黒字が増加したものの、「赤字」が12・2㌽増、四国地区は同20㌽増と赤字転落した企業が増えた。

在庫量は「多い」という回答が3地区とも前回調査時よりも増えている。今後の動向に注視が必要となりそう。

次期見通しについて、業界の景気は横ばいが3地区とも70%超。新年度に入り、季節要因として荷動きが停滞するとを予測している。このため、業績も「横ばい」が過半を占めている。

調査の主な内容と回答は別表の通り。

社史・団体史の発行をお考えですか？
個人史・書籍・単行本・記念誌・新聞・会社案内・カタログ・マニュアルなどご要望にお応えし、編集製作・印刷をお引き受けします。
お問い合わせ先 株式会社 産業新聞社 東京本社 TEL（03）5566-8777 大阪本社 TEL（06）6443-8551

四国の鉄鋼相場 （単位：トン、円）

（5月15日現在、右は来週の見通し）

異形棒鋼（SD295、直送）		58,000	→
平鋼（6×50）		74,000	→
等辺山形鋼（6×50）		74,000	→
溝形鋼（6.5×75×150）		74,000	→
H形鋼（5.5×8×200×100）		71,000	→
大径角形鋼管・BCR（12×350×350）		87,000	→
角形鋼管（2.3×100×100）	黒	105,000	↗
	カラー	110,000	↗
軽量C形鋼（2.3×100×50×20）		93,000	→
中板	3.2（4×8）	65,000	→
酸洗鋼板	3.2（4×8）	68,000	→
冷延鋼板	1.6（4×8）	77,000	→
表面処理鋼板	1.6（4×8）	86,000	→
厚板 切板		88,000	→
縞鋼板	4.5（4×8）	88,000	→
黒ガス管	50A	125,000	→
一般構造用鋼管	48.6×2.3	130,000	→
ステンレス鋼板SUS304 ホットカットシート3−6（18Cr−8Ni）		325,000	→
鉄スクラップ価格	H2 姫路	▼31,500	→
	H2 大阪	▼33,000	→
東京製鉄岡山・陸	H2	33,000	→
高松・陸	H2	32,000	→

※鋼材価格は置場渡し価格、鉄スクラップは購入価格
△は値上がり、▼は値下がり 毎週金曜日に掲載

3地区ステンレス流通協会1−3月経営実態アンケート調査

	地区	九州		中国		四国	
	対象社数	24	14	25	18	15	10
	回答社数						
	回収率	58.3%		72.0%		66.7%	
売上高	a）増加	4	28.6%	2	11.1%	1	10.0%
	b）横ばい	7	50.0%	10	55.6%	6	60.0%
	c）減少	3	21.4%	6	33.3%	3	30.0%
		14		18		10	
収益・採算	（イ）今期						
	a）黒字	4	28.6%	8	44.4%	1	10.0%
	b）収支トントン	5	35.7%	3	16.7%	7	70.0%
	c）赤字	5	35.7%	7	38.9%	2	20.0%
		14		18		10	
	（ロ）前期比						
	a）良化	5	35.7%	4	22.2%	1	11.1%
	b）横ばい	6	42.9%	10	55.6%	5	55.6%
	c）悪化	3	21.4%	4	22.2%	3	33.3%
		14		18		9	
在庫量	（イ）今期末在庫量（ケ月）						
	a）1.0以下	1	7.7%	1	5.6%	1	10.0%
	b）1.1〜1.5	1	7.7%	9	50.0%	3	30.0%
	c）1.6〜2.0	4	30.8%	1	5.6%	2	20.0%
	d）2.1〜2.5	5	38.5%	3	16.7%	4	40.0%
	e）2.6〜3.0	0	0.0%	1	5.6%	0	0.0%
	f）3.1〜3.5	1	7.7%	1	5.6%	0	0.0%
	g）3.6以上	1	7.7%	2	11.1%	0	0.0%
		13		18		10	
	（ロ）今期末の在庫量は						
	a）多い	5	35.7%	4	22.2%	4	40.0%
	b）適量	8	57.1%	12	66.7%	6	60.0%
	c）少ない	1	7.1%	2	11.1%	0	0.0%
		14		18		10	
次期見通し	（イ）ステンレス業界の景気						
	a）良化	3	21.4%	3	16.7%	1	10.0%
	b）横ばい	11	78.6%	13	72.2%	8	80.0%
	c）悪化	0	0.0%	2	11.1%	1	10.0%
		14		18		10	
	（ロ）業績（現在と比べて）						
	a）良化	4	28.6%	4	22.2%	1	10.0%
	b）横ばい	9	64.3%	12	66.7%	8	80.0%
	c）悪化	1	7.1%	2	11.1%	1	10.0%
		14		18		10	

ISO-9001 認証取得
三喜工業株式会社
〒808-0021 北九州市若松区響町1丁目110番2 TEL.093-751-3333
E-mail：sanki@sankiindustry.co.jp FAX.093-751-3366
http://sankiindustry.co.jp/
営業種目
ショットブラスト グリットブラスト ショットプライマー
重防蝕塗装 特殊塗装 一般塗装
樹脂コーティング 樹脂ライニング （防蝕溶射）

鉄鋼商況

東京

異形棒

現状価格を維持

異形棒鋼はベースサイズの直送でトン6万円で横ばい。5万円台の取引も散見されるが、メーカーは価格優先の取引姿勢を強めているため、全体的に現状価格を維持している。ゼネコンも当面の手配を済ませており、取引量低迷は続く見通しのなか、市況は同値圏で推移しそうだ。

5月のメーカー受注量は、4月並み水準となりそうだ。関東地区で20万㌧を割り込むペースは7－8月まで続くとの見方もある。メーカー契約残が4－5カ月あるうえ、マンション計画も現場の人材不足などで遅れていることも取引量低迷影響の要因となっているようだ。

鉄スクラップ電炉買値が弱基調となっているなかで、上値の引き上げは難しくなってきた。ただ、現状の出荷単価と鉄スクラップ電炉買値のスプレットでは採算確保が困難なため、メーカーは値下げには応じにくい状態。減産など需給引き締め策を実行しながら、市況の維持に努めている。

STK

いぜん様子見商状

一般構造用鋼管（溶協品、STK）は依然として様子見状態で推移している。

足元の地区相場は、ベースサイズ（STK400、直径48・6㍉×肉厚2・3㍉）で中心値トン10万5000－10万7000円と前週から大きな変化は見られていない。

足元は溶接鋼管専業メーカーの一般構造用鋼管販売価格に表立った動きが出ていないことや、需給に大きな変化が見られていないことを背景に、地区内の流通は店売り価格に対し慎重な対応を続けている。

メーカーは4月出荷分の販売価格引き上げを表明したものの、今のところ市中流通には浸透していない。ただ、メーカーの値上げは、市況の下支え要因にはなっており、市中では、「これ以上、相場が下落することは考えにくい」（地区内特約店）などといった見方が多い。

目先、地区内の一般構造用鋼管市況は様子見状態で推移すると考えられる。

大阪

H形鋼

ベース7.2万円中心

H形鋼は7万2000円（ベースサイズ、置き場渡し）どころで、横ばいの推移となっている。

大型連休明けも引き合いは低調に推移している。店舗、倉庫、事務所などの建設計画はそれなりにあると言わるが、特約店への注文が大きく増加するには至っていないもよう。「まずまず出ているが、春以降、引き合いが上向くことを期待していたため、今の需要水準では満足できないのではないか」（特約店筋）という。

荷動きの低迷や流通の仕入増などにより、市中在庫は増加傾向となっている。ただ、今後は減少に転じるとみる向きが多い。

メーカーの大幅値上げ分の価格転嫁が道半ばにとどまったまま、市況は横ばいの推移となっている。「高値製品が入庫で流通の採算は大きく悪化しているが、値上げは容易に通らない」（特約店筋）と嘆く声が聞かれる。当面、市況は横ばいが見込まれる。

Ni系ステン冷薄

高値寄り展開続く

ニッケル系ステンレス冷延薄板は強含み。

市中はSUS304ベースサイズ（2㍉）がトン当たり28万5000－29万5000円どころ中心。

市中は引き続き高値寄りでの展開。実需は少しずつ回復傾向となっている一方、LMEニッケル価格の下落傾向やステンレススクラップ価格の続落など原料価格が下押しするなか、流通筋の値上げ浸透も「当初予定からは若干遅れている」（関係筋）状況。ただ、メーカーの強気姿勢が続くなか、流通各社も6月をめどにトン30万円の市況浸透に向けた取り組みを進めている。

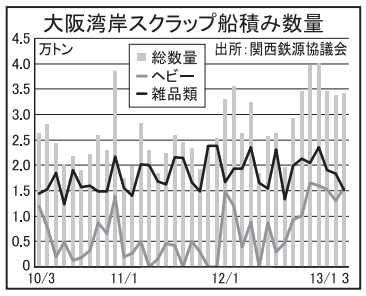
流通筋の販売状況も4月は年度末環境の反動から若干下押したものの、足元では「年度後半に向けた引き合いも、確実に増加している」（同）との向きも多く、市況上伸に向け、ここが踏ん張りどころといった状況かが。

トピックス

関西鉄源協議会（代表幹事＝黒川友二・扶和メタル社長）がまとめた3月の大阪湾岸スクラップ船積み数量は、総計で前年同月比29％増の3万4145㌧と昨年10月以降、6カ月連続で3万㌧を突破した。

内訳はヘビースクラップが293％増の1万5614㌧で、2カ月ぶりに1万5000㌧を超えた。

また、雑品スクラップ類は「中国の買いが停滞気味」（流通筋）など、22％減に1万5193㌧とどまっており、3カ月連続で2万㌧を割り込んでいる。



市況展望

Market Conditions

東京・薄板

市況押上げの兆し

東京地区の薄板市場は荷動きの低迷を受け、市況は依然横ばいで推移している。ただ、直需向けのひも付き契約については、向け先によってばらつきがあるものの、トン数千円台後半から1万円超の値上げで決着したケースも出てきており、次第に店売り市場にも波及し、市況を押し上げる可能性が高い。

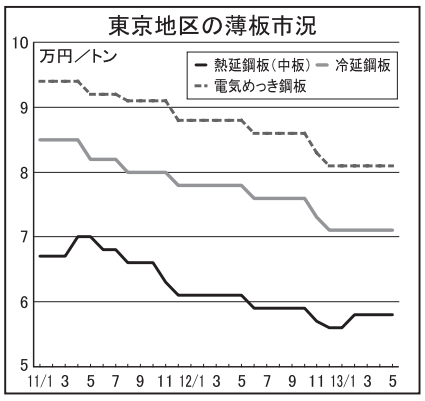
市中価格（ベースサイズ、トン当たり）は熱延鋼板（中板）が5万6000－5万8000円、酸洗鋼板が5万9000－6万1000円、冷延鋼板が6万9000－7万1000円、電気めっき鋼板が熱延ベース7万9000－8万1000円、冷延ベース8万9000－9万1000円、溶融めっき鋼板が8万－8万2000円。

鉄鋼メーカーは為替の円安進行で、輸出好調や自動車など需要家の生産増といった恩恵を受け、ロールがタイト化している。特に店売り向けは納期遅れが常態化し、足元のコイルセンター在庫は減少しているもよう。納期遅れは「平均で2週間程度。こちらから催促しないと、1カ月遅れるものもある」（関東地区のコイルセンター筋）。

全国コイルセンター工業組合によると、3月の関東・東北・北陸地区の在庫量は58万1753㌧で、在庫率は1・09月。前月比では0・1％増えたが、前年同月に比べると、4・5％の減少。前年同月も在庫率は1・09カ月であることから、需給バランスに変化はないが、為替水準や株価などが好転し、震災復興事業もようやく本格化の兆しが見え始めるなど、前年とは環境が一変してきたことから、先行きについては前年よりも明るさが見られる。

実際に店売り向けの鉄鋼メーカーへの申し込みは大幅値上げ実施後も減少していない。海外メーカーは日本向けの価格を急激に引き上げたほか、割安な日本相場を嫌気して、販売数量も相当絞っている。一部海外メーカーは品種によって受注をスキップしたものもあり、こうした仕入先の選択肢が狭まっていることが影響しているようだ。

流通業者は旧単価の在庫が少なくなる中、店売り、直需ともに帳端明けとなる来週から唱え上げを一層強める構え。市況は強含みに転じる見通し。



鉄スクラップ商況

鉄スクラップ相場

2013年5月16日調べ、◉は上げ▼は下げ（いずれも本体価格のみ）
問屋ヤード持ち込み価格（現金、1㌧、円）
※は引き取り条件、地域により再生加工料を取るケース（逆有償）。
一印は商いなし。

	東京	大阪	名古屋	広島	北九州	東北	札幌
可鍛・配合材							
キュポラ用	36800	36400	35400	32300	—	30300	—
一般用	33800	33400	32400	29300	28300	27300	—
H S	26000	25000	23500	24800	25000	19500	16500
H 1	24300	23500	22500	23200	23000	17800	16000
H 2	22500	22500	20300	22300	22400	16000	14500
H 3	21500	21000	19300	21400	21400	15000	13500
ギロチン材 A	21000	21500	19500	21300	20500	14500	13500
〃 B	20500	20000	19000	20600	20000	14000	—
〃 C	20000	18500	18500	17500	18500	13500	—
新断プレス	26600	24500	23800	24600	24700	20100	15500
新断バラ	25600	23500	22700	24300	24000	19100	13000
鋼ダライ粉	19700	18000	14300	19200	18800	11400	11000
銑ダライ粉 A	20200	17200	14500	19700	18900	11900	13000
〃 B	19700	17000	13900	19200	18800	11400	11000
故銑（上大割）	26300	22500	21400	24600	24000	19800	14500
〃（並大割）	24800	21500	21000	23600	22500	18300	13500
自動車プレス	19500	18500	—	16000	16400	13000	11000
自動車ガラ	19000	17500	17800	14500	15900	12500	11000
モーターブロック	24000	22500	—	22000	20800	17500	15000
スチール缶（飲料缶）	19000	17000	13000	16500	19700	12500	11000
ステンレス・スクラップ							
18Cr8Ni新断	65000	65000	66000	65000	65000	70000	73000
〃（ダライ粉）	40000	35000	41000	35000	35000	50000	53000
18Cr	26000	30000	32000	30000	30000	27500	25000
13Cr	24000	28000	30000	28000	28000	26000	23000

問屋売り需要家持ち込み価格（現金、1㌧、円）

伸鉄材（上）	26000	25000	—	—	—	—	—
〃（並）	22500	23500	—	—	—	—	—

規格	厚さ	幅または高さ×長さ	単重（kg）
H S	6mm以上	500mm以下× 700mm以下	600以下電特
H 1	6mm以上	500mm以下×1,200mm以下	1,000以下特A
H 2	3mm以上6mm以下	500mm以下×1,200mm以下	1,000以下特級
H 3	1mm以上3mm以下	500mm以下×1,200mm以下	1,000以下1級

日本鉄スクラップ総合価格　5月10日調べ

H 2	22100円（▼200）	216.75ドル（▼1.96）
新断プレス	25300円（▼200）	248.14ドル（▼1.96）

※ 産業新聞平均　東京、大阪、名古屋の3地区相場平均(トン当たり)、ドル建てはTTS 101.96円で換算

米国鉄スクラップ総合価格　332.50ドル

（総合価格ネット）　TTS1ドル＝103.17円　円換算1㌧＝ 34,304円
（No.1ヘビー、単位：トン当たりドル）

東部地区	ピッツバーグ 329.50	フィラデルフィア 323.50	シカゴ 344.50
西部地区	ロサンゼルス —	シアトル —	サンフランシスコ —

東京

炉前据置き様子見

鉄スクラップは横ばい。ヤード持ち込み価格は、H2がトン2万2500円、H1がトン2万4300円、HSがトン2万6000円どころ。

関東地区鉄鋼メーカーの鉄スクラップ炉前購入価格（H2ベース）はトン3万1500－3万2500円前後（16日時点）。

地場メーカーは16日時点で炉前購入価格を据え置いたままの状態。東アジア向け輸出商談への円安影響も視野に入れて、足元は様子見状態になっている。一方で、市中ヤードからメーカーへの入荷が順調なことなどを背景にして地合いの弱い中での推移となっており、製品市況も見ながら底値圏を探っている。

落札結果に注目

鉄スクラップは弱もちあい。ヤード持ち込み価格（H2）はトン2万2500円前後。

大阪地区電炉メーカーの鉄スクラップ購入価格（H2）はトン3万2000円前後、一部トン3万4000円前後。「海外市況が低迷しており、国内市況も弱ムードが払しょくできない」（流通筋）状況。地区内では電炉各社の鉄スクラップ入荷増などで、今週中に電炉メーカー各社の値下げが広がっている。

きょう17日には関西テンダーが行われる予定で、「韓国向け商談は難航しているが、為替が円安基調となっている。相場の下支えとなる価格が出るかどうか」（ヤード筋）など、落札結果に注目が集まる。

仙台

H形鋼

こう着状態続く

H形鋼はベースサイズでトン当たり7万2000円と横ばい。中小物件は動いているものの、マーケットはここ数カ月こう着状態が続く。東京製鉄の2カ月連続据え置きが影響しており、頭重い展開で推移している。

エンドユーザーは様子見姿勢で、流通サイドの販価も7万円台半ばから後半で停滞している。同業他社との競争も激しく、販価をなかなか上げられない。

今後出てくるとされる大型物件に期待する声が多い。

また、今月下旬に発表される東鉄の6月販価に注目が集まっている。大型連休後、原料鉄スクラップ価格が若干だが下がっている。同社が製品販価を引き下げると、昨年同様に6月以降下げ基調に転じる可能性もある。

福岡

平鋼

荷動き比較的堅調

平鋼はベース8万9000－9万2000円どころを強横ばい。

需要は設備向けの荷動きと引き合いが比較的堅調。造船と建築向けは一服感が広がっているなか、ボリュームが減っているものの小口ながらも荷動きは堅調といえる。

特約店のスプライスプレート加工は一定水準を確保しているもよう。

市中在庫は適量域を維持している。特約店は今以上に在庫量が増えないように、メーカーへの申し込みを抑制している。

原料スクラップ価格が弱含み推移し、高値が浸透し難い状況にある。しかし流通は採算重視のため、価格転嫁を進めている。ただ足元は他の鋼材に値上げ一服感が広がっているため、様子見の横ばいとなっている。

名古屋

厚板

需要低迷、横ばい

厚板は横ばい。市中実勢は定尺8万円（ベースサイズ、トン当たり）どころ。切板は小口店売り向け9万－9万円前半どころが中心。

地区需要は、建築向けで増加傾向を指摘する声が聞かれるが、一般工作機械関連は依然として低水準なまで、市中荷動きも盛り上がりを欠いた状態で推移している。

一方メーカー販売量は「実需ベースで伸びている」（メーカー筋）と比較的堅調。高炉は4月以降での大幅値上げとともに供給も削減し、「希望数量が入らない」（問屋筋）との状況。

流通や溶断業者には、既に年明け後の値上げ玉が入荷しており、各社、価格転嫁を図っているが、店売り需要の低迷に伴い値上げは通り難いのが実態で、当面は横ばい商状が続く見通しが強い。

富山

鉄スクラップ

いぜん先安含み

鉄スクラップは弱もちあい。地区内メーカーのH2炉前価格はトン2万9000円あたりで横ばいだが、依然として先安含み。

市中取り扱い筋の大方の予想通り、東京製鉄は連休が明けた8日入荷分から原料購入価格の引き下げを実施。地区内メーカーも即日これに追随したことから、鉄スクラップ相場の地合いは一段と悪化した。

関東鉄源協同組合の輸出入札は、足元の輸出環境の悪さを考慮すると高値落札といえる内容だった。しかし「輸出相場はまだ弱い」といった見方が強く、市況の下落幅を緩和させる程度の影響とみられる。「アベノミクス」効果が実際の鋼材需要に結びついていないこともあり、まだしばらく弱含む見通し。

地方商況

鉄鋼市中相場

2013年5月16日調べ、問屋置き場仲値ベース（◉印は上げ▼は下げ、単位：円／トン、Nはノミナル）＊いずれも本体価格のみ

棒鋼

	東京	大阪	名古屋	広島	福岡	仙台	札幌
◇異形棒鋼							
SD295（在庫）							
10	68000	68000	72000	69000	70000	70000	77000
13	66000	66000	70000	67000	67000	68000	75000
16―25	64000	64000	68000	65000	65000	65000	73000
SD295（直送）							
10	64000	61000	62000	61000	65000	64000	64000
13	62000	59000	60000	59000	62000	62000	62000
16―25	60000	57000	58000	57000	60000	60000	60000
32	61000	58000	59000	58000	61000	61000	62000
SD345（直送）							
16―25	62000	60000	61000	60000	63000	62000	62000
32	63000	61000	62000	61000	64000	63000	64000
◇丸鋼（SR235、プレーン）							
9	99000	101000	100000	104000	―	99000	103000
13	91000	87000	92000	87000	92000	91000	93000
16―25	89000	85000	90000	85000	90000	89000	91000
◇構造用棒鋼							
13	117000	102000	117000	117000	124000	117000	118000
16―25	111000	100000	115000	115000	122000	111000	116000
28	113000	101000	117000	116000	124000	113000	118000
◇平鋼							
6×32	88000	76000	77000	77000	91000	85000	92000
6×50、9×100	86000	74000	75000	74000	89000	83000	92000
16×50	89000	77000	77000	77000	92000	86000	95000
9×200	88000	81000	81000	81000	95000	85000	97000
◇角鋼							
16	113000	104000	110000	110000	118000	115000	127000
25	112000	102000	108000	108000	118000	113000	129000
50	113000	105000	111000	113000	121000	115000	131000

パイプ

	東京	大阪	名古屋	広島	福岡	仙台	札幌
◇黒ガス管（高炉品、ねじ無し、キロ）							
15A（1/2㌅）	145	150	150	160	150	150	150
50A（2㌅）	135	140	140	150	140	140	140
150A（6㌅）	140	145	145	155	145	145	145
◇黒ガス管(非高炉品、キロ)							
15A（1/2㌅）	110	135	130	140	135	135	150
50A（2㌅）	105	125	125	130	125	130	140
150A（6㌅）	110	130	130	135	130	135	145
◇白ガス管（高炉品、ねじ付き、ピース建て、キロ）							
15A（1/2㌅）	1728	1420	1440	1547	1420	1728	1500
50A（2㌅）	6174	5080	5144	5523	5080	6174	5000
（ねじなし）(150Aは耐溝食電縫管)							
100A（4㌅）	12910	10630	10760	11547	10640	12910	10880
150A（6㌅）	30771	25330	25641	27524	25360	30771	26000
◇一般構造用鋼管（STK400、キロ）							
21.7×1.9㍉	110	115	130	132	130	120	130
48.6×2.3㍉	105	110	125	127	125	115	125
216.3×5.8㍉	110	115	―	132	130	120	141
◇角形鋼管							
2.3×100×100（黒皮）	84000	93000	106000	105000	110000	92000	110000
2.3×100×100（カラー）	93000	103000	114000	115000	118000	101000	119000

形鋼

	東京	大阪	名古屋	広島	福岡	仙台	札幌
◇H形鋼							
(広幅)							
6/8×100×100	73000	74000	74000	74000	74000	74000	80000
8/12×200×200	71000	72000	72000	72000	72000	72000	78000
12/19×350×350	73000	74000	74000	74000	74000	74000	81000
(中幅)							
6/9×148×100	70000	72000	72000	72000	72000	72000	80000
9/14×340×250	72000	74000	74000	74000	74000	74000	80000
10/16×390×300	72000	74000	74000	74000	74000	74000	80000
12/20×588×300	75000	77000	77000	77000	77000	77000	83000
(細幅)							
5/7×100×50	86000	92000	92000	95000	92000	99000	95000
6/8×125×60	84000	89000	90000	93000	90000	96000	93000
5/7×150×75	72000	74000	74000	74000	74000	74000	82000
5.5/8×200×100	70000	72000	72000	72000	72000	72000	80000
8/13×400×200	70000	72000	72000	72000	72000	72000	80000
11/17×600×200	75000	77000	77000	77000	77000	77000	85000
◇等辺山形鋼							
3×25	84000	84000	82000	83000	87000	85000	90000
3×30	81000	82000	80000	81000	85000	82000	88000
3×40	78000	79000	77000	78000	82000	79000	85000
5×40	75000	77000	75000	76000	79000	76000	83000
4×50	73000	75000	73000	74000	78000	74000	81000
6×50	71000	74000	72000	73000	77000	72000	80000
10×90	76000	79000	78000	78000	81000	77000	84000
9×130	81000	84000	84000	86000	90000	87000	90000
◇不等辺山形鋼							
7×75×100,10×75×125	100000	100000	114000	108000	112000	108000	112000
12×90×150	100000	100000	114000	108000	112000	118000	112000
◇溝形鋼							
5×50×100	73000	74000	72000	74000	78000	76000	80000
6.5×75×150	72000	73000	71000	73000	77000	74000	79000
8×90×200	73000	73000	71000	75000	77000	76000	79000
9×90×250	74000	74000	73000	77000	79000	77000	81000
9×90×300	75000	77000	75000	79000	83000	78000	82000
13×100×380	77000	79000	77000	81000	88000	85000	84000
◇I形鋼							
5.5×75×125	121000	120000	121000	122000	130000	130000	133000
7×100×200	102000	90000	93000	95000	105000	105000	115000

コラム

	東京	大阪	名古屋	広島	福岡	仙台	札幌
◇大径角形鋼管（切断、開先加工込み）							
BCR							
9×200×200	87000	85000	90000	87000	90000	95000	112000
12×350×350	87000	85000	90000	87000	90000	95000	115000
16×400×400	95000	93000	98000	95000	98000	103000	123000
STKR							
9×200×200	103000	85000	90000	87000	101000	101000	114000
12×350×350	103000	85000	90000	87000	101000	101000	117000
16×400×400	106000	88000	93000	90000	104000	106000	125000

鋼板

	東京	大阪	名古屋	広島	福岡	仙台	札幌
◇熱延鋼板（3×6)(4×8)							
1.6	62000	64000	63000	63000	68000	62000	76000
2.3	59000	60000	60000	60000	65000	59000	75000
3.2/4.5(中板)	58000	59000	59000	60000	63000	58000	73000
3.2/4.5(5×10)（〃）	59000	60000	60000	62000	65000	59000	75000
(コイルカット品)							
6(4×8)	―	74000	73000	73000	77000	66000	81000
6(5×10)	72000	75000	74000	75000	79000	70000	84000
9(4×8)	72000	75000	74000	76000	78000	70000	84000
9(5×10)	75000	78000	77000	78000	80000	73000	85000
◇酸洗鋼板（3×6)(4×8)							
1.6	61000	60000	65000	64000	69000	65000	―
2.3	61000	60000	65000	64000	69000	65000	―
◇冷延鋼板（3×6)(4×8)							
0.6	75000	74000	79000	77000	81000	78000	91000
0.8	73000	72000	77000	75000	79000	76000	90000
1.0/1.2/1.6	71000	70000	76000	73000	77000	74000	89000
2.3	72000	71000	77000	75000	79000	75000	90000
3.2	77000	76000	80000	80000	84000	80000	95000
◇表面処理鋼板（3×6)(4×8)							
電気(熱延)1.6/2.3	81000	75000	88000	80000	85000	83000	98000
電気(冷延) 1.0	91000	85000	98000	90000	95000	93000	108000
溶融(熱延) 1.6	82000	―	―	―	―	83000	100000
◇厚板							
(定尺)							
16/19/22/25(5×10)	72000	70000	80000	78000	84000	79000	94000
(切板母材)							
国内品(高炉耳付)	75000	71000	83000	―	―	―	―
輸入品(ポスコ級)	70000	67000	78000	―	―	―	―
◇縞鋼板（床用鋼板）							
3.2（3×6)(4×8)	82000	78000	88000	82000	90000	90000	105000
4.5/6（4×8）	81000	77000	87000	81000	89000	90000	104000

カラー鋼板

	東京	大阪	名古屋	広島	福岡	仙台	札幌
◇カラー亜鉛鉄板（大コイル・トン）							
0.35㍉×914㍉	210000	215000	240000	230000	245000	225000	240000
0.80㍉×914㍉	169000	170000	190000	180000	195000	175000	190000
◇カラー亜鉛鉄板（小コイル・トン）							
0.27㍉×914㍉	238000	245000	―	270000	293000	246000	261000
0.35㍉×914㍉	230000	237000	―	250000	275000	235000	250000
◇カラー波板（1枚、2.5×6）							
0.19㍉	720	720	750	720	720	720	720
0.25㍉	860	850	900	900	900	800	800
◇亜鉛鉄板平板（トン）							
0.27㍉	170000	162000	177000	165000	185000	170000	174000
0.35㍉	165000	157000	173000	160000	180000	166000	170000
1.00㍉	150000	150000	153000	150000	170000	156000	160000

軽量形鋼

	東京	大阪	名古屋	広島	福岡	仙台	札幌
◇軽量H形鋼							
3.2/4.5×150×75	125000	140000	138000	142000	146000	135000	136000
3.2/4.5×175×90	123000	138000	136000	140000	144000	133000	133000
3.2/4.5×200×100	120000	135000	133000	137000	141000	130000	133000
◇軽量溝形鋼							
2.3×100×50	108000	120000	111000	122000	133000	110000	―
3.2×200×50	108000	120000	111000	122000	133000	110000	―
◇軽量C形鋼（カラー）							
1.6×60×30×10	101000	93000	104000	101000	102000	101000	102000
1.6×100×50×20	99000	91000	102000	99000	100000	99000	100000
2.3×100×50×20	95000	87000	98000	95000	96000	95000	96000
3.2×200×75×20	99000	107000	115000	115000	116000	99000	110000
◇デッキ・プレート(カラー)							
1.6×614×50V型	124000	135000	135000	136000	130000	125000	135000
1.2×614×50V型	128000	139000	139000	141000	134000	129000	139000
◇合成スラブデッキ							
1.2×600×50(カラー)	140000	143000	154000	150000	150000	140000	145000
1.2×600×50(めっき)	150000	154000	166000	170000	170000	155000	160000

線材製品

（近郊持ち込み渡し）

	東京	大阪	名古屋	広島	福岡	仙台	札幌
◇丸釘（トン）							
100㍉（4㌅）	152000	135000	155000	145000	149000	137000	145000
◇亜鉛引鉄線（トン）							
4.0㍉（8番）	190000	190000	190000	190000	187000	188000	197000
2.0㍉（14番）	210000	210000	210000	210000	207000	201000	217000
◇有刺鉄線（1ケース）							
2.0㍉（14番）×100M	2000	1950	2000	2130	2150	2000	2350
◇鉄線（トン）							
規格線4.0㍉（8番）	137000	125000	135000	137000	137000	125000	140000
一般用線4.0㍉（8番）	129000	118000	130000	132000	132000	118000	128000
◇ナマシ鉄線（トン）							
4.0㍉（8番）	145000	130000	145000	145000	147000	138000	135000
◇番線（1ケース）							
3.2㍉（10番）×700	2550	2350	2600	2580	2650	2450	2450
◇結束線（U)(トン）							
0.8㍉（21番）×350	200000	185000	205000	197000	200000	185000	190000
◇カラー鉄線（ビニール被覆)(トン）							
4.0㍉（8番）	300000	235000	250000	240000	250000	245000	240000
◇磨棒鋼（トン）							
16㍉	160000	160000	160000	170000	175000	150000	165000
50㍉	165000	165000	165000	175000	180000	154000	169000

金網

	東京	大阪	名古屋	広島	福岡	仙台	札幌
◇金網（910×30㍍1巻）							
平織0.8×6㍉	11000	10500	11000	13000	15000	12000	13000
亀甲0.7×16㍉	4000	4000	4400	5000	5900	4600	4800
〃 0.8×26㍉	3400	3400	3800	4500	4500	3300	―
◇ひし形金網（亜鉛引き、1平方㍍）							
3.2×56㍉	700	600	650	650	500	550	600
◇溶接金網（1平方㍍）							
6×150㍉	500	500	480	560	400	440	500
5×150㍉	350	350	320	380	330	360	350
3.2×100㍉	300	300	300	330	240	290	300
◇メタルラス（610×1.829㍉1枚）							
270番	110	110	90	100	90	90	110
300番（JIS0号）	150	120	100	110	100	100	120

特殊鋼

	東京	大阪	名古屋
◇機械構造用炭素鋼（SC、丸鋼、キロ）			
S25C―S55C	109	109	109
◇クロム・モリブデン鋼（SCM、丸鋼、キロ）			
SCM420・435・440	134	134	134
◇ニッケル・クロム鋼（丸鋼、キロ）			
SNC631	352	352	―
〃 415	322	322	―
◇ニッケル・クロム・モリブデン鋼（丸鋼、キロ）			
SNCM439	312	312	―
〃 220	252	252	―
〃 630	502	502	―
◇工具鋼（平鋼、圧延材、キロ）			
炭素工具鋼			
SKS93	330	330	330
合金工具鋼			
SKS3	500	500	500
ダイス鋼			
SKD11	650	650	650
SKD61	700	700	―
高速度鋼（丸鋼）			
SKH57	6200	5800	―
〃 55	4700	4500	―
〃 51	2600	2500	―
◇軸受鋼（丸鋼、キロ）			
SUJ2	200	200	―

ステンレス

	東京	大阪	名古屋
◇冷延ステンレス鋼板（薄板、キロ）			
SUS430（18Cr）			
0.3	325	335	345
0.5	275	285	295
0.8	245	255	265
2.0	225	235	245
SUS304（18Cr―8Ni）			
0.3	390	390	400
0.5	340	340	350
0.8	310	310	320
2.0	285	285	295
◇熱延ステンレス鋼板（厚中板、キロ）			
SUS304（18Cr―8Ni）			
3―6(ホットカットシート)	310	320	320
7―14（4段品）	470	480	480
SUS316（18Cr―12Ni）			
3―6	510	520	520
7―14	670	680	680
◇ステンレス棒鋼（丸鋼、キロ）			
SUS403（13Cr）	410	420	420
〃 304（18Cr―8Ni）	570	580	580
〃 316（18Cr―12Ni）	800	820	820

合金鉄

（キログラム当たり円）
国内相場

	高値	安値
大口ユーザー向け		
◇フェロマンガン		
高炭素1号	158	155
◇フェロシリコン		
2号	152	148
◇シリコマンガン		
1号	170	168
◇フェロクロム		
高炭素6号（純分52%）	150	148
◇フェロモリブデン		
（純分キログラム当たり）	2350	2250
◇フェロバナジウム		
（純分キログラム当たり）	3150	3050
◇メタリックシリコン		
（中国産）	203	202

特殊釘

	東京	大阪	名古屋
◇セメントコート釘（キロ）			
12×65	220	240	230
◇スクリュー釘（キロ）			
10×65	250	270	270
◇ボード釘（キロ）			
16×25	390	350	340
◇傘釘（キロ）			
13×38	400	370	420
◇カラー傘釘（キロ）			
13×38	390	380	490
◇コンクリート釘（500㌘）			
12×25	195	200	210
12×38	185	200	200
8×65	135	150	150
◇カラー釘（キロ）			
15×25（平頭）	390	390	430
17×25（ケーシング）	450	420	450
◇コーススレッド（700本入、1箱）			
3.8×25	400	400	420
◇トタン釘（キロ）			
13×38	260	250	260
◇ステンレス釘（スクリュー）			
16×25	960	1000	1050

ボルト

	東京	大阪
◇カットボルト（1本)(ユニクロ）		
W4/8×25㍉	12.60	12.60
◇中ボルト（1本)(クロメート、ユニクロ）		
M16×50	14.90	14.90
M20×60	28.70	28.70
◇高力ボルト（トルシア)(1セット）		
S10T20×60	102.76	89.00
◇冷間ホーマーナット（1個)(ユニクロ）		
M12	3.50	3.50
M16	8.80	8.80
◇Z羽子板（1個・クロメート）		
12×130×150	180.00	177.00
◇Zアンカー（1個・クロメート）		
12×400	182.00	179.00
◇Z角座金（1枚・クロメート）		
12×4.5×40	27.00	27.00

鋼線

	東京	大阪
◇鋼線（60C）(トン）		
4.0㍉（8番）	190000	190000
ピアノ線		
A種1.0㍉	725000	725000
〃 2.0㍉	470000	450000
◇ワイヤロープJIS6×24（メッキなし、200㍍1巻）		
9㍉	38500	38000
10㍉	42000	41000
12㍉	49500	44000

溶接材料

	東京	大阪
◇溶接材料（キロ、市場価格)(1.2㍉・スプール）		
軟鋼ソリッドワイヤ	310	310

国際相場動向

5月16日入電（現地15日）

ドル高に押され全面安

銅7100ドル台、中国需要も重し

LME

■銅＝直物は101.50ドル安の7107.50ドル、3カ月物は101.00ドル安の7136.50ドル。カーブ取引は47.00ドル安の7198.00ドルと続落した。

前出の邦銀筋は、「ドル高が続くならば一段の下落もある」と指摘。米経済指標とドルの動きをにらみながらの展開になると予想した。

■鉛＝直物は42.50ドル安の1935.00ドル、3カ月物は46.50ドル安の1946.00ドル。カーブ取引は9.00ドル安の1970.00ドルだった。

■亜鉛＝直物は37.00ドル安の1779.50ドル、3カ月物も36.00ドル安の1812.50ドル。カーブ取引は23.00ドル安の1823.00ドルで引けた。

■錫＝直物が325.00ドル安の2万590.00ドル、3カ月物も325.00ドル安の2万650.00ドル。カーブ取引は145.00ドル安の2万755.00ドルで取引を終えた。

■アルミ＝直物は49.00ドル安の1791.50ドル、3カ月物は44.00ドル安の1824.50ドル。カーブ取引は17.00ドル安の1840.00ドルで取引を終えた。

非鉄は他の商品とともに、ドル高に押されて全面安となった。在庫増のほか、中国の需要も期待ほど強くはないなど「そもそもファンダメンタルズが弱い」（邦銀筋）中、非鉄相場はさえない展開が続いている。

■ニッケル＝直物は342.50ドル安の1万4842.50ドル、3カ月物も342.50ドル安の1万4912.50ドル。カーブ取引は200.00ドル安の1万4905.00ドル。（ロンドン時事）

金、3週間ぶり1400ドル割れ

COMEX

■銅＝続落。欧州の経済指標がさえず、世界経済の成長や金属需要に対する懸念が強まった。7月限は、2.30セント安の326.50セントで引けた。（ロイターＥＳ時事）

貴金属概況

■ＮＹ金＝15日のニューヨーク商品取引所（ＣＯＭＥＸ）の金塊先物相場は、対ユーロでドル高が進行したことを嫌気し、5営業日続落した。中心限月の6月物は、前日終値比28.30ドル安の1オンス＝1396.20ドルと、4月19日以来約3週間半ぶりに、1400ドルを割り込んで取引を終了した。

金相場は朝方から下落基調で推移。ユーロ圏の第1四半期ＧＤＰ（域内総生産）速報値は前期比0.2％減と、6期連続でマイナスとなった。

これを受けて、外為市場はユーロ安・ドル高基調で推移。このため、ドル建ての金相場は相対的な割高感から売りが先行した。また、節目水準を割り込んだことで自動の売り注文が誘われ、金相場は一段と下落。相場は、一時1389.00ドルの安値まで落ち込んだ。

世界最大の金上場投資信託（ＥＴＦ）であるＳＰＤＲゴールド・トラストからの資金流出が続いていることも、金相場の下押し材料となった。

フューチャーパス・トレーディングのアナリスト、フランク・レシュ氏は「世界的な株高や景気回復の兆しを背景に、安全資産としての金の需要は後退している。この日発表された4月の米卸売物価指数（ＰＰＩ）が低下したことも、インフレヘッジの役割を担う金相場の圧迫材料だった。インドや中国などで現物需要は活発だが、ＥＴＦの資金流出を穴埋めするほどのものではない」と指摘した上で「下値抵抗線は1300ドル、年初来安値付近の1321ドル。その水準を下回った場合は、1200ドルを試す可能性もある」と述べた。

同氏は「トレーダーは下落基調の相場に乗じてポジションをショートに傾けている」とも指摘した。

金塊現物相場は午後1時42分現在、28.830ドル安の1398.245ドル。（ニューヨーク時事）

■ロンドン金＝15日のロンドン自由金市場の金相場は、対ユーロなど主要通貨でドル高が進む中を急落し、前日終値比40.745ドル安の1394.80ドルで終了した。原油など他の商品市場安にも押された。

金は1422.875ドルで寄り付いた後、午前は1412.25ドルで値決めされた。午後の値決めは1410.00ドル。（ロンドン時事）

■ＮＹ銀＝続落。7月限は72.1セント安の2265.8セントで終了した。

現物は米東部時間午後2時9分時点で、64.0セント（2.7％）安の2272.0セント。（ロイターＥＳ時事）

パラジウムは続伸

■ＮＹ白金＝白金7月限は反落し、前日終値比11.20ドル安の1オンス＝1490.70ドルで取引を終えた。

パラジウム6月限は3日続伸し、1.90ドル高の729.05ドルで取引を終えた。（ニューヨーク時事）

海外非鉄News

露ルサール

生産能力追加削減も アルミ価格低迷なら

【ロンドン・ロイターＩＥＳ＝時事】アルミニウムの世界最大手であるロシアのＵＣルサールのムハメドシン副最高経営責任者（ＣＥＯ）はロイター通信とのインタビューで、アルミ価格が金融危機直後の水準で低迷を続けた場合、生産能力の追加削減を検討する意向を示唆した。

アルミ産業は過剰な生産能力やコスト上昇、価格低迷のあおりで苦戦している。ルサールの推計によると、2013年の需要の伸び率は6－7％と予想されているものの、中国を除いた世界のアルミ生産の約20％は赤字だという。

ルサールは昨年、生産能力の30万トン（7％）削減を打ち出し、今年第1四半期に4％の減産を達成した。一方、競合相手のアルコアは今月、製錬能力を新たに46万トン（11％）圧縮する可能性を明らかにしている。

同副ＣＥＯは「わが社はさらに削減できる」とコメント。7％の削減は既に決定し、取締役会の支持を得ていると述べた上で、「追加削減が必要なら取締役会に再び相談する」と語った。

また、アルミ価格に対応して追加削減を検討するかどうかについては言及を避ける一方、業界全体で生産能力を十分削減した場合、価格がトン当たり2000ドル以上に上昇するとの見通しを示した。

ペルー

16年に2位復帰か 銅生産280万トンに拡張

【ＪＯＧＭＥＣニュースフラッシュ】Ｓｈｉｎｏエネルギー鉱山次官は、2012年に中国に奪われた銅生産国世界第2位の地位を奪還できるのは16年となる見通しを示した。同次官によれば、13年から3、4年間にわたって投資総額220億ドルの鉱業プロジェクトが操業を開始するが、そのうち64％が銅、13％が金、12・4％が鉄鉱石の生産を対象としている。

同次官は該当する銅プロジェクトとして、トロモチョ（フニン県）、ラス・バンバス（アプリマク県）、ケシャベコ（モケグア県）、コンスタンシア（クスコ県）などを挙げた。また既存の銅鉱山に関しても、13年にはＡｎｔａｐａｃｃａｙ鉱山（クスコ県）がフル生産に入るほか、アンタミナ鉱山（アンカシュ県）拡張の完了、セロ・ベルデ鉱山（アレキパ県）の拡張後の操業も開始される計画を示した。

これら全てのプロジェクト・鉱山の操業で、銅の生産量は12年の130万トンから16年に280万トンになる見通しとなっている。（リマ・岨中真洋）

1－3月鉛市場 1.6万トン供給不足

ＩＬＺＳＧ

【ロンドン・ロイターＩＥＳ＝時事】国際鉛・亜鉛研究会（ＩＬＺＳＧ）が15日発表した月報によると、2013年1－3月の世界鉛市場は1万6000トンの供給不足だった。同期の精錬鉛の消費量は259万9000トン（前年同期242万8000トン）、生産量は258万3000トン（同244万1000トン）。

亜鉛4.3万トン余剰

【ロンドン・ロイターＩＥＳ＝時事】国際鉛・亜鉛研究会（ＩＬＺＳＧ）が15日発表した月報によると、2013年1－3月の世界亜鉛市場は4万3000トンの供給超過だった。

同期の精錬亜鉛の消費量は318万9000トン（前年同期305万トン）、生産量は323万2000トン（同315万トン）だった。

鉱山開発へ 農民抗議行動

グアテマラ

【ＪＯＧＭＥＣニュースフラッシュ】グアテマラで、500人以上の農民らが政府に対し、加タホ・リソーシズ（本社＝バンクーバー）が保有するエスコバル多金属プロジェクトの開発許可の取り消しを求め、抗議行動を行っている。農民らは、同プロジェクトのアクセス道付近に即席の家屋を建て、アクセス道を封鎖した。業界紙などによると、アクセス道を不法に封鎖した25人の農民らが警察により逮捕された。

4月3日、エネルギー鉱山省は同鉱山の採掘ライセンスを付与し、同社はこれにより操業に必要な全ての許可を取得していた。（メキシコ・高木博康）

国際非鉄金属相場動向

ＬＭＥ相場

2013年5月16日入電（現地5月15日）　（単位:ドル）

出来高はロット数、1ロットは銅・鉛・亜鉛・アルミHGが25トン、アルミ合金が20トン、ニッケル6トン、錫5トン、コバルト1トン、モリブデン純分6トン

◇銅Ａグレード			14日	15日
現物	前場	買	7195.00	7095.00
		売	7195.50	7095.50
	後場	買	7206.50	7106.00
		売	7211.50	7109.00
先物	前場	買	7225.00	7140.00
		売	7225.50	7145.00
	後場	買	7235.00	7135.00
		売	7240.00	7138.00
セツルメント			7195.50	7095.50
出来高(ロット)			184367	184319
前月セツル平均			7203.33	7203.33

◇鉛				
現物	前場	買	1975.00	1948.00
		売	1976.00	1949.00
	後場	買	1975.00	1934.00
		売	1980.00	1936.00
先物	前場	買	1988.00	1959.00
		売	1988.50	1961.00
	後場	買	1990.00	1945.00
		売	1995.00	1947.00
セツルメント			1976.00	1949.00
出来高(ロット)			60384	46166
前月セツル平均			2030.26	2030.26

◇亜鉛ＳＨＧ				
現物	前場	買	1813.50	1792.00
		売	1814.00	1792.50
	後場	買	1816.00	1777.00
		売	1817.00	1782.00
先物	前場	買	1848.00	1824.00
		売	1849.00	1825.00
	後場	買	1848.00	1810.00
		売	1849.00	1815.00
セツルメント			1814.00	1792.50
出来高(ロット)			132137	134850
前月セツル平均			1852.90	1852.90

◇ニッケル				
現物	前場	買	15100.00	14825.00
		売	15105.00	14830.00
	後場	買	15180.00	14830.00
		売	15190.00	14855.00
先物	前場	買	15180.00	14900.00
		売	15185.00	14905.00
	後場	買	15250.00	14900.00
		売	15260.00	14925.00
セツルメント			15105.00	14830.00
出来高(ロット)			50334	50078
前月セツル平均			15635.00	15635.00

◇コバルト				
現物	前場	買	27200.00	27200.00
		売	28000.00	28000.00
先物	前場	買	27200.00	27200.00
		売	28000.00	28000.00
セツルメント			28000.00	28000.00
出来高(ロット)			83	146
前月セツル平均			26165.00	26165.00

◇錫ＨＧ			14日	15日
現物	前場	買	20625.00	20595.00
		売	20650.00	20600.00
	後場	買	20890.00	20565.00
		売	20940.00	20615.00
先物	前場	買	20675.00	20645.00
		売	20680.00	20650.00
	後場	買	20950.00	20625.00
		売	21000.00	20675.00
セツルメント			20650.00	20600.00
出来高(ロット)			10200	7493
前月セツル平均			21694.05	21694.05

◇アルミＨＧ				
現物	前場	買	1825.00	1800.00
		売	1825.50	1800.50
	後場	買	1840.00	1791.00
		売	1841.00	1792.00
先物	前場	買	1852.00	1834.00
		売	1853.00	1835.00
	後場	買	1868.00	1824.00
		売	1869.00	1825.00
セツルメント			1825.50	1800.50
出来高(ロット)			236384	191989
前月セツル平均			1856.52	1856.52

◇アルミ合金				
現物	前場	買	1740.00	1745.00
		売	1750.00	1755.00
	後場	買	1745.00	1735.00
		売	1755.00	1745.00
先物	前場	買	1760.00	1765.00
		売	1770.00	1775.00
	後場	買	1765.00	1755.00
		売	1775.00	1765.00
セツルメント			1750.00	1755.00
出来高(ロット)			5975	3039
前月セツル平均			1789.05	1789.05

◇北米特殊アルミ合金（ＮＡＳＡＡＣ）				
現物	前場	買	1805.00	1800.00
		売	1806.00	1810.00
	後場	買	1805.00	1785.00
		売	1815.00	1795.00
先物	前場	買	1810.00	1800.00
		売	1815.00	1801.00
	後場	買	1800.00	1785.00
		売	1810.00	1795.00
セツルメント			1806.00	1810.00
出来高(ロット)			4304	3518
前月セツル平均			1771.50	1771.50

◇モリブデン				
現物	前場	買	24000.00	23250.00
		売	25000.00	24250.00
先物	前場	買	24000.00	23250.00
		売	25000.00	24250.00
セツルメント			25000.00	24250.00
出来高(ロット)			8	0
前月セツル平均			24523.81	24523.81

ＬＭＥ在庫

（5月15日発表）（単位:トン）

	13日現在	14日現在		
銅	618,700	627,525	⊕	8,825
錫	14,170	14,195	⊕	25
鉛	245,650	244,525	⊖	1,125
亜鉛	1,033,375	1,120,900	⊕	87,525
アルミＨＧ	5,230,300	5,225,975	⊖	4,325
アルミ合金	67,080	69,240	⊕	2,160
ニッケル	178,434	179,556	⊕	1,122

ＬＭＥ場外

【後場値動き】　5月15日

（3カ月先物:始値、買高値、売安値、終値の順）

銅	7190—7200—7190—7198
錫	20800—20800—20760—20755
鉛	1965—1970—1965—1970
亜鉛	1823—1823—1823—1823
アルミＨＧ	1839—1839—0—1840
ニッケル	14905—14905—14905—14905

ＣＯＭＥＸ相場

2013年5月16日入電（現地5月15日）

（ポンド当たり）

	寄付	高値	安値	引値	セツルメント	前日セツルメント
◇銅(セント)						
5月	323.80	323.80	323.80	326.70	326.70	329.05
6月	—	—	—	326.35	326.35	328.75
7月	327.25	327.25	327.25	326.50	326.50	328.80
8月	—	—	—	327.05	327.05	329.30
9月	—	—	—	327.65	327.65	329.90
10月	—	—	—	328.15	328.15	330.40
11月	—	—	—	328.60	328.60	330.80
12月	326.00	328.25	326.00	329.15	329.15	331.40
出来高72025枚		（1枚＝12.5ショートトン）			（前日68152枚）	
◇金(ドル)						
6月	—	—	—	1396.20	1396.20	1424.50
8月	—	—	—	1397.50	1397.50	1425.80
10月	—	—	—	1398.60	1398.60	1426.90
12月	—	—	—	1399.70	1399.70	1428.00
2月	—	—	—	1400.80	1400.80	1429.00
4月	—	—	—	1401.90	1401.90	1430.10
6月	—	—	—	1403.00	1403.00	1431.20
8月	—	—	—	1404.30	1404.30	1432.50
出来高226146枚					（前日205247枚）	
◇銀(セント)						
5月	—	—	—	2264.30	2264.30	2335.50
7月	—	—	—	2265.80	2265.80	2337.90
9月	—	—	—	2270.40	2270.40	2342.60
12月	—	—	—	2277.20	2277.20	2349.40
1月	—	—	—	2279.00	2279.00	2351.20
3月	—	—	—	2282.70	2282.70	2354.80
5月	—	—	—	2285.60	2285.60	2357.70
7月	—	—	—	2288.40	2288.40	2360.50
出来高57632枚					（前日45860枚）	
◇プラチナ(ドル)						
7月	—	—	—	1490.70	1490.70	1501.90
10月	—	—	—	1493.00	1493.00	1504.20
1月	—	—	—	1495.00	1495.00	1506.20
出来高14445枚					（前日12333枚）	
◇パラジウム(ドル)						
6月	—	—	—	729.05	729.05	727.15
9月	—	—	—	731.00	731.00	729.15
12月	—	—	—	732.15	732.15	730.30
出来高6008枚					（前日13133枚）	

ＣＯＭＥＸ在庫

（単位:銅はトン、金・銀はトロイオンス）

	14日	15日		増減
銅	85,512	85,054	⊖	458
金	7,943,333	7,975,030	⊕	31,697
銀	165,001,270	165,514,775	⊕	513,505

ＣＯＭＥＸ取組残高

	5月14日	増減
銅	159,750	⊕808
金	443,806	⊖1,372
銀	144,666	⊖509

上海先物相場（SHFE）

（単位:トン当たり元、増値税込）

現地 05月15日		05月限	06月限	07月限	08月限	09月限
銅	セツルメント	53230	52890	52670	52570	52410
	出来高(5トン/ロット)	4,150	15,854	12,252	48,034	711,696
	前日セツルメント	53770	53560	53320	53280	53100
アルミ	セツルメント	14525	14545	14555	14570	14590
	出来高(5トン/ロット)	2,320	5,764	2,624	6,542	5,870
	前日セツルメント	14525	14550	14585	14605	14635
亜鉛	セツルメント	14400	14415	14410	14445	14470
	出来高(5トン/ロット)	2,910	4,310	8,306	43,812	35,244
	前日セツルメント	14490	14495	14510	14535	14560

上海先物取引所在庫

（トン）

5月10日		前週	増減
銅	195,043	213,782	⊖18,739
アルミ	464,411	467,671	⊖3,260
亜鉛	300,198	301,740	⊖1,542

クアラルンプール錫

（カッコ内売出量）

（キロ当たり米ドル）

5月15日	20.650ドル	（49.00トン）
5月16日	20.750ドル	（27.00トン）

欧州レアメタル価格

5月16日入電　（現地5月15日）（単位:ドル、カッコ内は円/キロ）

アンチ99.65%（トン）	10300 — 10500(1,063—1,083)
ビスマス99.9%（ポンド）	8.8 — 9.1(2,002—2,070)
カドミ99.99%（ポンド）	1.05 — 1.10(239—250)
クロム(中国)（トン）	12500 — 13000(1,290—1,341)
コバルトカソード（ポンド）	12.30 — 13.50(2,798—3,071)
〃 インゴット（ポンド）	11.50 — 12.50(2,616—2,843)
ガリウム99.99%（キロ）	290 — 330(29,919—34,046)
金属ゲルマニウム（キロ）	1770 — 1795(182,611—185,190)
二酸化ゲルマニウム（キロ）	1400 — 1450(144,438—149,597)
インジウム99.99%（キロ）	510 — 540(52,617—55,712)
イリジウム（トロイオンス）	〔円／グラム〕 980 — 1000(3,251—3,317)
マグネシウム99.9%(中国)（トン）	2875 — 2950(297—304)
金属マンガン99.7%（トン）	2325 — 2350(240—242)
フェロマンガン75—76%（トン）	1080 — 1120(111—116)
三酸化モリブデン（Mo純分ポンド）	11.10 — 11.30(2,525—2,570)
フェロモリブデン(西側)（Mo純分キロ）	28.20 — 28.50(2,909—2,940)
ロジウム（トロイオンス）	〔円／グラム〕 1050 — 1150(3,483—3,815)
ルテニウム（トロイオンス）	〔円／グラム〕 75 — 85(249—282)
セレニウム99.5—99.8%（ポンド）	35.00 — 39.00(7,961—8,871)
シリコン塊（トン）	2300 — 2500(237—258)
フェロシリコン（トン）	1130 — 1180(117—122)
スポンジチタン99.6%（キロ）	10.50 — 11.30(1,083—1,166)
フェロタングステン（キロ）	39.00 — 39.50(4,024—4,075)
タングステンＡＰＴ（WO3純分10%ロ）	345 — 355(3,559—3,663)
フェロバナジウム80%（V純分キロ）	27.90 — 28.80(2,878—2,971)
五酸化バナジウム（V2O5純分ポンド）	6.40 — 6.60(1,456—1,501)
タンタル（ポンド）	125 — 130(28,431—29,569)

外為相場（三菱東京UFJ銀行）

ＴＴＳの推移(円)

		米ドル	英ポンド	ＥＵＲ（ユーロ）
4月	18日	98.86	153.14	129.07
	19日	99.29	154.19	129.81
	22日	100.75	155.64	131.77
	23日	100.28	155.84	131.13
	24日	100.63	155.78	131.01
	25日	100.56	156.29	131.22
	26日	100.16	157.16	130.51
	30日	98.92	155.67	129.68
5月	1日	98.14	154.97	129.48
	2日	98.24	155.31	129.58
	7日	100.13	158.16	131.11
	8日	99.90	157.05	130.77
	9日	99.89	157.68	131.64
	10日	101.96	159.92	133.03
	13日	102.92	160.43	133.63
	14日	102.48	159.55	133.58
	15日	103.14	159.62	133.64
	16日	103.17	159.71	133.06

米国非鉄金属価格

5月16日入電(現地5月15日)

【ニューヨーク市中】		
銅地金(セント)	335.05 —	336.05セント
2号銅線くず(セント)	353.35 —	357.35セント
パラジウム(オンス)	723.72 —	729.27ドル
プラチナ(オンス)	1,488.00 —	1,491.00ドル
【アルミ新地金】		
▽ＮＹカーブ(ドル)	▼1839.5—	▼1840
▽対日オファー価格(99.7%)(4—5月積み)		
トン当たりドル　CIF	▼2064—	▼2081
▽輸入採算価格(4—5月積み)		
トン当たり円	▼226000—	▼228000
▽3月の輸入通関平均単価(99.0—99.9%)		
トン当たり円		211000
【アルミニ次合金・原料】		
▽対日スクラップ・オファー価格		
ポンド当たりセント		
テンス	CIF	83.0
テイント・テーバー	CIF	80.0
リ　ソ	CIF	90.0
▽対日ロシア産再生地金オファー価格		
トン当たりドル	CIF	2450
▽ADC12オファー価格		
トン当たりドル	CIF	2730
▽対日ADC12輸入採算価格		
トン当たり円		220000
▽ADC12国内理論値		
トン当たり円		210000

欧米自由貴金属相場

5月16日入電(現地5月15日)

単位:トロイオンス当たり、カッコ内は前日

▽ロンドン金約定値・現物(ドル)		
午　前	1412.25(	1436.50)
午　後	1410.00(	1433.75)
引　値	1394.19 ～	1395.41
	(1435.16 ～	1435.93)
▽チューリヒ金・引値	1384.60 ～	1400.60
	(1420.75 ～	1436.75)
▽香港金・午前引値		
(5月16日)	1392.01 ～	1392.78
	(1425.54 ～	1426.76)
▽ロンドン・プラチナ		
午　前	1495.00ドル(	1504.00ドル)
午　後	1496.00ドル(	1489.00ドル)
▽ロンドン・パラジウム		
午　前	722.00ドル(	722.00ドル)
午　後	727.00ドル(	718.00ドル)
▽ロンドン銀(スポット)〈ポンド建て〉		
現　物	1503.62ペンス(	1534.03ペンス)
3カ月	— (	—)
▽ロンドン銀〈米セント建て〉		
現　物	2287.00セント(	2344.00セント)
3カ月	— (	—)
▽米エンゲルハード金		
地　金	1413.05ドル(	1436.84ドル)
加　工	1519.03ドル(	1544.60ドル)
▽同　銀		
地　金	2268.00セント(	2359.00セント)
加　工	2721.60セント(	2830.80セント)
▽米ハンディハーマン金地金		
	1410.00ドル(	1433.75ドル)
▽同　銀地金		
	2266.50セント(	2344.00セント)
▽クルーガーランド金貨		
	1393.50 ～	1396.50ドル
	(1421.00 ～	1424.00ドル)
▽ジョンソン・マッセイ社白金族建値		
プラチナ	1,492ドル(	1,503ドル)
パラジウム	727ドル(	731ドル)
イリジウム	1,000ドル(	1,000ドル)
ロジウム	1,125ドル(	1,150ドル)
ルテニウム	85ドル(	85ドル)
▽ニューヨーク為替引値		
ポンド	1.5234 ～	1.5237
円	102.24 ～	102.26
ユーロ	1.2887 ～	1.2888

資源リサイクル

関西故銅、12―16円反落

海外安で建値2万円下げ

16日の関西地区故銅市況は、キロ12―16円の急反落。銅建値がトン77万円に2万円下げ戻されたことが響いた。しかし市中では「依然として売り手は安く売ってこない」とされ、相場は気配安に終始、商いも超閑散。

山元はこの日、銅建値の2万円値下げに踏み切った。海外相場が中国経済の減速機運の高まりと、これを嫌気した上海取引所銅相場の急落を映して、ロンドン金属取引所（LME）銅が、現物後場買値でトン7106ドルと前日比100・5ドルも大幅続落。ニューヨーク商品取引所（COMEX）銅当限も、ポンド326・7セントに2営業日で9・5セント（トン換算209ドル相当）も暴落した。

各問屋は建値が13日以前の水準に逆戻りしたことで、指し値を下げ戻す意向。建値に関しては、16日も東京為替市場円TTSが1ドル＝103・17円となった一方、海外相場もNYカーブ中心値で7198・5ドルと下げ幅を縮め、推定輸入採算価格がトン77万9000円台に位置しているため、「1万円ほど下げ過ぎ」との見方もある。

市中は気配値先行で反落。1号銅線は665―675円に16円安。一次問屋の希望も今月の売値が710円近辺とみられることも足かせに、高値で680円あたりまで後退した。しかし「売り手の希望は依然710―720円台に位置しているため、今月分の売値が710円近辺とみられることも足かせに、高値で680円あたりまで後退した。しかし「売り手の希望は依然710―720円とかけ離れ、歩み寄る気配にない」（一次問屋）。新切上銅で630―640円。スソ物も買い手は指し値を16円絡み切り下げる構え。希望は並銅で605―615円あたりとされるが、「これで620―630円に鎮静化してくるのでは」（ある大手問屋）との指摘もあった。下銅（92%）も575―585円が買い手の希望価格。

黄銅系は原料購入価格の下げ幅にスライドして12円のノミナル安。新切黄銅セパはサラ合わせ価格が582・75円に13円下落したが、発生薄もありロット物には495―500円の引き合いも残っている。黄銅削り粉も一般的な値ごろは410―420円に後退。しかし発生薄が深刻で一部450円近辺の高値もはやされている。輸出品は込み黄銅でまだ450円で売れるとの指摘があり、先安含みながら変わらず。

青銅系は並青銅鋳物で505―515円に12円の気配安。

関東、12―15円全面安

16日の関東地区故銅市況はキロ12―15円の全面安。海外銅相場の下落を受け、銅建値がトン2万円安の77万円に下げ戻されたことを映した。ただ、市中では徐々に需給が引き締まってきており、相場は先週10日までの建値77万円時と比較しても、全般的に高め。

銅系品種は15円反落。市中相場は1号銅線685―695円、新切上銅（無酸素）665―675円、並銅625―635円、下銅（製錬向け）605―615円あたりとなった。1号銅線の高値は、「前日に720円まで突っ込んでいた買い手は20円下げて700円、710円で様子を見ていた筋は10円下げて700円」（市中筋）と、切りの良い700円が目安となった。

黄銅系は日本伸銅の原料買値12円下げにスライド。新切黄銅セパ500―510円、黄銅削り粉425―435円あたり。削り粉はメーカーのスポット買いで、相当量の在庫を捌いた売り手もあり、さらに、「スポットでも10ット以上なら450―460円で買う」（直納筋）とナンピン買いする向きも。

青銅系は12円反落。並青銅鋳物500―510円、新切リン青銅（伸銅向け）690―700円あたり。

日刊産業新聞ネット版 http://www.japanmetal.com

非鉄商況

錫地金、しっかり

大阪

錫地金はしっかり。市中相場はキロ2240―2290円どころ。

海外指標のロンドン金属取引所（LME）相場は、月初に割ったトン2万ドルを回復。メタル全般が軟化している足元も、比較的堅調な値動きを見せている。最大輸出国のインドネシアが7月実施予定の輸出規制を、投機筋が蒸し返しているもようだ。為替（TTS）の円安が1ドル＝103円台まで進み、市中相場は月初比でキロ20円近く上昇して、約1カ月ぶりの高値に戻している。

年初来高値の2500円前後と比べると、値ごろ感はあるが、荷動きは相変わらず鈍いまま。扱い筋は「円安

黄銅棒、もちあい

東京

黄銅棒はもちあい。25ミリ快削棒キロ640―660円、10ミリ快削棒650―670円、5ミリ快削棒700―720円、25ミリカドミレス丸棒700―720円あたりで推移している。

銅建値は16日にトン2万円引き下げられたが、最近の建値上昇を織り込み切れていなかった関東の伸銅品問屋は反応なし。LME相場、為替動向がいずれも方向感を欠き、「ある程度の建値変動があって定着しなければ、販売価格は買えない」（都内の伸銅品問屋）との姿勢が目立つ。

需要環境は、「引き合いは増えている感覚もあるが、実際の荷動き実績を見るとほぼ横ばい」（大手伸銅品問屋）との声が多く聞かれる。

メーカーの業績不振もあるメーカー関係者は、「国内景況感が上向いている報道が増えても、素材の需要につながるのは、いつになるのかまだ見えない」とぼやく。

ただ、消費増税前の住宅の駆け込み需要の動きが出れば、秋にかけて建築関連の動きが出てくるとの見方もある。

アルミスクラップ、強地合い

東京

アルミスクラップは強地合い。缶プレス（A）はキロ126―131円どころ。

スクラップ問屋と二次合金メーカーとの間で、今週から5月の後半交渉が始まった。前半交渉に続き、焦点は為替動向。「円安の進行で、2―3円上げ」（関東のスクラップ問屋）との声が聞かれる。

LMEの相場は弱含みだが、引き続き円安が国内スクラップの強材料。先月末に1ドル＝97円まで円安修正したドル円は、今月に入ってから再び円安基調に戻した。足元、約4年7カ月ぶりの円安水準となる1ドル＝102円台に乗せた後も、102円付近での動きが続いている。

こうした中、一部のスクラップ問屋で先高観が強まりつつある。目先、1ドル＝105円までの円安を見据えているため。一方、今月初旬は大型連休で前半交渉の期間が短かったため、来週に交渉が本格化するスクラップ問屋もある。

建値（キロ当たり円）

	5月	平均
電気銅	770	773.100
電気鉛	258	258.000
電気亜鉛	235	233.900

非鉄市中相場

2013年5月16日調べ ◉印は上げ ▼は下げ ※いずれも本体価格のみ

地金（キロ当たり円）	東京（現金）高値	東京 安値	大阪（現金）高値	大阪 安値	名古屋（現金）高値	名古屋 安値	北陸（現金）高値	北陸 安値	九州（現金）高値	九州 安値	北海道（現金）高値	北海道 安値
電気銅	▼759	▼754	▼757	▼752	▼757	▼752	▼757	▼752	▼757	▼752	▼759	▼754
電気亜鉛	219	213	219	213	219	213	219	213	219	213	219	213
蒸留亜鉛	210	204	210	204	210	204	210	204	210	204	210	204
ダイカスト亜鉛	249	243	249	243	249	243	249	243	249	243	249	243
再生ダイカスト（亜鉛2種相当）	188	182	188	182	188	182	188	182	188	182	—	—
再生亜鉛上丁	165	159	165	159	165	159	165	159	165	159	—	—
電気鉛	251	248	251	248	251	248	251	248	251	248	251	248
再生鉛特号	238	233	243	238	243	238	243	238	243	238	—	—
1号	228	223	233	223	233	223	233	223	233	223	—	—
3号	232	228	238	234	238	234	238	234	238	234	—	—
錫1号	2290	2240	2290	2240	2290	2240	2290	2240	2290	2240	2290	2240
アンチモン	1240	1190	1240	1190	1240	1190	1240	1190	1240	1190	1240	1190
ニッケル溶解用	1700	1650	1700	1650	1700	1650	1700	1650	1700	1650	1700	1650
めっき用	1750	1700	1750	1700	1750	1700	1750	1700	1750	1700	1750	1700
コバルトトン	3600	3200	3600	3200	3600	3200	3600	3200	3600	3200	—	—
セレン	9400	8800	9400	8800	9400	8800	9400	8800	9400	8800	—	—
ビスマス	2300	2100	2300	2100	2300	2100	2300	2100	2300	2100	2300	2100
カドミウム	440	390	440	390	440	390	440	390	440	390	—	—
インジウム	57000	52000	57000	52000	57000	52000	57000	52000	57000	52000	—	—
水銀（フラスコ）	180000	170000	180000	170000	180000	170000	180000	170000	180000	170000	180000	170000
マグネシウム(中国産)	260	240	260	240	260	240	260	240	260	240	260	240
マグネシウム合金	310	290	310	290	310	290	310	290	310	290	310	290
アルミ地金99.7%	▼237	▼233	▼235	▼230	▼235	▼230	▼235	▼230	▼235	▼230	▼237	▼233
アルミ二次地金 99%	◉223	◉218	◉223	◉218	◉223	◉218	◉224	◉219	◉219	◉214	—	—
97%	◉220	◉215	◉220	◉215	◉220	◉215	◉221	◉216	◉215	◉210	◉217	◉212
90%	205	200	205	200	205	200	205	200	200	195	198	193
脱酸用94% B塊	217	212	218	213	215	210	215	210	218	213	—	—
二次合金地金（小口） AD12.1	310	305	306	301	306	301	306	301	—	—	—	—
鋳物用AC2B	333	328	330	325	329	324	329	324	—	—	—	—
ハンダ錫 60%	1795	1765	1775	1735	1775	1735	1775	1735	1775	1735	1795	1765
50%	1585	1555	1565	1515	1565	1515	1565	1515	1565	1515	1585	1555
40%	1370	1340	1415	1355	1415	1355	1415	1355	1415	1355	1370	1340
減摩合金 1種	2590	2565	2585	2555	2585	2555	2585	2555	2585	2555	2590	2565
2種	2530	2500	2525	2495	2525	2495	2525	2495	2525	2495	2530	2500
4種	2175	2145	2170	2145	2170	2145	2170	2145	2170	2145	2175	2145
青銅合金地金 CACIn402	▼905	▼895	890	880	885	875	▼905	▼895	—	—	—	—
〃 403	▼935	▼925	930	920	930	920	▼945	▼935	930	920	—	—
〃 406	▼775	▼765	760	750	750	740	▼765	▼755	750	740	—	—
〃 407	▼860	▼850	845	835	840	835	▼850	▼840	—	—	—	—

建値（単位:キロ当たり円、金のみグラム当たり円）

				（月間平均）
金（16日）	4,603	電気錫(99.995%以上)	3,450	3,420
銀（16日）	75,900	インジウム(大口)	54,000	
◇山元故銅買値(99%)	560			

近畿青銅会標準販価 5月16日発表

CACIn401	◉775	CACIn406	◉835	YBSC3種	◉660
〃 402	◉925	〃 407	◉870	LBC3種	◉935
〃 403	◉970			PBC2種	◉990

非鉄スクラップ相場

2013年5月16日 調べ ◉印は上げ ▼は下げ ※いずれも本体価格のみ

（キロ当たり円）	仲間現金（数量規模1ット以上、持ち込み価格）東京	大阪	名古屋	富山	北九州	札幌	地方向け原料買入価格（東名は組合発表ベース）東京	大阪	名古屋
1号銅線	▼685	▼672	▼672	▼669	▼664	▼666	625	570	600
2号銅線	—	▼625	▼627	▼624	▼629	—	—	500	565
上銅（新切れ）	▼665	▼637	▼648	▼645	▼629	▼650	610	550	590
〃（普通）	▼644	—	▼628	▼625	▼594	—	595	520	580
並銅	▼628	▼609	▼610	▼609	▼595	▼608	575	490	530
下銅（製錬向け）	▼609	▼579	▼594	▼591	▼574	▼589	530	460	505
銅削り粉（純銅）	▼609	▼588	▼597	▼594	▼580	▼589	540	475	500
銅滓（30%）	25	25	25	—	23	—	15	15	14
1号薬きょう	▼424	—	—	—	—	—	370	—	—
2号〃	▼414	—	—	—	—	—	360	—	—
新切黄銅（セパ）	▼502	▼483	▼485	▼480	▼483	▼487	425	360	360
〃（コーペル）	▼431	▼420	▼418	▼418	▼412	▼416	380	350	350
新黄銅棒コロ	▼431	▼420	▼417	—	▼412	▼416	375	345	345
黄銅削り粉	▼428	▼415	▼415	▼412	▼407	▼413	370	340	340
交差（半銅）ラジ	▼361	▼352	▼360	▼355	▼343	—	300	340	305
黄銅鋳物	—	410	410	408	399	—	—	295	310
込み黄銅	410	410	410	410	405	—	300	285	300
上青銅鋳物	—	▼520	▼518	▼513	▼511	—	—	400	440
並〃	▼502	▼507	▼508	▼506	▼499	▼482	425	395	430
上青銅鋳物削粉	—	▼512	▼513	▼509	▼504	—	—	400	430
並〃	▼486	▼502	▼498	▼494	▼494	▼466	420	395	425
新切リン青銅									
〃 伸銅向け	▼693	—	▼673	▼669	—	—	610	—	485
〃 青銅向け	—	▼669	▼641	▼634	▼666	—	—	445	470
〃 削り粉	▼540	▼539	▼527	▼523	▼520	—	450	420	435
洋白（ばね材）	▼553	▼549	▼548	▼545	▼545	—	427	405	440
〃（かぎ材）	▼361	▼359	▼364	▼362	▼354	—	349	355	350
新切亜鉛	85	85	88	83	83	—	—	—	—
合金亜鉛	60	60	63	58	59	—	—	—	—
亜鉛ドロス	64	75	64	—	55	—	—	—	—
上鉛	135	128	124	124	124	—	—	—	—
電池巣鉛	122	—	—	—	—	—	—	—	—
活字鉛	123	127	122	122	—	—	—	—	—
アルミ電線1級	163	162	163	154	157	—	110	110	107
新切アルミ1級	144	145	145	140	139	131	100	100	97
〃 2級	129	130	130	—	—	—	90	90	77
Aサッシ	144	145	145	140	140	—	100	100	92
印刷板	149	150	150	140	—	—	100	100	95
一品合金	136	134	—	129	—	—	95	95	—
合金アルミ新	130	132	128	—	127	120	85	85	80
新機械鋳物	144	144	—	134	—	129	95	95	—
ホイール(ミックス)	133	134	132	—	—	124	97	97	90
機械鋳物アルミ	117	118	118	116	113	103	80	80	75
Bサッシ(プレス物)	115	115	115	—	—	108	78	78	76
合金削り粉	88	89	88	90	89	80	65	65	62
込みガラ	95	95	92	95	90	83	65	65	67
缶プレス（A）	101	104	103	—	—	91	65	65	77
アルミ缶（バラ）	81	84	83	84	—	74	55	55	64

伸銅品（仲間店頭渡し、現金キロ当たり）

		東京	大阪	名古屋
銅小板（365×1200ミリ）	2.0ミリ	1020	▼1010	▼1010
	0.3ミリ	1030	▼1020	▼1020
銅大板(1000×2000ミリ)2ミリ		1220	▼1180	▼1180
銅条	1.5×100ミリ	1010	▼990	▼990
銅線	0.9ミリ	1080	▼1070	▼1070
銅帯	6×50ミリ	1020	▼990	▼1000
平角線	3×50ミリ	1250	▼1270	▼1265
銅管	50×5ミリ	1200	1180	1160
銅棒	25ミリ	1010	▼980	▼980
黄銅小板（365×1200ミリ）	2.0ミリ	825	▼825	▼835
	0.3ミリ	845	▼850	▼850
黄銅大板(1000×2000ミリ)2ミリ		1035	▼1005	▼1015
黄銅線	6ミリ	1070	▼1085	▼1085
黄銅平角線		1270	▼1285	▼1280
黄銅条	1×100ミリ	840	▼815	▼825
黄銅管	50×5ミリ	1320	1370	1340
黄銅棒	25ミリ快削	650	▼650	▼650
	10ミリ〃	660	▼660	▼660
	5ミリ〃	710	▼710	▼710
六角棒	25ミリ	680	▼680	▼680
四角棒	25ミリ	710	▼710	▼710
カドミレス(丸)	25ミリ	710	▼710	▼710
カドミレス(六角)	25ミリ	740	▼740	▼740
鍛造用	25ミリ	690	▼690	▼690
ネーバル	25ミリ	790	▼790	▼790
高力	25ミリ	790	▼790	▼790
リン青銅板 一般用	1.0ミリ	1560	1560	1575
	0.5ミリ	1605	1610	1620
バネ用	1.0ミリ	1810	1830	1810
リン青銅棒	25ミリ	1790	1790	1805
リン青銅線	3.0ミリ	1740	1750	1775
洋白板 一般用	1.0ミリ	1530	1560	1575
	0.5ミリ	1575	1630	1645
バネ用	1.0ミリ	1850	1870	1900

非鉄製品相場

2013年5月16日調べ
◉印は上げ ▼は下げ
※いずれも本体価格のみ

	東京	大阪
軽圧品（仲間現金キロ当たり）		
◇アルミ小板 (99%以上)(400×1200ミリ) 1.0ミリ	550	500
0.3ミリ	575	530
◇アルミネームプレート板 (99.5%以上)(400×1200ミリ) 0.3ミリ	585	570
◇アルミ大板 (99%以上)(1000×2000ミリ) 1.0ミリ	535	490
0.3ミリ	560	520
◇アルミ円板 (99%以上) 1.0ミリ	600	575
◇印刷用アルミ板 (0.3×1000×800ミリ) 写真用	600	575
◇アルミ合金板 (1×1000×2000ミリ) A6061P(61S)	1010	1055
A2017P(17S)	970	1015
A5052P(52S)	605	630
◇カラーアルミ大板 (1000×2000ミリ) 1.0ミリ	735	750
0.5ミリ	835	850
◇アルミ線（99%以上） 0.8ミリ	730	705
3.0ミリ	660	625
◇アルミ合金線（4.0ミリ） A5052W(52S)	920	885
◇アルミ棒 (50ミリ)	610	640
◇アルミ快削棒 A2011B50ミリ	770	745
◇アルミ合金棒（50ミリ） A2017B(17S)	735	750
A2024B(24S)	1065	1080
A5056B(56S)	705	730
◇継目無アルミ管 (60×5×5000ミリ)	985	970
◇継目無アルミ合金管（60×5ミリ） A5052T(52S)	1065	1095
A5056T(56S)	1075	1095
A6063T(63S)	955	935
◇アルミ合金標準形材 (2×20×40ミリ) A6063(63S)	535	520
◇角パイプ	530	570
◇アルミ条 (1×1000ミリ)	525	480
◇アルミ合金条（1×1000ミリ） (52S)	585	500
◇アルミ箔（457×686ミリ） 7ミクロン	1050	1005
鉛錫製品（キロ当たり）		
◇鉛管 排水管(30―100ミリ)	910	910
◇鉛板 1.0ミリ	530	530
1.5ミリ	510	510
2.0ミリ	490	490
◇線ハンダ 錫40%1.0ミリ	1820	1820
1.6〃	1585	1585
錫50%1.0ミリ	2045	2045
1.6〃	1910	1910
錫60%1.0ミリ	2260	2260
1.6〃	2045	2045
電線（電材渡し価格、メートル当たり、定尺）		
◇IV（600Vビニル絶縁電線） 1.6ミリ	21.7	21.7
5.5スケア	60	60
14〃	148	148
38〃	376	376
◇CV（架橋ポリエチレン絶縁ビニルシースケーブル） 600V 5.5スケア×3心	213	213
8〃×3〃	281	281
14〃×3〃	450	450
22〃×3〃	683	683
◇CVT（CVトリプレックス） 600V 38スケア×3心	1100	1100
60〃×3〃	1689	1689
100〃×3〃	2741	2741
6KV 38スケア×3心	1937	1937
60スケア×3心	2670	2670
◇CVV（制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル） 2スケア×3心	96.8	96.8
2〃×4〃	128	128
2〃×6〃	178	178
◇VVR（600Vビニル絶縁ビニルシース丸形ケーブル） 8スケア×3心	292	292
14〃×3〃	467	467
22〃×3〃	698	698
38〃×3〃	1152	1152
60〃×3〃	1790	1790
◇VVF（600Vビニル絶縁ビニルシース平形ケーブル） 1.6ミリ×2心	37	37
2.0〃×2〃	68	68
2.6〃×2〃	117	117
1.6〃×3〃	70	70
2.0〃×3〃	107	107
2.6〃×3〃	165	165
◇VCT―F（300Vビニルキャブタイヤ丸形コード） 0.75スケア×2心	27	27
0.75〃×3〃	36	36
0.75〃×4〃	43	43
1.25〃×2〃	40	40
1.25〃×3〃	53	53
1.25スケア×4心	67	67
2〃×2〃	56	56
2〃×3〃	76	76
2〃×4〃	93	93
◇PEW（ポリエステル銅線、キログラム当たり） 1.6ミリ	▼930	▼930
1.0〃	▼950	▼950
0.5〃	▼1030	▼1030
貴金属（5月16日）※卸し価格のみ税抜き 問屋標準値（グラム当たり、Nはノミナル）（午後2時半）		
◇白金（99.95%以上） 卸し	▼4946	▼4946
小売り	▼5209	▼5209
買い取り	▼5084	▼5084
◇パラジウム 卸し	▼2445	▼2445
小売り	—	—
買い取り	▼2442	▼2442
（午後4時）		
◇金（問屋価格） 卸し	▼4594	▼4594
小売り	▼4834	▼4834
買い取り	▼4751	▼4751
（午後2時半）		
◇銀（99.95%以上、キロ当たり） 卸し	▼76700	▼76700
小売り	▼80740	▼80740
買い取り	▼76760	▼76760
（午後4時）		
◇メイプルリーフ金貨	(1/4オンス)	(1/10オンス)
売	▼42903	▼17568
買	▼38066	▼15425

LME銅上昇も上値7600ドルが限界

橋本アルミ
橋本健一郎取締役

「LME銅セツルメントの上値はトン7600ドル、下値は米経済市況の下落で暴落したが6800ドル台で底堅く推移した経緯から7000ドルと予想する」。そう話すのは、非鉄スクラップ問屋・橋本アルミ（本社＝大阪市住之江区、橋本寿郎社長）の橋本健一郎取締役。

「米金融政策は前月に引き続き金融緩和の早期終了観測が遠のいており、直近は週間失業保険申請件数の減少や4月の雇用統計でも失業率が前回より改善するなど、LME銅上昇に期待感はある。ただ、過剰流動性資金が株や国債、通過に流れ、コモディティーへの資金流入が見られない点から、上値は3月後半高値の7600ドルが限界か」

国内銅需要については、「新設住宅着工戸数が7カ月連続のプラスを記録しており、今後は消費増税を前にした駆け込み需要が期待されることから、住宅分野における銅需要は堅調に推移する。自動車関連は生産台数が7カ月連続して前年同月水準を下回っており今後の生産計画にも不透明感が強い。ただ、ここにきてアベノミクスによる影響で販売台数が改善しているため、買い気配になる可能性もある。銅建値はトン73万－79万円を予想する」。

アルミについては、「LME現物セツルメントは、中国の1－3月のGDPやPMI指数の低迷、米雇用指標がともに好調である可能性が低いため、上値は2000ドル。下値は、銅相場の急落に下値を引っ張れることがなかった経緯から1800ドルを予想する」。

国内需要は、「携帯電話や電気関連の板・条の引き合いが低調で円安も加速していることから、新地金の輸入量は減少する。一方、二次合金は円高是正により輸入塊から国産塊へのシフトが進みつつあるため、今後も需要は堅調に推移する。また、スクラップは発生量が少ない状況下で韓国向けの輸出が拡大しており、国内需給はさらに引き締まる可能性が高い」と話す。（栄）

阪神間で新たな展開を
大阪非鉄協組が総会開催

大阪非鉄金属商工協同組合（理事長＝保井松雄・保井金属社長）は15日、中央区のアークホテルで、会員40人が参加して2012年度通常総会を開催した。12年度の事業報告と決算報告を承認したほか、13年度の事情計画案ならびに収支予算案を承認。また一部規約の変更なども決めた。

総会後の懇親会で保井理事長＝写真＝は「12年度は4社が脱会して、1社が加入。組合員数は63社となった。今回、本組合の地区は京都府、大阪府、兵庫県および奈良県の区域とすると定款を一部変更したように、組合としては阪神間として活動していくことで、新たな展開を図っていきたい。一方、需要環境は引き続き厳しい状況にある。とりわけ関西ではパナソニック・シャープといった家電の低迷が頭を押さえている。しかし、テレビ業界では4KTVの開発の力を入れるなど、将来に期待も持てる。希望を持って頑張っていこう」とあいさつした。

労働安全優良工場
アルミ合金協が表彰
12年度は5工場

日本アルミニウム合金協会（会長＝山本隆章・大紀アルミニウム工業所社長）はこのほど、2012年度の労働安全優良事業場に、特別賞として2工場、優良賞として3工場を、それぞれ表彰した。

特別賞は、敷島アルミニウム（本社＝大阪府枚方市、高木茂社長）の福井工場と、九州ダイキアルミ（福岡県糟屋郡、大谷志朗社長）に贈られた。特別賞は1991年度から実施。優良表彰を受賞している事業場で、一定期間の優良表彰受賞資格を取得した事業場に対して行う。

優良賞は、サミット昭和アルミ（本社＝大阪市淀川区、鈴木良彦社長）の茨城と滋賀の2工場と、福岡アルミ工業（本社＝福岡県粕屋郡、上田雄三社長）。単年度休業度数率がゼロで、不休業度数率が優れた事業所が対象となる。

銅スクラップ
輸出3万トン、市況も堅調
3月、中国向け割合低下

財務省がこのほど発表した3月の貿易統計によると、銅スクラップの輸出量は前年同月比14％減の3万845トンだった。国内発生が大幅に増えた前年同月比では減ったが、為替の円安ドル高が進んだことで国内発生玉に割安感が生じ、輸出市況は堅調に推移した。輸出単価は過去最高を記録した前月から5円安のキロ307円だった。

輸出港別に見ると、最大の輸出港である横浜は16％減の1万3335トンだった。次いで大阪が10％減の4869トンと大幅に減った。名古屋は26％減の3089トンと大幅に減った。博多は6％減の2964トンだった。

主要輸出先である中国向けは、15％減の2万8298トン。輸出量全体に占める中国向けの割合は91・7％だった。中国向けの割合は昨年後半は95％前後で推移したが、今年は1月が89％、2月が90・8％と低下傾向にある。1月以降に為替市場で急速な円高ドル安が進んだため、韓国、台湾、香港など他国向けの採算が改善していることが背景にある。

一方で中国向けの引き合いは堅調なものの、「中国経済の成長鈍化、銅価の先行きへの警戒感から、バイヤーが以前ほど高値を提示しなくなっている」関東地区の輸出筋ため、相対的に中国向けの割合が低下する傾向が顕著になっている。

20トン以上の輸出が記録されたのは全国31港だった。

3月銅スクラップ税関別国別輸出通関表
（単位はトン、単価はキロ当たり円）

	韓国	中国	台湾	香港	その他	合計	単価
東京	85	502			164	750	458
新潟		26				26	316
直江津	19	797				816	461
横浜	156	12,582	149	447		13,335	296
小名浜		35				35	205
仙台塩釜		639				639	308
石巻		51				51	294
神戸	91	659		124		873	249
尼崎		113				113	218
宇野		204				204	190
水島		77				77	328
福山	62					62	517
呉		200				200	64
広島		42				42	343
松山		20				20	66
大阪	351	4,447	51	6	14	4,869	320
堺		43				43	329
伏木		839		55	189	1,083	308
名古屋	171	2,843	20	52	2	3,089	323
三河		33				33	240
清水		41				41	348
門司	75	297	64	69		505	407
戸畑		350				350	223
博多		2,920		44		2,964	296
八代		171				171	317
鹿児島		51				51	335
川内		105				105	114
苫小牧		53				53	117
石狩		44				44	318
沖縄地区				62		62	232
沖縄支署		100		24		125	155
合計	1,009	28,298	284	885	368	30,845	
	(1,391)	(33,115)	(229)	(949)	(262)	(35,946)	
単価	552	297	702	181	426	307	
	(485)	(249)	(430)	(139)	(315)	(257)	

※カッコ内は前年同月実績。20トン未満は除外。
1トン未満は四捨五入しているため合計は一致しない場合がある。

特金スクラップ相場

	（キロ当たり円）5月2週	5月3週
ニッケルしゃぶり	1020	1020
〃　新切れ	1020	1020
PC－2（Ni78%）	795	795
PB（Ni45%）	455	455
42アロイ（Ni42%）	420	420
36アンバー（Ni36%）	330	330
ニクロム（NCH－1）	795	795
パイメタル（Ni30%）	305	305
インコネル（600）	770	770
モネル（405）	585	585
キュプロ・ニッケル（Ni30%）	380	380
コパール	445	445
ステライト（Co50%）	270	270
モリブデン新切れ（一般品）	790	790
ハステロイ（A）	955	955
タングステン新切れ（一般品）	2350	2350
ハイス（SKH－9）	195	195
耐熱鋼（SCH－13）	110	110
〃　（SCH－21）	100	100
純チタン新切れ（一般品）	165	165
チタン合金（6Al－4V）	85	85
雑チタンくず	55	55

（都内問屋持ち込み価格、現金、N＝ノミナル）

アルミ・スクラップ動向

5月第3週のアルミ原料相場は、使用済みアルミ缶（UBC）がキロ3円上伸した。ほかのスクラップは、指標相場の動向が定まらず様子見横ばいとなった。

指標となるロンドン金属取引所（LME）相場のアルミセツルメントは現地14日、月初比トン21ドル安の1825・5ドル。一方、新塊の輸入採算値は対ドル円為替（TTS）が1ドル＝103円台に下落したことを受け、同キロ17円高の235円に引き上がった。

UBCは、季節的な要因で発生量が増加しているものの、韓国筋の積極的な高値買いにより市中相場が上昇。海外流出に先高観が台頭している。

UBC3円上伸

ベースメタルは、国内需給のタイト化や為替の円安基調、ロシア産の対日オファー価格が、トン2000－2050ドルを堅調に推移していることから、国産のスポット価格も拡大傾向にある。

合金メーカー購入平均価格
（本社調べ、キロ当たり円、問屋置き場現金）

	3月下旬	4月下旬	5月9日
▽新切れ	178	176	171～176
▽63S	178	176	171～176
▽一品合金	165	163	158～163
▽印刷板	180	178	173～178
▽ベースメタル	205	205	200～205
▽機械鋳物	145	145	140～145
▽合金新	144	142	137～142
▽合金削り粉	123	123	118～123
▽缶プレス（A）	128	128	126～131

3級溶解技能者認定92人が合格
アルミ合金協会

日本アルミニウム合金協会はこのほど、2012年度のアルミニウム合金3級溶解技能者認定試験合格者が、92人だったと発表した。そのうち、大紀アルミニウム工業所（本社＝大阪市西区、山本隆章社長）が26人とトップで、アサヒセイレン（本社＝大阪府八尾市、谷山啓造社長）が18人と続いた。

アルミ合金3級溶解技能者認定試験は、アルミ合金工業の技術が進歩することに伴い、それに即応し得る技術者の養成、作業者の知識や技能をより向上させることなどを目的としている。

新聞記事の複製許諾は本社IT事業局へご相談を
新聞記事は著作権法で保護されています。著作権者の許諾を得ていないコピー、パソコンへのデータ取り込みなどは違法となります。業務上、コピーや記事のクリッピングが必要な場合は、大阪本社IT事業局☎06（6443）8550にご相談下さい。

金曜特集：リサイクル総合ニュース
Weekend Corner：データとトピックス

内外非鉄日誌

2013年5月10日～5月16日
（掲載日ベース）

5月10日　レアメタルの国際価格は、春先に景気回復期待で値上がりした鉱種もあったが、電子向けの実需が弱くさえない状態。ただ、コバルトが上昇、アンチモンは貧鉱化が進み底値を確かめたようだ。

5月10日　キッツメタルワークスは、ビスマスやシリコンを含まない耐食用鉛フリー黄銅棒を発売する。加工時に発生するダライ粉の徹底選別が不要になる。

5月10日　アルミ二次合金市場で、国産塊のシェアが3年ぶりに半数超えとなった。円高是正で輸入塊の流通量が急減したため。

5月10日　古河電池は、自動車用鉛バッテリーの主力拠点であるいわき事業所に60億円を投資、生産能力を増強する。

5月13日　神戸製鋼所のアルミ・銅事業部門は、2014年3月期のアルミ板と銅板条の生産量を1割増と想定している。円安で需要家の競争力改善や輸出回復を見込む。半導体関連の需要も底入れするとみている。

5月13日　国際銅加工業者協議会と鉱山、銅製錬メーカーによる「ジョイントミーティング」が日本で16年ぶりに開催される。13―16日の4日間、会合のほか工場見学なども行う。

5月13日　古河電気工業は、世界シェアトップのエアバッグ通電部品の生産を2015年度までに1.5倍に引き上げる計画。ブラジルやインドでの現地生産も視野に入れている。

5月14日　JX日鉱日石金属は13日、5月積み銅建値をトン2万円引き上げ、79万円に改定した。また、三井金属は亜鉛建値を5000円上げの23万5000円とした。

5月14日　キッツは第2期中期経営計画の中で、伸銅の売上高2割増を目標としている。また、バルブは海外を強化し「真のグローバル企業」を目指す。

5月14日　関西地区の伸銅品加工筋は、電力値上げや銅価高に苦戦している。建材・弱電分野の需要回復が見られない中で、円安がコスト高となって負担増となっている。

5月15日　神戸製鋼所は米拠点の自動車用アルミ鍛造部品の生産能力を、来春をめどに1.5倍に増強し、日米中の3拠点で月100万本体制を構築する。

5月15日　住友金属鉱山は、ニッケル鉱石からクロム分を回収するパイロットプラントをフィリピンの製錬子会社に建設する。フェロクロムの原料となるクロム鉄鉱を年1万トン生産する。

5月15日　世界切削工具会義が京都市で開会した。アジア初開催となった今回は17カ国108社が参加。先進国の生産停滞が当面続くとみられる中、自動車・航空機向けの需要に期待が寄せられた。

5月16日　三井金属は新中期経営計画の中で経常益目標を2.8倍の450億円とした。資源、触媒、電池材料、リサイクルの4分野に注力する。

5月16日　超硬工具の2012年度出荷額は、自動車生産の減速に連動して下期が伸び悩み、5％減の2757億円となった。輸出は3年連続で増え、年度ベースで比率が初の30％に達した。

グラフマンスリー

銅
2013年3月

海外200ドル以上反落
国内、円安で下げ幅限定

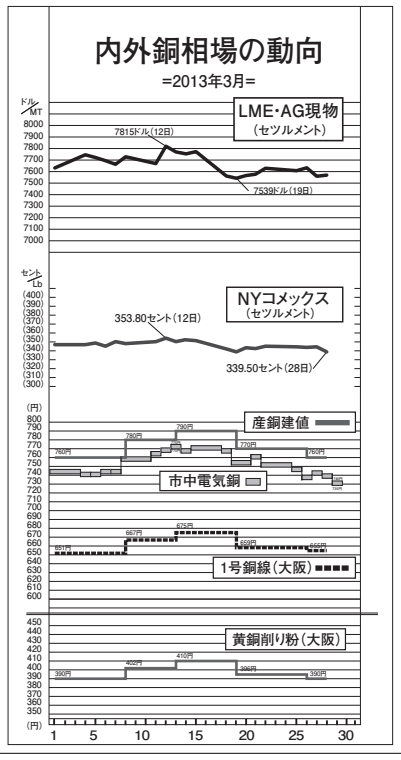
3月の海外銅相場は急反落。ロンドン金属取引所（LME）在庫が約10年ぶりの高水準となったことや、キプロス経済不安を引き金とした欧州財務危機の再燃が圧迫材料。国内相場は円安が急進したものの、海外相場の下落が響き、小幅ながら値を消した。

【海外市場】
月間を通して軟調。月初はLME銅現物セツルメントで7620・5ドルと2月末に比べて200ドル以上反落して始まった取引所在庫の増加や、米雇用統計の堅調を受けたドル高・ユーロ安などが嫌気された。12日は中国筋の押し目買いがはやされ、セツルメントで月間高値の7815ドルを示現したが、すぐに売り直された。キプロスの財政難が浮上し、銀行課税措置を取るとの報で欧州不安が再燃したことや、LME在庫の累増に歯止めが掛からなかったため、19日にはセツルメントが月間安値の7539ドルに売り込まれた。

下旬には米主要企業業績の好調や、2月の米耐久財指数の上昇などを好感して下げ渋ったが、月末値はセツルメントが7582・5ドルと2月末比245・5ドル安。ニューヨーク商品取引所（COMEX）銅当限も339・5セント、同13・25セントと大幅安。なお3月末のLME在庫は56万7900トンと、2003年10月以来の高水準に膨れ上がった。

【国内市場】
故銅市場は荷動き低調で小幅反落。海外相場は大きく値を下げたが、国内相場は円安加速に救われ、下げ幅が限られた。電線・伸銅メーカーをはじめとする需要家筋が期末決算環境下で原料手当てを見送っていたこともあり、引き続き実商いは総見送り。市中では銅建値が2月のトン82万円を瞬間高値に、3月は76万円に下落したことで、売り手が塩漬けを決め込み、買い手との間で折り合い難の様相が強まった。

なお月末値は1号銅線がキロ655円と2月末12円安、黄銅削り粉が390円で同16円安。



http://www.jogmec.go.jp

内外銅関連ニュース
（掲載日ベース）

チリ／13年のコデルコへの利益返還は12年を下回る見込み
2013年のコデルコへの利益返還額は12年の8億ドルを下回る見込みである。政府は毎年6月にコデルコへの同年の利益返還額を決定している。（サンティアゴ・縫部保徳）

チリ／セロ・カサレ金・銅プロジェクトへの先住民らの請求を却下
コピアポ上訴裁判所は先住民のコリャ共同体およびラウタロ・カルモナ下院議員によるセロ・カサレ金・銅プロジェクト（チリ第3州）の開発停止請求を全会一致で退けた。（サンティアゴ・縫部保徳）

ブラジル／ボトランチン社、アリプアナンプロジェクトのプレFS13年下半期に完了へ
アリプアナンポリメタルプロジェクト（マットグロッソ州）のプレFSが2013年下半期までに完成する。同プロジェクトの現在権益シェアは、ボトランチン社70％、カルミン・エクスプロレーション社（TSX－V上場）30％である。現在の計画では、亜鉛精鉱年6万トン、銅精鉱年2万トン、鉛精鉱年2万トン、銅精鉱年6000トンを生産する。（サンティアゴ・神谷夏実）

ブラジル／法律事務所、鉱業法改正は鉱業界にポジティブに作用するとの見解
Tauil&Chequer法律事務所によると、鉱業法改正作業の遅れについて、鉱業投資機会の損失が起きているが、新たな鉱業政策は、より増税感があるものの、ブラジルの鉱業界にとってポジティブな影響を与える。特に現行制度で触れていない分野や解釈に混乱がある分野が改善されることが期待されるとともに、政府は、競争原則、インセンティブ付与などの新たな政策を盛り込むという。（サンティアゴ・神谷夏実）

ペルー／ラス・バンバス銅プロジェクト買収に中国企業が関心表明か
グレンコア（本社＝スイス）はエクストラータ（本社＝スイス）との合併を完了し、新会社グレンコア・エクストラータを設立したと発表した。この合併を実現するための条件として、中国商務省の要請に基づくラス・バンバス銅プロジェクト（アプリマク県）の売却が決定された。売却先に関しては、米国の投資家向けウェブサイトで、中国企業5社が同プロジェクトの買収に関心を持っているとの情報が掲載された。（リマ・岨中真洋）

ペルー／カナリアコ銅プロジェクト事前協議の実施めぐり政府内対立
先住民に対する事前協議法の適用をめぐるエネルギー鉱山省と環境省の対立を原因として、文化省のLa Negra異文化受容次官が辞任した。協議の対象となる先住民および種族民のデータベース作成に関し、鉱業開発への影響を回避しつつ、協議の対象となる先住民・種族民地域を選択することをめぐって、政府内（エネルギー鉱山省と環境省）で対立が発生している。（リマ・岨中真洋）

ドミニカ共和国／加バリック・ゴールド社、再び税関から金の輸出差し止め
ドミニカ共和国の税関は申告の誤りなどを理由にバリック・ゴールド社（本社＝トロント）による金の輸出を差し止めた。同社は3月中旬にも金の輸出を一次的に差し止められている。（メキシコ・高木博康）

加／エクストラータ・ジンク、ブランズウィック亜鉛・鉛鉱山が閉山
エクストラータ・ジンクのブランズウィック亜鉛・鉛鉱山が閉山した。同鉱山は世界最大級の坑内掘り亜鉛・鉛鉱山の一つで700人を直接雇用していた。（バンクーバー・大北博紀）

加／リオ・ティント・アルキャン、アルマル製錬所のアノード製造を一時中断
リオ・ティント・アルキャンは施設内での従業員の死亡事故を受け、その事故原因の調査のためにケベック州北部に位置するアルマル製錬所のアノード製造（年産25万トン）を一時中断している。（バンクーバー・大北博紀）

ザンビア／輸出収入の国内口座入金義務が法制化の見通し
ザンビア財務省は、鉱山会社などの輸出企業の資金管理を厳格化する。ザンビアでは輸出収入の20％は銅輸出によるものであるが、国家財政へはGDPの0・5％相当しか寄与していない。財務省は企業が輸出で得た収入をザンビア国内の口座に60日間預金させることを義務づけ、当該期間中は配当や輸入品の支払いなど正当な理由がある場合にのみ外国送金を認める。（ロンドン・小嶋吉広）

金属資源情報センターニュースフラッシュより

高純度亜鉛

電炉ダストから製造

キノテック・ソーラーエナジー 量産技術確立へ

技術開発ベンチャー企業のキノテック・ソーラーエナジー（本社＝東京・日本橋、母里修司社長）はこのほど、普通鋼の電炉ダストを原料とした粗酸化亜鉛を高純度塩化亜鉛に転化・精製し、溶融塩電解法によって高純度亜鉛を製造する。

東北大学の佐藤譲博士（同大学院工学研究科金属フロンティア工学専攻）の協力で開発し、名称はキノテック法とした。キノテック法は高電流密度で操業できるため、従来の水溶液電解法に比べ、電極サイズを10分の1程度にしてコンパクトな装置を設計できる。また、消費電力も20%ほど少ない。亜鉛生産能力は電解槽1槽当たり年間約500㌧。

電極縮小、消費電力も低減

亜鉛分が約20%含まれる電炉ダストは、国内では通常、亜鉛分約65%粗酸化亜鉛に転化され、亜鉛精錬所に送られて電気亜鉛の原料となる。キノテック法を用いた場合、電解槽を電炉サイトや粗酸化亜鉛生産者のサイト内に複数個並べることで、粗酸化亜鉛から電気亜鉛の直接製造が可能となり、コスト削減効果が見込まれる。

また、東南アジアや中東など途上国の電炉メーカーでは、国内に亜鉛精錬所が存在しないため、電炉ダストを廃棄物として処分するケースが多い。こうした電炉メーカーにも電解槽を導入することで、亜鉛分のリサイクルが可能となる。

実験はバッチ方式で行ったもので、連続操業の実績はない。このため同社はメーカーの協力を得てパイロットプラントを建設し、量産技術の確立を急ぐ。

同社は太陽電池用ポリシリコンの新製造法（亜鉛還元法）の開発を2005年から行っていたが、その間、塩化亜鉛の溶融塩電解技術（複極電極構造）の量産化技術を開発した。

廃バッテリー

韓国、輸入が過去最多

4月11%増、対日8700㌧台

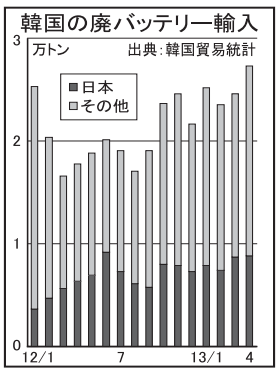
韓国の廃バッテリー（使用済み自動車用鉛蓄電池）の輸入が過去最多に上った。韓国関税庁が15日発表した貿易統計速報によると、4月輸入は前月比11・1%増の2万7332㌧。日本からの輸入は2カ月連続で増加して、8772㌧の最多レベルに達した。

韓国は鉛リサイクル原料となる廃バッテリーの世界最大の輸入国。これまで月間輸入量の最多は2012年1月の2万5267㌧だったが、4月輸入でそれを8・2%上回った。主な増加要因には、輸入先第2位のスーダンからの輸入が、前月から2662㌧（60%）急増して7076㌧に上ったことが挙げられる。

日本からの4月輸入8772㌧は、12年6月の9177㌧（日本の財務省輸出統計では9733㌧）に迫る過去2番目の高水準。米国2567㌧、アラブ首長国連邦（UAE）2391㌧と、上位4カ国がいずれも前月比ベースで増加して、アジア・オセアニアからの輸入減をカバーした。

輸入平均単価は前月と変わらずキロ1・03㌦。国別に見ると、日本は前月比0・03㌦安の0・96㌦と、4カ月ぶりに下落。スーダン1・12㌦、米国1・10㌦、UAE1・02㌦と、単価はマチマチだった。

一方、廃バッテリーを精錬加工した地金（鉛塊）の4月輸出は1万1507㌧。前年同月と比べると6・6%減だが、前月比で40・4%増と大幅に増え、5月ぶりに1万㌧を上回った。バッテリー製品の輸出個数も前年同月比12・4%増と、4カ月連続で増加。ウォン高により加工コストが上昇し、輸出条件は厳しくなっているはずだが、加工貿易の手は緩んでいない。



IWCCジョイントミーティング

代替シフト対応課題

一問一答

国際銅加工業者協議会（IWCC）と鉱山、製錬メーカーのジョイントミーティング東京大会が15日閉幕し、IWCCの松本正義会長（住友電気工業社長）、マーク・ラベット事務局長、今大会の事務局を務めた日本伸銅協会の日高俊信専務理事が記者会見を開いた。一問一答は以下の通り。

松本正義会長

――銅価の高騰や乱高下への認識を。

会長「コモディティー化により、乱高下する銅価を抑えるのは難しい。指標となるロンドン金属取引所（LME）が、自由な取引を基本としているからだ。だが、銅加工業者としては、乱高下する材料は経営上の問題がある。最終ユーザーの要望に応じた代替材料へのシフトは止めがたい」

――代替シフトにどう対応する。

松本会長　立場防衛策を作成

事務局長「需要家の代替シフトには、価格だけでなく技術面や物質特性など、複数の要因が絡む。まずは代替が進む理由を理解することだ。銅の強みだけでなく、代替材料の弱みなどもしっかり把握する。銅と代替材料の需要が、振り子のように揺れ動くのは好ましくない。銅加工業者の多くが一つの材料で仕事しているが、ほかの材料とバランスを取ることも大切だろう。IWCCとしては、銅の立場を防衛するプログラムを作り、13年中に情報提供したい」

マーク・ラベット事務局長

――今後の銅需要見通しについて。

事務局長「欧州市場は引き続き厳しい。しかし、北米での景気回復などの明るい材料もある。12年の世界需要は1980万㌧だったが、14年には2100万㌧強と、年率3%程度伸びると予測している」

――中長期的にはどうか。

ラベット事務局長　需要年率3%成長

会長「新興国を中心に伸びるが、代替も加速しているので予測が難しい。銅は導電性などで優れた金属だが、価格の問題を勘案すると一直線に増えるとは言えない。特に建設用電線、巻線などの電線分野では代替が進むだろう」

事務局長「最大の消費国である中国の需要は足元約800万㌧。大規模な都市化計画に基づくインフラ関連などで、まだまだ消費は伸びる。変動率は小さくなっても、重量的な増え方はあまり変わらないのではないか。ただ代替シフトが進むのは中国も同様で、これが加速すれば世界消費への影響は大きい」

――香港取引所がLME買収した影響をどうみる。

会長「さまざまな憶測はあるが、LMEに対しては、取引所のオペレーションについて、今まで通りのやり方を継承するとの説明をしているようだ」

日高俊信・伸銅協会専務理事

事務局長「IWCCとしては、買収後も価格形成の透明性を堅持してほしいということを求める」

――世界の銅産業で、日本のような先進国で成長できるか。

事務局長「非常に難しい質問だが、先進国では高機能、高性能の製品需要が増える。付加価値がつくというメリットがある半面、薄型化や小型化によりボリュームは減る。このため、消費量の減少がそのまま、銅業界の困難を示しているとは言えない」

会長「今後、新しいフィールドをどのように開拓するかについて、国際銅協会（ICA）と共同研究している。こうした取り組みを加速し、特に代替が起こりつつあるところで付加価値があるものを一緒に形作っていければいい」

専務理事「今回のミーティングでは、日本鉱業協会、日本電線工業会、日本伸銅協会の各会長が講演し、それぞれの取り組みや挑戦を示してくれた。製錬はリサイクル、電線はリサイクル、超電導ケーブルシステムの開発状況、伸銅品は車載用コネクター向けの高機能合金や、高強度銅管、鉛レス黄銅棒などだ。今後は導電性や熱伝導性だけでなく、殺菌性などの特性も生かしていくことが重要だ」

日軽金HD

今期経常益75%増

建設・電機の回復見込む

日本軽金属ホールディングスは15日、2014年3月期の連結経常利益が74・6%増の120億円になる見通しだと発表した。建設・電気機械関連需要の回復や輸出の伸びを反映、高純度アルミナやアルミ板、加工製品などを中心に販売数量が回復すると見込む。

売上高は4・9%増の3900億円、営業利益は77・8%増の145億円、純利益は65億円の見通し。景況感の回復を受けて、高純度アルミナや電極箔などが下期ごろから回復すると見込む。国内向けアルミ板も需要の落ち込みは底打ちしたとして、販売を伸ばしたい考え。

同日発表した13年3月期決算は売上高が7・7%減の3718億8700万円、営業利益は40・3%減の減収減益だった。凝集剤やプラスチックの難燃化充填剤などの原料に使われアルミナ・水酸化アルミニウムの販売が減少した。需要低迷や、昨年末までの円高による輸出の不振などが要因。半導体・液晶製造装置向けアルミ厚板の低迷が続き、コンデンサー向け箔地の出荷も、デジタル家電の不振などを背景に大幅に減少した。

日立電線

イーサネットスイッチ

新製品2機種発売

日立電線は16日、イーサネットスイッチ「Apresia Light」シリーズの新製品として、30㍗の供電ができるPoE機能を持った1㌫イーサネットスイッチ「Apresia Light GM110GT-POE」と「Apresia Light GM124GT-POE」＝写真＝の2機種を開発し、販売を開始したと発表した。

IP電話や無線アクセスポイント、ネットワークカメラなど従来は独立したシステムで運用されていた機器のイーサネット化が近年、一層広がる傾向を見せている。これらシステムはイーサネット化に伴い、イーサネットスイッチにPoE機能を持った電力供給を求めるケースが増加。こうした端末の高機能化、データの大容量化に伴い、イーサネットスイッチには、より高い供電能力と通信帯域が求められている。今回開発した2製品は、30㍗の供電に対応することが可能。これにより高機能化する端末の電力需要に応え、さらに最大で1㌫bpsの通信帯域を確保することで、データの大容量化ニーズに応える。また同社は引き続き、「Apresia Light」シリーズで高い機能と低コストを実現しながら、ラインアップの拡充を図っていく。

タイの関連会社

連結子会社化

GSユアサ

GSユアサは16日、タイの関連会社であるサイアム・ジーエス・バッテリー（サムットプラカーン県、SGS社）の出資比率を39%から60%まで引き上げ、連結子会社化することでパートナー会社と基本合意したことを発表した。今月、SGS社の第三者割当増資を引き受ける。

SGS社は、タイにおけるGSユアサグループの自動車用鉛蓄電池製造の中核拠点。従業員は約960人。今後はアイドリングストップ車向け電池の技術移転のほか、2014年にはライン自動化により、四輪車用電池の年産500万個体制の構築などを目指す。

日本法人を設立

太陽光発電参入

JCMキャピタル

太陽光発電プロジェクトへの資金提供や共同開発を手掛けるカナダのJCMキャピタルはこのほど、日本法人を設立したと発表した。10㍍以上のプロジェクトを対象に、当面は100㍍分のプロジェクトに資金提供するのが目標。日本の太陽光発電市場は固定価格買取制度で、今後も伸びると見込み、資金提供とプロジェクトの共同開発で参入を目指す。

東日本電線協組

定時総会開く

東日本電線工業協同組合は15日、第64回通常総会を開催した。今回は役員改選期でないため、理事の異動などはなく、2012年度の事業報告や13年度事業計画案などが承認された。

技術例会開催

120人が参加

ボンド磁性協会

日本ボンド磁性材料協会は16日、東京・東日暮里のホテルラングウッドで第83回技術例会を開催した＝写真。高性能磁石材料と応用の最新動向をテーマに、6人の講師が講演。昨年の70人を大きく上回る、約120人の業界関係者が参加した。

講演では、サマリウムコバルト磁石の高性能化のほか、フェライト磁石や希土類を使わない磁石材料の開発に関するプログラムも組まれた。また、資源開発に伴いバランスよく希土類を使用することも重要との観点から、磁気ヒートポンプについての講演も組まれた。

不二サッシ

ビル用需要伸び

今期経常益11%増

前期も増収増益達成

不二サッシは15日、2014年3月期の連結経常利益が、前期比11%増の26億円になりそうだと発表した。建設分野の改善を受けてビル用サッシの需要が増えると予想した。売上高は8・9%増の1003億円、営業利益は13・1%増の31億円、純利益は32・7%減の21億円。

同日発表した13年3月期決算は、売上高が921億2600万円、営業利益は33・8%増の27億4000万円。新築ビルサッシが伸びたほか、震災の復旧工事やリニューアル向けの需要取り込みに努めた効果が出た。利益確保に重点を置いた受注活動や、生産合理化などのコストダウンも利益を押し上げた。

黄銅削り粉

買値12円下げ

日本伸銅503円

日本伸銅は16日、当面の黄銅削り粉購入価格をキロ503円に改定したと発表した。前回（31日）に比べて12円の値下げ。海外銅相場の急反落を映して、当日付で銅建値がトン77万円に2万円値下げされたことに伴う措置。購入条件は工場持ち込み渡し、120日手形ベース、油水分最大0・8%。

三菱伸銅

銅も503円

三菱伸銅は16日、銅建値の値下げに連動、当面の黄銅削り粉購入価格を前回比キロ12円引き下げ、503円に改定した。購入条件は油水分最大0・8%、10㌧以上、120日手形ベース。

近畿青銅販価

10―15円上げ

5月後半

近畿青銅会（会長＝高木健・ミカゲ金属社長）は16日、5月後半の銅合金地金（青銅合金地金）販価を前半に比べて、キロ10―15円引き上げた。

新販価は次の通り（単位キロ当たり円、カッコ内は前回比）。

▽青銅1種＝775（⊕15）
▽同2種＝925（⊕10）
▽同3種＝970（⊕15）
▽同6種＝835（⊕10）
▽同7種＝870（⊕10）
▽黄銅3種＝660（⊕10）
▽鉛青銅3種＝935（⊕15）
▽りん青銅2種＝990（⊕10）

おことわり　連載「銅商の筆跡」は今週休みます。

役員人事

DOWAホールディングス

（6月25日付予定）
▽取締役（執行役員経理財務・労務担当）松下克治
▽退任（監査役〔常勤〕）水間洋治
▽監査役〔常勤〕（理事CSR担当）岩野和

東邦亜鉛

（6月27日付予定）
〔新任取締役候補〕
▽社外取締役（富士重工業常勤監査役）高木俊輔
〔新任監査役候補〕
▽監査役（常務執行役員契島製錬所長）緒方盛仁
〔退任予定監査役〕
▽退任（監査役）角出光一
〔取締役の委嘱業務変更〕
▽取締役兼執行役員契島製錬所長（取締役兼執行役員技術・開発本部長）今井力

キッツ

■新任取締役候補（6月27日付予定）
▽取締役（社外）（ナブテスコ取締役会長）松本和幸
■退任予定取締役（6月27日付予定）
▽相談役（就任予定）（取締役相談役）小林公雄
■辞任予定取締役（6月17日付予定）
▽辞任＝取締役（社外）清田瞭
（6月18日付予定）
▽就任＝東京証券取引所代表取締役社長　清田瞭
■新任監査役候補（6月27日付予定）
▽非常勤監査役（社外）（特定非営利活動法人日本プロジェクトマネジメント協会理事長）光藤昭男

■退任予定監査役（6月27日付予定）
▽非常勤監査役（社外）佐々木宏機

住友電気工業

（6月1日付）
▽上席理事、情報通信事業本部技師長（執行役員、ネットワーク営業本部副本部長）高田寿士
（6月20日付）
▽テクノアソシエ常務取締役就任予定（執行役員）伊藤准
（6月26日付〔内定〕）
▽新規事業開発本部長＝副社長　竹中裕之
▽常務取締役、情報通信研究開発本部長（常務取締役、情報通信研究開発本部長、光ネットワーク・システム事業本部長）矢野厚
▽〃生産技術本部長（常務執行役員、電線・機材・エネルギー事業本部長）川井文義
▽常務取締役（常務執行役員）アドバンストマテリアル事業本部長　牛島望
▽常任顧問、住友電工テクニカルソリューションズ〔会長、サンレー冷熱〔会長〕（常務取締役、生産技術本部長）野田茂
▽顧問（常務執行役員、研究統轄本部副本部長、NEXTセンター長）吉海正憲
▽上席理事（常務執行役員、電線・機材・エネルギー事業本部副本部長）富山住友電工〔社長〕高椋晴三
▽常務執行役員、光ネットワーク・システム事業本部長（執行役員、光ネットワーク・システム事業本部副本部長、ネットワークシステム事業部長、住友電工ネットワークス〔社長〕木田泰
▽〃、材料技術研究開発本部副本部長（執行役員）
▽〃、電線・機材・エネルギー事業本部長（〃、電線・機材・エネルギー事業本部副本部長）中野高宏
▽〃、研究統轄本部副本部長（執行役員）パワーシステム研究所長　伊藤順司
▽常務執行役員（〃生産技術本部副本部長、人事総務部長　賀須井良有
▽執行役員＝インフラ事業推進部長　徳丸亀鶴
▽〃住友電工焼結合金〔社長〕林哲也
▽〃、情報通信事業本部副本部長＝光通信事業部長　西村陽
▽〃、電線・機材・エネルギー事業本部副本部長＝導電製品事業部長　西出裕
▽〃、エレクトロニクス営業本部副本部長＝SUMITOMO ELECTRIC INTERCONNECT PRODUCTS〔HONG KONG〕社長〕宮田康弘
▽〃、自動車事業本部副本部長＝中部営業統轄部長　清水和志
▽〃、ネットワーク営業本部副本部長、新規事業マーケティング部長、新規事業開発本部営業推進部長（新規事業開発部長）インフラ事業推進部次長　白山正樹
〔監査役〕
▽退任（社外監査役）小林一郎
▽〔新任〕社外監査役（トヨタ自動車相談役）渡辺捷昭

日本軽金属ホールディングス

（6月27日開催予定の株主総会日付）
■補欠監査役候補
▽〔重任〕補欠監査役＝早野利人

アーレスティ

（6月20日付）
▽新任取締役候補＝蒲生新市
▽退任・新任監査役候補（取締役）古屋茂
▽退任（監査役）熊木勉

日阪製作所

（6月27日付）
■新任役員
▽取締役技術部部長（技術部統括部長）岩本等
▽社外取締役（日新製鋼執行役員大阪支社長）冨安達二
■退任役員
▽社外取締役＝中尾卓

ジーエス・ユアサコーポレーション

（6月27日付予定）
▽退任予定取締役
▽上岡伸行（常務取締役）
■新任監査役候補
▽監査役（常勤）〔三井住友トラスト・ホールディングス取締役〕落合伸二
■退任予定監査役
▽川西次郎（監査役（常勤））
■新任補欠監査役候補
▽補欠監査役（ニチユ三菱フォークリフト社外監査役）瀧本慎吾
■退任予定補欠監査役
▽植田竜二（補欠監査役）

国際地金価格換算

5月16日

（トン当たり）

	LMEセツル	日本円換算	理論輸入採算値
◎銅Aグレード	7,095.50㌦	732,042円	771,812円
◎アルミHG	1,800.50㌦	185,757円	196,902円
◎錫HG	20,600.00㌦	2,125,302円	2,175,302円
◎鉛	1,949.00㌦	201,078円	241,078円
◎亜鉛SHG	1,792.50㌦	184,932円	227,932円
◎外為TTS	103.17（円、三菱東京UFJ銀行）		

希土類（レアアース）価格

（CIF日本、純分99%、キロ当たりドル）

	5月16日	4月平均
酸化ランタン	8.50	11.50
酸化セリウム	8.50	11.50
酸化プラセオジム	75.50	85.50
酸化ネオジム	65.50	77.17
酸化サマリウム	20.50	25.50
酸化ユウロピウム	1100.50	1600.50
酸化テルビウム	1000.50	1233.83
酸化ジスプロシウム	580.50	630.50
酸化イットリウム	25.50	38.50
金属ネオジム	85.00	100.00
金属ジスプロシウム	750.00	800.00
金属プラセオジム・ネオジム	79.00	95.00

日刊産業新聞ネット版 http://www.japanmetal.com

（第3種郵便物認可）　〔購読料金（前納）1カ月10,500円〕

日刊産業新聞ホームページ
http://www.japanmetal.com/
E-mail hitetsu@sangyo.co.jp
携帯サイト
QRコード
http://www.japanmetal.com/m/

国内支社局網

中部支社	名古屋市中区上前津1−4−12	TEL 052(331)3371
中国支社	広島市南区大須賀町14−12	TEL 082(263)5523
北海道支局	札幌市北区北七条西4−8−3	TEL 011(756)1321
福岡支局	福岡市博多区博多駅前4−14−1	TEL 092(472)3887
東北支局	仙台市青葉区大町1−1−8	TEL 022(223)9032
北信越支局	新潟市中央区上大川前通7番町1235	TEL 025(229)4085

日刊 産業新聞
Japan Metal Bulletin

2013年(平成25年)
5月17日(金)
第18254号
Since 1936

非鉄　(12)

発行所　産業新聞社
東京本社　東京都中央区新川1−16−14
編集局（非鉄）TEL 03(5566)8772　FAX 03(5566)8182
総務販売局（購読・配達）TEL 03(5566)8778　FAX 03(5566)8185
大阪本社　大阪市西区靭本町1−5−15　TEL 06(6443)8551　FAX 06(6443)3828
アジア総局　上海市楼山関路85号 東方国際大厦C座1604室
上海支局　TEL 86-21-6278-7750　FAX 86-21-6278-7751

住友鉱山

2年で100億円コスト減

硫酸処理費用圧縮など

住友金属鉱山の家守伸正社長は16日の経営説明会で、向こう2年間をめどにコストを100億円低減する方針を打ち出した。海外資源・製錬拠点の操業費用高騰などで、2013年3月期までの3年間に、全社コストが230億−240億円膨らんだ。「全部とまではいかなくとも、4割程度の100億円を13−14年度で解決したい」（家守社長）とし、比コーラルベイでの硫酸処理費用圧縮などを具体策に掲げた。

海外操業費高騰に対応

家守社長は13年3月期までの前3カ年中期経営計画を総括し、経常損益上の「3つの反省点」として①材料事業の低迷②ゴロ・ニッケル開発プロジェクト（ニューカレドニアの不調③コスト増―を挙げた。

材料事業については、「選択と集中」の選択は進んだが、収益力は十分でない。収益の上がる事業に『集中』しながら、引き続き『選択』を進める」と話した。ゴロプロジェクトに関しては、すでに出資比率を引き下げ持分法適用対象から除外しており、「（損益上の）手は打てた」。

全社コストは前中計策定時（10年3月期）の想定に対して、11年3月期で60億円増、12年3月期で200億円増、13年3月期で230億−240億円増と膨らんだ。資源国における人件費や資機材費の急騰を受け、比タガニートのニッケル製錬プロジェクトやチリのシエラゴルダ銅鉱山開発プロジェクトで、開発費用が増えたことなどによる。

家守社長は、大きな決め手となるコスト低減策はないと述べつつも、「コーラルベイに期待している」と話し、製錬工程に使う硫酸の処理費用を「（鉱石供給者のリオツバ・ニッケル・マイニング社と共同で下げていきたい」と説明。国内では電力料金の上昇傾向を踏まえて、一層の原単位低減を図るほか、電子材料の製品実収率アップにも努める。

2014年3月期の連結経常利益予想は、金属価格の下落基調や在庫評価益のはく落を織り込み、前期比90億円減の1060億円と置く。現中計最終年度の16年3月期では1500億円を目指す。

比タガニート 13年1.1万トン

7−9月から操業

住友金属鉱山は16日の経営説明会で、比タガニート・ニッケル製錬プロジェクトの生産計画について、試験操業の始まる2013年7−9月期で3500トン（ニッケル量、以下同）、フル生産体制に入る同10−12月期で7500トンと明らかにした。7月に建設工事が完了する予定。14年12月期で年3万トン操業を見込む。

タガニートでは、高圧硫酸浸出（HPAL）法で低品位のニッケル酸化鉱を処理し、電気ニッケルなどの中間製品となるニッケル・コバルト混合硫化物を生産する。原料を受け入れる住友金属鉱山のニッケル工場（愛媛県新居浜市）では、タガニートの操業開始に向けて、電気ニッケル年6万5000トンへの増産体制をほぼ整えた。

東邦チタニウム

スポンジ40%減産体制

航空機落ち込み 年度内は継続

東邦チタニウムの杉内清信社長は16日の会見で、本年度（2013年度）のスポンジチタンの生産について、能力比で40%減らすと発表した。同社は2月、スポンジの30%減産を公表していたが、杉内社長は「現実の動きとしてはそれをさらに上回る減産体制に入っている」などと話し、事実上、減産幅を修正した。航空機分野の在庫調整も進まず、一般工業分野で需要減少が続いていないことが背景にある。

減産の対象拠点は茅ケ崎工場（神奈川県茅ケ崎市）と若松工場（北九州市若松区）。新たな減産体制は「現時点では1年間継続する前提で考えている」（杉内社長）とした。このため同社の13年度のスポンジ生産量は1万7000トン程度の水準になる見通し。スポンジとインゴットの13年度販売計画は公表しなかった。

減産強化の要因の1つは同社のスポンジ販売の約半分を占める航空機向けの落ち込み。航空機の生産自体は底堅いものの、中間のサプライチェーンで在庫調整が続いている。

さらに近年はスクラップの使用量が増加し、ミルの段階でスクラップの使用比率は30−40%（重量換算）になるとみられる。またプレート式熱交換器や発電・化学プラント向けの減少などで、一般工業関連も落ち込んでいる。

住友金属鉱山・鉱山・原料・純度
住友鉱山製錬・電気亜鉛
住友鉱山リサイクル・再生亜鉛
住友鉱山メタル・定問屋
住友鉱山マテリアル・亜鉛
住友鉱山蒸留・高純度亜鉛
住友鉱山合金・亜鉛
大阪亜鉛工業株式会社
取締役社長　林　昭宏
本　社 大阪市西淀川区御幸1丁目14番3号 ☎06(6471)2531(代)
東京営業所 東京都墨田区立花2丁目4番5号 ☎03(3618)2351(代)

JOGMEC理事長 河野博文氏に聞く(下)

情報集まる「Jサミット」

探鉱・鉱害防止の技術移転

――アフリカのリスクの高さを指摘する声もある。

「資源開発にリスクはつきものであり、ある程度のリスクを覚悟の上で探鉱・開発を行っていかなければ、中長期的な資源の安定確保は難しい。アフリカが相対的に高リスクだと思われる理由は2つある。政治・社会情勢に関する情報の不足、そして地質情報の不足だ。各国の鉱業政策や税制、インフラなどを含めた政治・社会情勢に関する情報については今回のJサミットで入手することができるだろう。鉱物資源ビジネスに欠かせない地質情報はJOGMECの専門分野だ。今後の探査活動を通じて資源が埋蔵されている可能性のある地域を特定し、日本の企業に情報提供していきたい」

――先行する欧米や近年関与を強める中国と伍していくために、日本はどのように対応していくのか。

「日本が他の国々よりアドバンテージ（優位性）があるとすれば、それは技術だと思う。日本は優れた技術を持っている。例えばJOGMECは08年、衛星画像を解析して鉱物資源の開発が有望な地域を抽出するための拠点（地質リモートセンシングセンター）をボツワナに設立したが、これは広大な面積から効率的に探査を行うためには有効だ。技術にはもう一つ、鉱害防止技術もある。旧鉱山から流出する鉱排水を処理して、河川などの自然を守ることは、JOGMECの重要な事業の一つで、そうした鉱害防止技術は日本が非常に進んでいる。これから鉱山国になろうとするアフリカ各国にとって、まさに必要不可欠な技術だ。JOGMECはすでにそうした国々に専門家を派遣して、鉱害防止のためのルールについてのアドバイスや坑廃水処理方法など技術移転を行っているが、大変喜ばれている。今後も活動はさらに発展させていくつもりだ」

――ほかには。

「リモートセンシングセンターでは南部アフリカ10カ国以上の技術者に対し、技術移転による人材育成を図っているが、関係国からの評価が高い。もともと日本は地域との共生を重視しており、地元住民の雇用や教育、インフラ整備、技術移転など地域の開発・発展の面で貢献してきた」

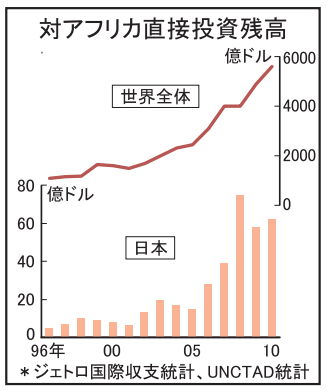
「一方で豊富な資金や人材を活用した中国の援助に対する評価も依然高く、それと比較した援助・協力を日本に対して求めてくることもある。日本はそれに対して『量』のみで対抗するのではなく、優位性のある人材育成や技術などの『質』で取り組んでいくことが重要ではないか」

――Jサミットは今後も継続するのか。継続するのであればどのような形を想定しているのか。

「まずは今回の成果を評価した上で考えていくことになるだろう。先に話したようにJサミットはTICADVが1つのきっかけになって開催することになったわけだが、TICADV自体は毎年実施するわけではない。一方で日本の企業・技術と資源企業のマッチングは常に必要なものだ。どのような形が最善なのか、これから考えていきたい」

「今回のJサミットではアフリカに対する日本の貢献の現状や、アフリカの現在の情勢を日本の方々に認知していただくという大きな目的がある。その目的をせび果たしたいと思う。またアフリカ各国からの出席者には、日本の技術が資源国をいかに豊かにし得るのかを知っていただきたい。一方、素晴らしい技術を持っていながらこれまで鉱業セクターに目が向いていかなかった日本の企業関係者の皆さんには、その先端的な技術が資源ビジネスに応用可能で、市場も非常に大きいのだということをせひ理解していただけたらと思う。Jサミットがそうした交流と刺激の場になれば、われわれとしては大変うれしいことだ」

（山田　邦和）



日刊産業新聞 13.5.17

資源開発技術、一堂に

Jサミット開幕、約80講演

国内外の鉱物資源分野の関係者やアフリカ各国の鉱業担当大臣、資源開発に関する最先端技術を有する日本企業などが一堂に会する国際資源ビジネスサミット（Jサミット）が16日、東京・芝のザ・プリンスパークタワー東京で開幕した。

開幕に先立ちウェルカムスピーチが行われ、日本側から茂木敏充・経済産業相と河野博文・石油天然ガス・金属鉱物資源機構（JOGMEC）理事長、アフリカ側からスーザン・ジャパング・南アフリカ鉱物資源大臣があいさつした。

河野理事長はあいさつの中で「Jサミットは、アフリカの鉱物資源分野への日本企業の投資を促進するとともに、資源開発の現場で応用可能な日本の最先端技術を紹介し、技術を有する日本企業と資源企業の交流を図るための場として初めて開催した。6月の第5回アフリカ開発会議（TICADV）の成功に貢献するためのものでもある」と開催の意義を説明。「JOGMECとしては今回の開催に終わらず、この場で生まれた新たなプロジェクトや技術開発などを含め、引き続き積極的にサポートさせていただきたい」などと話した。

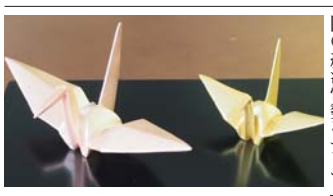
同サミットは経済産業省が主催し、JOGMECが共催。16日から2日間の日程で約80の講演を開催し、アフリカの鉱物資源や資源企業の活動などについて最新の情報を提供する。同時に50以上のブースを出展し、日本の最先端技術を紹介。資源企業とのビジネス展開も促す。（1面に関連記事）。

河野・JOGMEC理事長

東京でジョイントミーティング開催

―WCCなど

世界の電線、伸銅メーカーで組織する国際銅加工業者協議会（IWCC）と鉱山、製錬メーカーによる「ジョイントミーティング」が13、15日に東京・虎ノ門のホテルオークラ東京で開催された。国内外から300人強が参加し、銅産業や新興国の経済情勢をテーマにした16のプレゼンテーションや、菅原一秀・経済産業副大臣、宇宙飛行士の山崎直子さんらによる基調講演などが行われた。


参加者に配られた銅製の折鶴

参加者には富山県高岡市で造られた銅、黄銅鋳物の鶴の置物を贈呈し、IWCC設立60周年の記念大会は閉幕した。（11面に関連記事）

銅建値77万円 2万円下げ

JX日鉱日石金属は16日、5月積み銅建値をトン2万円引き下げ、77万円に改定した。平均値は77万3100円となった。海外相場の下落を映した。

指標となる現地15日のロンドン金属取引所（LME）の銅現物セツルメントはトン7095・5ドルで、前回改定時の7390・5ドルより295ドル安かった。月初に6800ドルと発表した。月内推定平均値は77万3100円となった。海外相場の下落を映した。

この日の東京為替TTSは1ドル＝103・17円と、前回改定時より0・25円の円安ドル高に振れている。

銅建値推移
（1000円/トン）

2013年		月間平均
4月8日	770	764.700
11日	800	783.300
16日	740	754.700
24日	720	750.900
5月7日	770	
13日	790	785.700
16日	770	773.100

アルミ合金協会 40周年「通過点」

記念祝賀会に160人

あいさつする山本会長

日本アルミニウム合金協会は15日、東京都墨田区の第一ホテル両国で、創立40周年記念祝賀会を開催し、約160人が出席した。山本隆章会長（大紀アルミニウム工業所社長）はあいさつで「40周年は一つの通過点」であることを強調。二次合金事業は、リサイクルを基盤にしつつ、国内産業で強いと目されている自動車事業と関連しているため、「協会の必要性は、今後さらに増していく」との考えを述べた。祝賀会の前には総会、記念講演会や式典が行われた。

一方、来賓代表としてあいさつした、経済産業省製造産業局の及川洋非鉄金属課長は、これまで築き上げてきた協会のリサイクル体制に敬意を表した。アルミ需要については、「本年度後半ごろから、回復の兆しが見えていると聞く」と明るい見通しを述べ、解決すべき問題としては「電力コスト上昇など」を挙げた。

また、感謝状受賞者代表のあいさつに立った、福岡アルミ工業の上田雄三社長は、業界が発展していくための必要事項を話した。さらに、乾杯の音頭に立ったサミット昭和アルミの鈴木良彦社長は、孔子の言葉、「四十にして惑わず」を引用し、「この業界が非常に大事との自信を持ち、40周年を迎えた後も迷わず進んでいきたい」と語った。

きょうの紙面
電炉ダストから高純度亜鉛…キノテックソーラー　11面
露ルサール、価格低迷なら追加で能力削減も　（8面）
銅スクラップ3月輸出、中国向け割合低下　（10面）

スクラップ亜鉛現金買入
カークサイト（金型）・丹入コロ・ダライ粉・その他
各種亜鉛再生塊製造販売
株式会社 市川金属
本　社 岐阜県各務原市鵜沼朝日町1−33 TEL 058(370)4655(代)
東京営業所 神奈川県厚木市金田391−1 TEL 046(294)3700(代)

チタン・スーパーアロイスクラップ買取ります
阪和興業グループ
昭和メタル株式会社
『限りある資源を再利用し、地球環境の保全に役立ちたい』昭和メタル株式会社はチタン、コバルト、ニッケル等の希少金属のリサイクルを行っています。
Showa Metal co.,ltd
ISO 9001:2000
JQA-QM9046
〒210-0869 神奈川県川崎市川崎区東扇島6-26
TEL044−277−1431 FAX044−277−1432
http://www.sk-showa.co.jp/

私たちは、メタルリサイクルを通して
皆様と社会に貢献出来るよう努力していきます。
株式会社 メタルドゥ　www.raremetal.co.jp/
本　社 大阪市西区京町堀3丁目5番6号 TEL.06-6448-5151(代表)
1st物流センター 大阪市此花区常吉1丁目1番76号 TEL.06-6462-5851
2nd物流センター 神戸市中央区港島南町3丁目5番4 TEL.078-306-1108
東京支店 東京都江東区新木場3丁目4番12号 TEL.03-3522-5658

ISO 9001・14001 認証取得
株式会社 F★ステーション サイトウ
代表取締役 齋藤久雄
銅 高価買取 電線 給湯器 エアコン
鉄 強化買取 パソコン 電化製品 プラスチック類
営業時間 月〜金 午前8:30〜午後6:00 日曜・祝祭日は休ませて頂きます。
土 午前8:30〜午後5:00
詳しくは 0120-5374-66（ゴミナシ）
〒339-0033 埼玉県さいたま市岩槻区黒谷381
http://www.fs-saito.co.jp